

No.196

せっけん運動

～水環境を守り育むために～

特集

せっけん使おう！7月はシャボン玉月間
行政からのメッセージ2024

7月はシャボン玉月間



●ポスターは全国の応募者から選ばれた、グリーンコーポ生協くまもとの組合員の
寺本磨衣子さんの作品が選ばれました。
*キヤツチコピーは、生協あいコーポみやぎ組合員からご提案いただいたものを採用させていただきました。

発行：せっけん運動ネットワーク

代表幹事：高橋千佳

〒983-0035仙台市宮城野区日の出町3-4-17

(生協あいコーポみやぎ組織運営室内)

TEL : 022-284-7241 Fax : 022-284-6973

URL : <https://sekennet.org/>



せっけん運動ネットワーク（旧協石連）は、
せっけん使用を入り口に、水環境を守る視
点から幅広く暮らしを見直そうと活動する漁
協、農協、生協など全国50団体の協同組
合によって構成されている組織です。

北海道

厚岸町	5
石狩市	
岩見沢市	5
恵庭市	5
江別市	6
小樽市	6
北広島市	6
釧路市	6
札幌市	7
当別町	7
南幌町	7

宮城県

宮城県	8
石巻市	8
岩沼市	8
大崎市	8
大郷町	9
大衡村	9
加美町	9
栗原市	9
塩竈市	10
七ヶ浜町	10
仙台市	10
大和町	10
多賀城市	11
富谷市	11
登米市	11
名取市	11
東松島市	12
松島町	12
美里町	12
山元町	12
利府町	13
涌谷町	13
亘理町	13

栃木県

栃木県	14
足利市	14
市貝町	14
宇都宮市	14
大田原市	15
小山市	15
上三川町	15
さくら市	15
佐野市	16
塩谷町	16
下野市	16
高根沢町	16

栃木市	17
那須烏山市	17
那須塩原市	17
日光市	17
芳賀町	18
益子町	18
矢板市	18

茨城県

茨城町	19
つくばみらい市	19
利根町	19
取手市	19
那珂市	20
ひたちなか市	20
水戸市	20
守谷市	20

埼玉県

埼玉県	21
朝霞市	21
入間市	21
小鹿野町	21
小川町	22
桶川市	22
越生町	22
春日部市	22
加須市	23
川口市	23
北本市	23
行田市	23
久喜市	24
熊谷市	24
鴻巣市	24
越谷市	24
さいたま市	25
坂戸市	25
幸手市	25
狭山市	25
志木市	26
杉戸町	26
草加市	26
秩父市	26
鶴ヶ島市	27
ときがわ町	27
所沢市	27
長瀬町	27
滑川町	28
新座市	28
蓮田市	28
羽生市	28
飯能市	29

千葉県

東秩父村	29
東松山市	29
日高市	29
深谷市	30
富士見市	30
ふじみ野市	30
松伏町	30
三郷市	31
皆野町	31
宮代町	31
三芳町	31
毛呂山町	32
八潮市	32
横瀬町	32
吉川市	32
吉見町	33
寄居町	33
嵐山町	33
和光市	33
蕨市	34

千葉県

千葉県	34
我孫子市	34
市川市	35
市原市	35
印西市	35
浦安市	35
御宿町	36
柏市	36
勝浦市	36
鎌ヶ谷市	36
栄町	37
佐倉市	37
山武市	37
白井市	37
匝瑳市	38
袖ヶ浦市	38
千葉市	38
流山市	38
成田市	39
野田市	39
船橋市	39
松戸市	39
八街市	40
八千代市	40
四街道市	40

東京都

昭島市	41
あきる野市	41
足立区	41

神奈川県

荒川区	41
板橋区	42
稲城市	42
江戸川区	42
青梅市	42
大田区	43
葛飾区	43
北区	43
清瀬市	43
国立市	44
江東区	44
小金井市	44
国分寺市	44
小平市	45
狛江市	45
品川区	45
渋谷区	45
新宿区	46
杉並区	46
墨田区	46
世田谷区	46
台東区	47
立川市	47
多摩市	47
中央区	47
調布市	48
千代田区	48
豊島区	48
中野区	48
西東京市	49
練馬区	49
八王子市	49
羽村市	49
東久留米市	50
東村山市	50
東大和市	50
日野市	50
日の出町	51
檜原村	51
府中市	51
福生市	51
文京区	52
町田市	52
三鷹市	52
瑞穂町	52
武蔵野市	53
目黒区	53

大磯町	54
小田原市	54
開成町	55
川崎市	55
相模原市	55
座間市	55
寒川町	56
茅ヶ崎市	56
中井町	56
二宮町	56
葉山町	57
平塚市	57
藤沢市	57
松田町	57
南足柄市	58
山北町	58
大和市	58

山梨県

甲斐市	59
甲府市	59
昭和町	59
中央市	59
都留市	60
道志村	60
西桂町	60
韮崎市	60
富士川町	61
富士河口湖町	61
富士吉田市	61
北杜市	61
南アルプス市	62
山梨市	62

愛知県

瀬戸市	62
知立市	62
東郷町	63
豊明市	63
豊田市	63
日進市	63
みよし市	64

滋賀県

滋賀県	64
近江八幡市	64
大津市	65
草津市	65
東近江市	65
日野町	65
守山市	65

野洲市	66
竜王町	66

大阪府

泉大津市	66
泉佐野市	66
茨木市	67
大阪狭山市	67
貝塚市	67
柏原市	67
交野市	68
門真市	68
河南町	68
河内長野市	68
岸和田市	68
熊取町	69
四條畷市	69
島本町	69
吹田市	69
摂津市	70
泉南市	70
太子町	70
大東市	70
高石市	71
田尻町	71
忠岡町	71
千早赤阪村	71
豊能町	72
富田林市	72
寝屋川市	72
能勢町	72
羽曳野市	73
阪南市	73
東大阪市	73
枚方市	73
松原市	74
岬町	74
箕面市	74
守口市	74
八尾市	75

奈良県

葛城市	75
天理市	75
奈良市	76

兵庫県

兵庫県	76
明石市	76
芦屋市	77
尼崎市	77

伊丹市	77
猪名川町	77
加古川市	78
川西市	78
神戸市	78
三田市	78
高砂市	79
宝塚市	79
西宮市	79
三木市	79

福岡県

赤村	90
朝倉市	90
芦屋町	90
飯塚市	90
糸島市	90
うきは市	91
宇美町	91
大川市	91
大木町	91
大任町	91
大野城市	92
大牟田市	92
岡垣町	92
小郡市	92
遠賀町	92
春日市	93
柏屋町	93
嘉麻市	93
川崎町	93
苅田町	93
北九州市	94
鞍手町	94
久留米市	94
桂川町	94
上毛町	94
古賀市	95
篠栗町	95
志免町	95
新宮町	95
添田町	95
田川市	96
太宰府市	96
大刀洗町	96
筑後市	96
筑紫野市	96
築上町	97
東峰村	97
那珂川市	97
中間市	97
直方市	97
久山町	97
広川町	98
福岡市	98
福智町	98
福津市	98
豊前市	99

岡山県

赤磐市	80
浅口市	80
岡山市	80
鏡野町	80
笠岡市	81
吉備中央町	81
里庄町	81
瀬戸内市	81
総社市	81
津山市	82
備前市	82
真庭市	82
美咲町	82
美作市	83
和気町	83

広島県

呉市	83
廿日市市	83
東広島市	84
広島市	84
府中町	84
三原市	84

山口県

阿武町	85
岩国市	85
宇部市	85
上関町	85
下松市	86
山陽小野田市	86
下関市	86
周南市	86
周防大島町	87
田布施町	87
長門市	87
萩市	87
光市	88
平生町	88

水巻町	99
みやこ町	99
宮若市	99
宗像市	99
柳川市	100
八女市	100
行橋市	100
吉富町	100

佐賀県

神埼市	101
基山町	101
佐賀市	101
鳥栖市	101
みやき町	102

長崎県

大村市	102
雲仙市	102
佐世保市	103
島原市	103
時津町	103
長崎市	103

長与町	104
南島原市	104

熊本県

天草市	104
荒尾市	104
宇城市	105
宇土市	105
大津町	105
小国町	105
上天草市	106
菊池市	106
菊陽町	106
玉東町	106
熊本市	107
合志市	107
玉名市	107
長洲町	107
和水町	107
南関町	108
氷川町	108
益城町	108
美里町	108
南阿蘇村	109

南小国町	109
御船町	109
八代市	109
山鹿市	109
山都町	110

宮崎県

国富町	114
小林市	114
日南市	114
延岡市	114
三股町	115
都城市	115
宮崎市	115

大分県

大分県	110
宇佐市	110
臼杵市	111
大分市	111
杵築市	111
佐伯市	111
竹田市	112
津久見市	112
中津市	112
日出町	112
日田市	112
豊後大野市	113
豊後高田市	113
別府市	113
由布市	113

鹿児島県

鹿児島県	116
大崎町	116
鹿児島市	116
志布志市	116
日置市	117
南さつま市	117

※首長名は2024年7月現在ですが、選挙の実施時期などにより一部入れ替わりがあります。ご了承ください。

シャボン玉月間の活動に取り組みました

せっけん運動ネットワーク代表幹事 高橋 千佳

今年は、7月のシャボン玉月間に寄せて、24都道府県（昨年は23）452（昨年は436）自治体の首長の皆さんよりメッセージをいただきました。私たちの呼びかけに温かい励ましと共感のメッセージをお寄せくださった皆さんに、心よりお礼を申し上げます。

私たちは、2024年のシャボン玉月間のテーマを「あなたの選択で未来が変わる～始めようせっけん生活～」と掲げて活動を進めてきました。家庭と水環境への繋がりを自覚し、せっけんを使った日々の暮らし方を通して人にも地球にもやさしい生活を続けることが大切と考えます。

合成洗剤や柔軟剤、消臭除菌スプレーなどによる「香害」の問題も深刻になってきています。学校や職場に通えないほど症状が出てしまう化学物質過敏症の方にとって、切実な問題です。この問題を含み、子ども達を有害化学物質から守るためのネットワーク（子どもケミネット）と共に、身の回りに溢れている環境ホルモン（内分泌かく乱）や脳神経をかく乱させる有害化学物質などの子どもの発達・健康に与える影響について国内外の研究・対策の最前線を学びます。また、プラスチックが水環境に与える汚染は社会問題になり、脱プラへの関心は高まってはいるものの、問題は山積しています。私たちせっけん運動ネットワークは水環境を守るために、プラスチック汚染問題も視野に入れながらせっけん運動を進めて参ります。

全国から寄せいただいた各自治体のメッセージからは、ふるさとの水環境を大切にしている思いが伝わってきます。持続可能な環境を未来に残すために、地域ごとにさまざまな施策が進められていることに、大きな励ましをいただきました。これを機に各地の行政を担う皆さんには、事業者や生活者との協同による取り組みを行なっていただけることを期待いたします。

今後とも多くの皆さんのが参加、ご協力をよろしくお願ひいたします。

北海道

「シャボン玉月間」に寄せて

厚岸町長 若狭 靖

厚岸町は、厚岸湾・湖など水辺を中心に発展してきた自然豊かな町です。厚岸湖・別寒辺牛湿原はラムサール条約登録湿地であり、その周辺地域を含め、「厚岸霧多布昆布森国定公園」に指定されています。この豊かな自然、良好な環境を保全し、継承していくことが、私たちの最大の使命であると考えます。

名産品の牡蠣や牛乳、厚岸ウイスキーの生産には、きれいな水を守ることが最も大切であることから、「合成洗剤」から「せっけん」への切り替えを推奨する購入助成制度を設け、水環境の保全に取り組んでいます。

水環境保全のため、「せっけん運動」に取り組まってきた貴会に敬意を表するとともに、運動のさらなるご発展を心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

石狩市長 加藤 龍幸

石狩市は、一級河川「石狩川」が日本海に注ぐ最下流域に位置し、清らかな水環境をはじめとするこの地の自然から多くの恩恵を受け発展してきました。

本市は、この豊かな自然環境を適切に保全し、将来の世代に継承することを目的に「石狩市環境基本計画」を策定し、大気環境や水環境の汚染がなく、誰もが安心・安全な環境の中で、健康で快適に暮らすことができるまちを目指しています。また、本市は令和2年12月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、令和4年4月には「脱炭素先行地域」に選定されるなど、積極的に地球環境保全に対する取り組みを進めています。そのような中、せっけんの普及活動を通じて、水環境保全に長年取り組まれている貴会に改めて敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がることを心よりご祈念申しあげます。

「石けん使おう! 7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

岩見沢市長 松野 哲

岩見沢市は、広大な石狩平野に位置し、市内に利根別川や幾春別川などが流れる水と緑が共存した自然豊かな街です。その素晴らしい環境を守るために、「岩見沢における優れた環境と市民の生活を守り高める条例」が定められ、毎年、利根別川沿いのごみ拾いを行うクリーン・グリーン作戦や、サケの稚魚放流などの環境保全活動が、市民団体を中心に行われています。

豊かな自然環境を保全し、次世代に継承するためには、私たち一人ひとりの環境に関する意識と行動の積み重ねが重要です。

貴会の「せっけん運動」が、水環境保全への意識の醸成に向け取り組まれてきたことに心から敬意を表するとともに、今後のますますのご発展をご祈念申し上げます。

「せっけん使おう! 7月はシャボン玉月間」によせて

恵庭市長 原田 裕

恵庭市は、札幌市と新千歳空港のほぼ中間に位置し、市域の西半分は恵庭岳とその裾野に広がる恵庭渓谷の有する緑の森林地帯に覆われ、ここを源とした漁川やラルマナイ川の清流など、多くの河川と豊かな自然に囲まれた住み良いまちです。

本市では、第3次恵庭市環境基本計画に基づき、本市の健全で恵み豊かな自然が、よりよく次世代のこども達に受け継がれ、市民ひとり一人が安全で安心してくらすことができるよう、環境保全等の活動に取り組んでおります。

こうした中で、貴会の環境にやさしい石けん使用を広める運動は、「水環境」を保全していくうえで大変意義深いものであり、長年にわたる貴会の運動に改めて敬意を表しますとともに、この運動の更なる発展を心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**江別市長 後藤 好人**

江別市は石狩平野のほぼ中央に位置しており、市内に広がる「野幌森林公园」は、大都市近郊に残されている平地林としては世界的に珍しく、市民の憩いの場にもなっています。また、北海道遺産に選定されている「石狩川」に囲まれた、緑と水に恵まれた豊かな街です。

この豊かな環境という財産を将来の世代に引き継ぐため、令和6年度を初年度とする「江別市環境管理計画」を改めて策定し、市民・事業者・市が協働し、環境の保全及び創造に取り組んでいます。長年にわたり、水環境の保全に尽力されている貴会の活動に敬意を表しますとともに、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**小樽市長 迫 俊哉**

小樽市は、レトロな香りが漂う小樽運河や多くの歴史的建造物が残るロマンあふれる街として有名ですが、加えて、清らかな河川や緑の山々、青い海に囲まれており、自然豊かな街でもあります。

私たちはこれらの自然から多くの恩恵を受けておりますが、暮らしが豊かになるにつれ、知らず知らずのうちに生活の基盤となる自然環境に負荷を与えることも見過ごすことはできません。

本市では「小樽市環境基本計画」に基づき、市民・事業者・市が一体となって、自然と共生し快適に暮らすことのできる良好な環境づくりに取り組んでいます。

こうした中で、貴会の「石けん運動」をきっかけとして、より多くの人々が自然環境へ関心を持ち、環境保全の意識が高まっていくことを心より御期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**北広島市長 上野 正三**

北広島市は、石狩平野の南部に位置し、特別天然記念物「野幌原始林」をはじめとする緑豊かな自然に囲まれ、輪厚川等を中心とした親水空間は市民からも親しまれるなど、身近に触れ合える自然や心和む景観が数多く残るまちです。今年は、広島県人が原始の森に開拓の鍬を入れてから140年の節目の年を迎えました。

また、昨年開業した北海道ポールパークFビレッジは、多くの人々がこのまちに集い、交流を育む、今後のまちづくりにおいて重要な役割を担うエリアとなっており、北広島市に新たな価値と機会をもたらしております。

このような豊かな環境と都市機能が調和した住みよいまちを維持し、次世代に引き継いでいくよう、環境への負担が少ない社会の実現に向けた取り組みを進めているところです。

貴会が長年にわたり取り組まれている水環境保全の活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますよう心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**釧路市長 蝦名 大也**

釧路市は、ラムサール条約に登録された多様な動植物が暮らす「釧路湿原」と、世界で唯一の大型球状マリモが生息する阿寒湖を有する「阿寒摩周」の二つの国立公園に抱かれた雄大な自然と豊かな水環境に恵まれたまちです。

本市では、気候変動の影響がより大きくなっていることから、令和6年3月に釧路市環境基本計画を改定しました。本計画では、2050年カーボンニュートラルの達成に向けて、2030年までに二酸化炭素排出量を48%削減すること目標に、本市の持つ類まれなる自然環境と共生した温暖化対策を推進することとしています。

同じく環境保全に取り組む皆さまの活動の輪が、益々広がりますことを心からご期待申し上げます。

「せっけんを使おう!7月はシャボン玉月間」に寄せて

札幌市長 秋元 克広

札幌市は、支笏洞爺国立公園に連なるみどり豊かな山地が市域の南西部に広がり、豊平川をはじめとした大小約600の河川が流れる自然環境に恵まれた都市です。この豊かな自然環境を守り、次世代に継承するために、平成30年3月に「第2次札幌市環境基本計画」を策定し、環境問題の解決や将来に向けた環境政策のさらなる推進を図るため、市民や事業者、活動団体等の各主体がともに連携し、環境保全対策に関する取組を進めています。貴会の水環境保全の活動により、1人でも多くの方が環境への関心を持っていただくことで、次世代により良い水環境を残していくことに繋がりますよう、ご期待申し上げます。

「石けん使おう!7月はシャボン玉月間」に寄せて

当別町長 後藤 正洋

当別町は、札幌市の都心部から約15～25kmの距離に位置し、豊かな田園風景と緑輝く山々など、自然に恵まれたまちです。

また、治水、利水、河川環境の保全を目的として完成した当別ダムでは「当別ふくろう湖」が豊かな水を湛えており、その鏡のような水面に映える雄大な景色を一目見ようと多くの方々が訪れています。

恵まれた水資源と緑のある自然豊かなまちとして、持続可能で安心して暮らせる環境を次世代へつないでいけるように、自然環境の保全に取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、みなさまの活動の輪が広がり、石けん運動がさらに発展されますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

南幌町長 大崎 貞二

南幌町は札幌市から東に25km圏域に位置し、千歳川・夕張川・旧夕張川の3つの川に囲まれた緑豊かな田園文化の町です。

本町では「地球温暖化対策実行計画」に基づきCO₂の抑制に向けてエネルギー使用量の抑制目標を定め、ゴミの減量化やリサイクルの推進など環境保全活動に取り組んでいます。また、令和5年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、2050年までの二酸化炭素排出量実質ゼロを目指しています。

その中で貴会が取り組まれている「せっけん運動」は身近な環境保全活動として大変意義深い活動であり、長きに亘る取り組みに対し、心より敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がることをご期待申し上げます。



宮城県

シャボン玉月間によせて

宮城県知事 村井 嘉浩

宮城県では、自然の水循環がもたらす恵みが現在から将来にわたって持続的に享受されるよう、「みんなでつなぐ命の水～守り、育て、未来へ～」を基本理念として、水循環保全基本計画を策定し、県民、事業者、民間団体等と協働・連携した取組を推進しているところです。

貴会の「せっけん運動」は、身近な生活排水対策の一つとして、より良い自然の水循環の確保に貢献しているものと認識しております。これまでの長きにわたる取組に敬意を表しますとともに、今後、運動の輪がますます広がることを祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

石巻市長 斎藤 正美

石巻市は、北上川や旧北上川など豊富な水環境に恵まれており、これらの豊かな水環境を次世代に継承していくため、「水と緑の大地 新たなふるさとに」を目指すべき環境像として、自然と調和した新しいまちづくりを進めております。

また、本市では令和6年2月に2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明し、市民・事業者・地域とともに環境保全活動に取り組んでいます。

貴会が推進する「せっけん運動」は、私たちが日常生活の中で取り組むことができる身近な環境保全として大変意義深いものであり、その活動に深く敬意を表するとともに、この活動の輪がますます広がりますことを心より御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

岩沼市長 佐藤 淳一

岩沼市は東に貞山運河、南に那須連山に源を発する阿武隈川が流れる水環境に恵まれたまちです。

公共下水道等の整備や合併処理浄化槽の普及促進による生活排水処理対策、市街を通る五間堀川の水質測定のほか、水質事故防止の周知等、市民の意識、行動変容に繋がる取組を行い、水質保全に努めています。

「恵み豊かな環境を持続的に享受できるまち」を目指していくため、「ゼロカーボンシティ」を宣言、令和5年には岩沼市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、より一層の地球温暖化対策に向けた取組を推進しております。

貴会が長年にわたり取り組んでいる「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、更なるご発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

大崎市長 伊藤 康志

本市は、ラムサール条約湿地の蕪栗沼・周辺水田や化女沼をはじめとする豊富な自然環境に恵まれ、「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」が世界農業遺産に登録されています。

また、「SDGs未来都市」として世界農業遺産と連動した、持続可能な地域づくりの実現に向けて取り組んでいるところです。

これら先人から受け継いだ良好な水環境を市民協働で保全し、人と自然が共生する地域として、大崎耕土の恵みを次世代へ継承していかなければなりません。

貴会が長年取り組まれている「せっけん運動」に、心から敬意を表しますとともに、この運動が消費者意識の変革と豊かな自然環境を未来へ継ぐ活動になりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大郷町長 田中 学

大郷町は、宮城県のほぼ中央「宮城のへそ」に位置し、町土の7割を森林と農地が占め、町中央部には一級河川吉田川が流れる自然に恵まれた町です。

豊かな広がりを見せる水田地帯には、春の田植え後の緑色から、収穫期の秋には黄金色のじゅうたんが夕焼けに映える田園風景が望め、町の宝でもある豊かな自然を、守り育て、次世代へつなげていかなければないと感じております。

合併70周年・町制施行65周年を迎える本町では「田園と丘陵の織りなす町土を慈しみ その恵みを町の魅力や活力につなげるまち」を目指し、まちづくりに取組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に敬意を表し、今後益々のご活躍を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」

大衡村長 小川 ひろみ

大衡村は、宮城県のほぼ中央に位置し、村内を流れる善川及び埋川沿いに広がる平坦部から構成されており、森林、原野、農地が広がっている自然豊かな村です。

この豊かな自然を守るために、皆さん一人ひとりの取組みはもちろん、地域、事業者等との連帶・協働した取り組みの推進が大切です。

本村では、廃食用油を回収し、軽油の代替燃料であるバイオディーゼル燃料のリサイクルに取り組んでおり、今後も様々な環境保全に努め、より良い環境を次世代に引き継ぐための取組みを続けていきたいと考えております。

今後も貴会のますますのご発展とご活躍を心よりお祈りいたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

加美町長 石山 敬貴

加美町は、宮城県の北西部に位置し、広大で緑豊かな森林と、国内でもめずらしいミズバショウが群生する湿原地や、国の天然記念物鉄魚が生息する魚取沼など、豊かな自然の宝庫です。

こうした自然環境の中で、加美町薬用植物研究会では、薬用植物「ムラサキ」の本格的な栽培に取組んでいます。

ムラサキの根には抗ウイルス作用がある「アセチルシコニン」が含まれていることに着目した東北医科薬科大学の佐々木教授が、紫根エキスの抽出方法を開発し、抽出した「シコンエキス」を企業と連携しながら製品開発に取組み「紫根石鹼」が誕生しました。

皆様には純粋無添加の石鹼にシコンエキスを配合した洗いあがりサッパリ、スッキリ感が期待できる石鹼をご利用していただければ幸いです。

最後に、身近な感染症対策や生活排水対策の一つであるせっけん運動を通じて、より良い水環境の保全に取組んでいただいていることに深く敬意を表しますとともに、取組みの輪がなお一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」

栗原市長 佐藤 智

本市は、ラムサール条約湿地の伊豆沼・内沼や、国定公園に指定された栗駒山をはじめとする豊富な自然環境に恵まれた地域です。

2008年に発生した岩手・宮城内陸地震での経験を未来へ伝えるため、栗駒山麓の地形・景観を教育、学術研究、観光、防災などに活用するジオパーク活動に取り組んでおり、2015年に日本ジオパークとしての認定を受けました。

豊穣の大地から恩恵を受けるとともに、避けられぬ災害とも向き合い、持続可能な地域づくり、共生社会の実現に向け、官民協働で取り組んでおります。

貴会の活動に心から敬意を表し、明日を担う子どもたちに豊かな自然環境を引き継げるよう、いっそうこの取り組みが広まりますことを、祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**塩竈市長 佐藤 光樹**

塩竈市は、海に囲まれた豊かな自然を有しており、長い歴史と風光明媚な景観を誇るみなとまちです。

持続可能な地域社会の実現に向けて、この豊かな自然を将来の世代に引き継ぐことは私たちの重大な責務となっています。

本市では、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を目指すことを表明し、塩竈市環境基本計画の見直しも進めています。

今後も、市民・事業者・行政が連携して地域資源を活かした水辺の保全と創造を含めた環境保全活動に努めてまいります。

貴会の長年取り組まれている「せっけん運動」による水環境保全に向けた活動の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**七ヶ浜町長 寺澤 薫**

七ヶ浜町は三方を海に囲まれ、海沿いを歩くと温暖な気候と海風が気持ちよくリゾート気分を味わうことができ、また、町の一部は県立自然公園や特別名勝「松島」の指定を受けるなど風光明媚な町です。

七ヶ浜町は、古くから海と密接に関わり生活が営まれてきた歴史があり、将来にわたり保護、保全し、次世代に引き継いでいかなければなりません。

そのためにも、町民の皆様、関係団体の皆様とともに、今後とも環境保全に取り組んでまいりたいと考えております。

結びに、貴会の長きにわたる水環境保全活動に対し深く敬意を表しますとともに、石けん運動の輪が更に広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**仙台市長 郡 和子**

仙台市の自然は、豊かな緑や広瀬川の清流に象徴される良好な環境に恵まれ「杜の都」の愛称とともに受け継がれてまいりました。このような環境は、市民の皆様が主体となって守り育んできた大切な資産であり、本年度も脱炭素先行地域における取り組みや、企業における脱炭素化の推進を推し進めるとともに、資源循環都市づくりとして食品廃棄物のリサイクル事業を行う等、本市の目指す持続可能なまちの実現に向け、市民・事業者・NPOなど多くの皆様の協力をいただきながら、環境保全に取り組んでおります。

結びに貴会の水環境保全活動に敬意を表しますとともに、さらなるご発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**大和町長 浅野 俊彦**

大和町は宮城県のほぼ中央に位置し、町のシンボルセツ森や船形山そして吉田川に代表される自然豊かなまちです。

自然はかけがえのない貴重な財産であり、良好な自然環境を次世代へ引き継いでいくことは現代を生きる我々の責務です。本町では、町内の河川や湖沼の水質保全を目的に、地域住民の協力を得て定期的に清掃活動や水質モニタリングを実施しています。また、学校やイベントなどで環境教育を推進し、子どもたちや住民に水環境の重要性を伝えているほか、地元企業とも協力し、持続可能な水資源の利用と保護を目指す各種の取り組みを行っています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表し、今後ますます運動の輪が広がることを御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**多賀城市長 深谷 晃祐**

本市は、奈良時代初期に陸奥の国府が置かれ、令和6年に多賀城創建1300年を迎えた、歴史のあるまちです。

市内北部には、特別史跡多賀城跡から続く加瀬沼公園、中心部には砂押川が流れ、自然豊かな環境を形成しております。また、北部を中心に、緑豊かな樹林地が貴重な史跡群と一緒に、本市ならではの歴史的風致を形成しています。

この自然豊かな環境を守り、持続可能で安心して暮らせるまちを将来の世代にわたって引き継いでいくため、子どもから大人まで幅広い世代に対して環境保全行動の「気づき」が得られるよう、自然体験事業等の啓発活動に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長きにわたる水環境保全の取組に敬意を表しますとともに、環境保全・改善への大きな推進力となりますことをご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**富谷市長 若生 裕俊**

富谷市は、将来にわたり、安全・安心に暮らすことができる豊かな環境を未来に引き継いでいくため、令和2年度に「ゼロカーボンシティ」を宣言しています。

環境に配慮した取組において、全世帯へ配布する広報紙では、これまでの「水なし印刷」に加え、広報紙の印刷や配達時にかかるCO2相当量を削減活動に支援することで、CO2排出量を実質ゼロにする「カーボン・オフセット」を令和5年12月より導入しました。この取組は、自治体広報紙では東北初、全国で3例目となります。

今後も、地球環境へ貢献するとともに、市民の皆さんに地球温暖化防止への普及啓発を図ってまいります。

結びに、貴会のこれまでの水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後の更なるご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**登米市長 熊谷 盛廣**

登米市は、市内を南北に流れる北上川や迫川をはじめ、ラムサール条約湿地に登録されている伊豆沼・内沼、国際A級コースの長沼ボート場など、「水の里」として豊かな水辺環境に恵まれた地域であります。

本市では、目指す将来像「あふれる笑顔 豊かな自然 住みたいまち とめ」の実現に向け、湖沼等周辺の清掃や植樹活動、環境保全型農業の推進などの各種取組みにより貴重な自然環境を守り育てるとともに、環境と共生するための知識と経験を次世代に伝え、先人から受け継いだ文化や暮らしを未来に引き継いでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる水環境保全の活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**名取市長 山田 司郎**

貴会の皆様には、水環境の保全につながる重要な活動として、分解が早く安全性にも優れたせっけんの使用を広める活動に長年取り組まれてこられたことに深く敬意を表します。

水環境、とりわけまちを流れる美しい河川は地域の誇りであり生活の一部として親しまれており、市では水辺の環境に対する住民の理解を深めるため、毎年「ホタル観察会」や「水生生物観察会」を行っております。また、今年度は、市民団体と協働し、増田川の下流から水源までをたどる観察会を行います。

今後も美しい河川を含む水環境を次世代に引き継ぐために力を尽くしてまいりたいと思っております。

今後の貴会の活動がますます発展されますよう心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**東松島市長 湧美 巍**

東松島市は宮城県の東部太平洋に面しており、一級河川の鳴瀬川・吉田川、二級河川の定川が流れ、日本三景松島の一角を占める「奥松島」などの豊かな自然に恵まれており、人口約4万人の市です。

本市は平成30年6月に、全国29自治体の一つとして「SDGs未来都市」に、令和4年6月には環境省から「第1回脱炭素選考地域」に選定され、どちらも宮城県初であります。

2050年におけるカーボンニュートラルの実現に向け、今年度は新たに市役所矢本庁舎及び鳴瀬庁舎にそれぞれカーポートソーラーを設置したほか、EVカーを17台導入するなど、脱炭素社会に向けた取り組みを進めています。

結びに、貴会の長年にわたる水環境保全の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**松島町長 櫻井 公一**

松島町は、日本三景の一つとして世界に名高く、雄大な自然が生み出す美しい景観やそこに息づく人々の営み、豊富な農作物と海産物、国の特別名勝にも指定されている文化遺産や数多くの観光スポット等、多くの魅力で溢れた町です。

本町では昨年の「ゼロカーボンシティ宣言」に伴い、町の豊かな自然環境を次世代に引き継ぎ、「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち松島」を町の将来像とし、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロに向けて取り組んでおります。

貴会の長年にわたる水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**美里町長 相澤 清一**

美里町は、宮城県北に位置し、奥羽山脈から続く江合川と鳴瀬川が町の全域を流れ、この二本の清流に育まれた肥沃な大地により農業が発達した自然豊かなまちです。

本町では、2021年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、温室効果ガス排出量の削減及び再生可能エネルギーの導入を進め、2050年までにカーボンニュートラルの達成を目指しています。また、今年度、新たに美里町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定する予定であり、町、地域住民、事業者等が共に連携しながら、カーボンニュートラルの達成に向けた取組をさらに加速させてまいります。

貴会の長年にわたる環境活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**山元町長 橋元 伸一**

山元町は、宮城県の最東南端に位置し、東は太平洋に面し、西は阿武隈高地の北端をなす丘陵地が南北に連なる自然豊かなまちであり、県の「緑地環境保全地域」「自然環境保全地域」に指定されています。

本町では、令和元年に「第6次山元町総合計画」を策定し、現在、本計画に基づき、本町の貴重な宝である自然環境を次代へ継承するため、環境負荷の少ない、自然環境を活用したまちづくりを進めています。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取り組みに深く敬意を表しますとともに、今後もより多くの皆様に運動の輪が広がりますことを、心よりご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**利府町長 熊谷 大**

利府町は、宮城県のほぼ中央部に位置しており、特別名勝松島、宮城県民の森などの豊かな自然に恵まれ、また、宮城総合運動公園や大型商業施設の立地など、都市と自然が調和・共生している町です。

本町では、昨年地球温暖化対策実行計画（区域施策編）策定したことにより、省エネ家電買替促進補助金を実施するなど一般家庭における脱炭素社会への意識醸成を図る取組を推進し、町民の皆様と共に、環境保全事業に取り組んでいるところです。

貴会の長年にわたる活動に対し、深く敬意を表しますとともに、今後、活動がより一層充実したものになりますよう、心から御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**亘理町長 山田 周伸**

亘理町は、宮城県の南東部に位置し、東に太平洋の大平原、西に阿武隈高地、北は阿武隈川に囲まれた、豊かな自然環境に恵まれたまちです。

私たちは健康で快適な生活を営むために、良好な自然環境の豊かな恵みを受ける権利とそれを守り未来に引き継ぐ責務があり、普段から、一人ひとりが環境を意識し、行動をおこすことが大切であります。

本町では、第2次亘理町環境基本計画において「人と自然が共生できるまち」を町の目指すべき環境像として定め、町民、事業者及び行政と協働で、環境保全活動を推進しております。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、水環境を守る「せっけん運動」の輪が更に広がりますよう心からご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**涌谷町長 遠藤 祢雄**

涌谷町は、「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土の伝統的水管理システム』」の世界農業遺産への登録や、宮城県の「自然環境保全地域」「緑地環境保全地域」の指定など、豊かな自然環境が残されている町です。

当町では自然環境を保全し次世代へと受け継いでいくため、公共下水道の整備や合併浄化槽の設置に対する補助事業を実施し、環境保全に関する取組を推進しています。

結びに、貴会の長年にわたるせっけん運動への取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。



栃木県

「シャボン玉月間」に寄せて

栃木県知事 福田 富一

栃木県は、雄大な山々を望み、その山並みから清らかに流れる河川と、豊かな里山や田園が四季折々に色彩を変え、人々を魅了しております。

本県では、この美しい自然環境及び水環境のさらなる保全に向け、将来像に「守り・育て・活かす、環境立県とちぎ」を掲げ、栃木県環境基本計画に基づき様々な施策に取り組んでおります。

具体的には、河川や地下水の常時監視、生活排水処理施設の整備等による汚濁負荷対策の推進などを行っており、本県の清らかな水環境を子どもたちの世代へ伝えていけるよう引き続き努めて参ります。

貴会の長きにわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、皆様の活動のより一層の御発展を中心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

足利市長 早川 尚秀

足利市は、栃木県の南西部、群馬県との県境に位置し、まちを東西にわたって流れる渡良瀬川の清流とその支流である多くの河川が流れる自然に恵まれたまちです。本市では、脱炭素社会の実現を目指し、持続可能な循環型社会の形成を促進していくため、2024年2月に「足利市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、「豊かな自然と人と歴史が調和する環境にやさしいまち足利」を目指すべく、市民、事業者、行政が一体となって取り組んでいます。今後も、貴会の活動の輪がさらに広がり、将来にわたって守るべき水環境の保全意識の高揚につながることをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

市貝町長 入野 正明

市貝町は、絶滅危惧種の猛禽類であるサシバが日本一の密度で営巣する八溝山地の西麓にあり、その自然生態系を守るために県内で初めて里山開発に係る罰則を規定した「市貝町サシバの里保全創造条例」を制定しました。サシバが子育てをする美しい里地里山は、大気、水、土、微生物などの大きな流れで形造られています。中でも良質な水の循環は重要であり、町ではオーガニックビレッジ宣言を行い、農作物に対する化学薬剤の使用を厳しく制限しています。町内には環境宣言を行った花王株式会社の研究所と工場があり、原料を精選し、環境に負荷を与えない物づくりに努められています。私は天然やしミルクを使った石けんホワイトを愛用していますが、石けんがさらに愛されるようエコの理念の普及に努めて参りたいと思います。

「シャボン玉月間」に寄せて

宇都宮市長 佐藤 栄一

宇都宮市は、日光連山に続く丘陵地や田園の緑に象徴される豊かな自然の恵みを受け発展してまいりました。

本市におきましては、この自然環境を次世代に継承していくため、温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする脱炭素社会や「もったいない」の精神を柱とする循環型社会、環境・経済・社会のバランスが取れたまちの姿である「環境未来都市うつのみや」の実現に向け、行政・市民・事業者それぞれが環境に対する意識の向上を図り、互いに連携・協働して、水資源の確保や河川環境保全など各種施策の推進に努めております。

貴会の長きにわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後、皆様の活動の輪が一層広がりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大田原市長 相馬 憲一

大田原市は、清流「那珂川」をはじめ、「篠川」や「蛇尾川」が流れ、また、市内各地に清らかな湧水地が存在し、ミヤコタナゴ、イトヨ、ザゼンソウなど貴重な動植物が育まれるなど、豊かな自然環境を有しております。

本市では、市総合計画において「豊かな自然と調和する、安らぎある快適な環境のまちづくり」を掲げ、人と自然が共生する循環型社会の形成を目指すとともに、都市基盤の計画的な整備と適切な保全に取り組み、豊かで美しい自然と調和した安らぎのある都市環境の提供により、快適で住み続けたくなるまちづくりを推進しています。

貴会の環境保全活動に敬意を表するとともに、今後より一層活動の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

小山市長 浅野 正富

小山市は、農業、商工業のバランスがよく、市街地の周辺に農地や平地林が広がり、市の中心部を思川が流れ、コウノトリが定着・繁殖したラムサール条約湿地渡良瀬遊水地に繋がる、首都圏でも有数の都市環境と田園環境が調和した「田園環境都市」です。この魅力ある「田園環境都市おやま」を未来に引き継いでいくため、令和5年9月に「第4次小山市環境基本計画」を策定し、市民や事業者と協働して環境にやさしい行動を実践することで「人と自然が共生し未来につなぐ田園環境都市おやま」を目指しております。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後も取り組みの輪がますます広がっていくことをご祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

上三川町長 星野 光利

上三川町は東に鬼怒川、中央に江川、やや西よりに田川が流れ、広々とした田園地帯を形成しており、河川や地下水の豊かな自然環境に恵まれたまちであります。

本町では、町民が一丸となって河川などの清掃活動を行い、水環境の保全に取り組んでいます。また、今年度も引き続き電気自動車・蓄電池導入の補助を実施し、環境負荷低減に努めています。

これからも水資源、地域資源の保全を図るとともに、二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し、環境にやさしいまちづくりの推進を図っていきたいと考えております。

貴会が長年にわたり水環境保全のため取り組まれている「せっけん運動」に深い敬意を表すとともに、今後ますますの発展をご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

さくら市長 花塚 隆志

さくら市は、栃木県の中央部に位置し、日光連山、高原山及び那須連峰を背景に、鬼怒川や荒川を源流とする豊富な水資源を利用した水田と緑豊かな丘陵地により形成される里地里山の美しい環境に恵まれた小都市です。

本市におきましては、この貴重な環境を次世代に継承するため、今年3月に「さくら市地球環境にやさしい小都市」宣言を行い、2050年までにCO₂排出量実質ゼロの実現を目指すとともに、同年策定した「さくら市気候変動対策推進計画」では行政・市民・事業者が協働した水資源対策など各種施策を推進しています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後活動の輪が一層広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

佐野市長 金子 裕

佐野市は、古く万葉集に詠われた秀麗な三毳山や、藤原秀郷公の伝承が残る唐沢山城跡、また環境省が認定する日本名水百選の出流原弁天池に代表される豊富な湧水など、緑豊かな森林や清流、数多くの文化遺産があります。

私たちは、この自然環境に恵まれ、歴史あるまちを、将来の世代に引き継いでいく責務があります。

現在、2022年に改定しました第2次佐野市環境基本計画を軸として、市民、事業者の皆様と一体となって、水環境の保全に努めております。今後も地域環境、地球環境の保全に向けた環境行政を推進してまいります。

貴会の活動の輪が、より一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

塩屋町長 見形 和久

塩谷町は、町のシンボルである高原山の中腹から湧き出る、全国名水百選「尚仁沢湧水群」をはじめ、町の南岸を流れる鬼怒川と東側を流れる荒川など、水の恵みにより栄えた自然豊かな町です。

当町では、令和5年11月の新庁舎開庁と共に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、新たな船出を迎ました。面積の約70%を占める豊かな森林をはじめ、自然環境や歴史・文化を次世代に継承していくため、町民、事業者一体となって各種施策に取り組んでまいります。

貴会が水環境保全のため長年にわたり取り組まれてこられた「せっけん運動」に深く敬意を表するとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

下野市長 坂村 哲也

下野市では、歴史が物語る「災害が少なく自然が豊かで暮らしやすい土地」、すなわち「くらし」「ウツツケ」な場所という魅力を市内外に発信する「シモツケくらしウツツケプロジェクト」を始動しました。

また、この誇れる自然環境を継承するため、市がめざす環境像「豊かな自然と共生し、安全・安心に暮らせる持続可能な環境のまち しもつけ」の実現に向け、市民、事業者、行政の連携のもと、環境保全に取り組んでおります。

結びに、貴会が長年取り組まれている「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍をご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

高根沢町長 加藤 公博

高根沢町は、鬼怒川、五行川、井沼川が流れ、広大な水田地帯とそれらを取り巻く平地林や里山に加え、そこに生息する多様な生き物など、豊かな自然環境に恵まれております。本町では、自然環境の保全や環境負荷の低減に向けて、今年1月に2050年脱炭素社会に向けて環境に配慮し行動するための可能性調査となる「脱炭素ビジョン」を策定しました。住民・事業者・行政の連携により、地域の自然環境を存続させつつ持続可能な各施策の推進に努めてまいります。貴会の推進する「せっけん運動」は、身近な水環境の保全活動として大変意義深い取り組みであり、長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますます環境保全活動の大きな推進力となりますことを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

栃木市長 大川 秀子

栃木市は、市内を渡良瀬川、思川、巴波川、など多くの河川が流れしており、またラムサール条約に登録された渡良瀬遊水地を有し、水資源に恵まれた自然豊かなまちです。

栃木市では、令和5年2月に「ごみ減量宣言」を行い、水切り・食べきり・使いきりの「3きり運動」を推進し、1人1日あたりのごみの排出量の削減に取り組んでいます。

この取組は、日常生活での小さな取り組みですが、市民1人ひとりが積み重ねることで、環境負荷の少ない循環型社会の実現に向けて大きな変化につながるものと信じています。

貴会の推進する「せっけん運動」も日常生活における持続可能な小さな取り組みとして、身近な水環境の保全活動として大変意義深い取組であります。

私たちの住む環境を守り未来に引継いでいくために、お互いの運動を広め、実践してまいりましょう。

「シャボン玉月間」に寄せて

那須烏山市長 川俣 純子

那須烏山市は、那珂川や荒川などの清流や、美しい田園風景や里山などを有しており、豊かな自然や歴史・文化が息づいたまちです。

本市は、「第3次那須烏山市環境基本計画」を策定し、自然環境の保全に関する取組みを推進しています。今後も、本市が目指すべき環境将来像「人と自然が共生し未来へつなぐ環境に配慮した地域づくり」を目指し、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、貴会が水環境保全のために長年取り組まれている「せっけん運動」に敬意を表すとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心より祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

那須塩原市長 渡辺 美知太郎

那須塩原市は、令和5年9月に「2050 Sustainable Vision那須塩原～環境戦略実行宣言～」を行い、ネイチャーポジティブ（生物多様性の回復）、カーボンニュートラル（脱炭素社会の実現）、サーキュラーコノミー（循環社会への移行）という3つを柱とした環境施策を推進し、これらの同時実現を目指しています。

持続可能な社会の実現のためには、行政、市民、事業者などが環境に対する意識の向上を図り、互いに連携・協働した取組を継続していくことが大切です。

貴会の「せっけん運動」による水環境を守る活動は大変意義深いものです。長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後、皆様の活動がより一層広がりますことを心からお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

日光市長 粉川 昭一

日光市は、全国で3番目に広い市域面積を有しており、この広大な市域には、ラムサール条約に登録されている奥日光の湿原や鬼怒川・渡良瀬川水系の源流域等があり、おいしい水などの自然資源に恵まれています。

当市では、この豊かな自然環境を守り育むため、第2次日光市環境基本計画を定め、目指す環境像を「多彩な環境交流を楽しみ、育む 持続可能な都市・日光」として掲げています。安心・安全な生活環境の確保に向けて、関係機関と連携して自然と共生する環境にやさしいまちづくりを推進してまいります。

貴会が水環境保全のため取り組まれてきた活動に深く敬意を表すとともに、今後もより一層活動の輪が広がりますよう心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**芳賀町長 大関一雄**

2023年8月、芳賀－宇都宮間に次世代型路面電車LRTが開通しました。騒音や振動が少なく、乗り心地も快適な、人と環境に優しい乗り物です。

芳賀町は、生ごみやプラスチック類の資源化によるごみ減量化、再生可能エネルギーの利用促進等により、カーボンニュートラルの実現を目指しています。脱炭素を進めるためには、一人ひとりができるこを行なう、小さな行動の積み重ねこそが大切だと考えます。

貴会の、体にも環境にも優しいせっけんの利用を中心とした、水環境保全の取り組みは、正に小さな行動を積み重ねたものであり、長年にわたる活動に心から敬意を表します。

次の世代に、優しく美しいまちを引き継いで行けるよう、頑張っていきましょう。

「シャボン玉月間」に寄せて**益子町長 広田茂十郎**

益子町は栃木県の南東部に位置し、町の東側には八溝山地が連なり、西側には小貝川が南北に流れ、その流域には平地が広がっています。また、日本屈指の窯業地としても知られております。

本町では、今年3月に「ゼロカーボンシティ宣言」、「益子町気候変動対策推進計画の策定」を行い、脱炭素社会を目指す取組を推進しております。

そして、かけがえのない環境を次世代に継承していくため、本町の目標とする環境像「自然をいつくしみ、やすらぎはぐくむ、陶の里」の形成を目指して、これからも町民、事業者と一体になって各種施策を一層推進してまいります。

長年にわたり、水環境の保全に尽力されている貴会の活動に敬意を表すとともにこの活動の益々の発展をご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**矢板市長 森島武芳**

矢板市は、北部に八方ヶ原などを有する高原山麓が広がっております。市内には内川など、この高原山麓から生まれ出た豊かな水が大地を潤し、良好な水辺環境からなる自然豊かな都市です。

本市では、この豊かな自然環境を維持・保全し、将来世代にわたって守り育んでいくために、「矢板市環境基本計画」を策定し、市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を自覚し、協力して環境の保全と創造を進めていくことを掲げています。

貴会が、水環境保全のため長年にわたり取り組んでこられた「せっけん運動」に深く敬意を表すとともに、水環境の保全意識の高揚につながることをご祈願申し上げます。



茨城県

『せっけん使おう！7月はシャボン玉月間』に寄せて

茨城町長 小林 宣夫

茨城町は、茨城県のほぼ中央に位置し、ラムサール条約登録湿地「涸沼」をはじめとする水と緑と温暖な気候が織りなす豊かな自然環境に恵まれた田園都市です。

本町では、この貴重な地域資源を将来にわたって継承していくため、令和5年3月に茨城町第2次環境基本計画を策定して、「自然を愛し人も生きものも安らげるまちいばらき」を環境将来像として掲げ、その実現に向けて、行政はもとより、町民や団体、事業者が相互に連携協力する協働の取組を実施しているところです。

貴会の「せっけん運動」による水環境の保全は、身近で大変意義ある取組であり、長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がますます広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

つくばみらい市長 小田川 浩

つくばみらい市は、茨城県の南西部、東京都心から40km圏に位置し、鬼怒川、小貝川の2大河川が流れています。小貝川沿いは広大な水田地帯が広がり、丘陵部には畠地や住宅地等が形成されています。

本市では、この豊かな自然環境を次世代に引き継いでいくため、環境に配慮した水とみどり豊かなまちづくりを目指し、市民の皆様とともに、河川美化・浄化意識の高揚を図る取り組みを積極的に進めています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動である「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

利根町長 佐々木 喜章

利根町は茨城県最南端、都心から約40km圏内に位置し、その名のとおり「利根川」とともに生きてきた水辺の町です。町域はほとんどが平坦で、町の南側に利根川、中央に新利根川、北西部に小貝川が流れ、川沿いには桜並木が整備され、町民の散歩コースになっております。

豊かな田園風景と親水空間に恵まれた利根町では、水を守ることの重要性を認識し、河川での清掃活動、水質調査のほか、イベント等での意識啓発活動を行うなど、水環境の保全に対する取り組みを進めています。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」による、水環境の保全に対する取り組みに敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がますます広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

取手市長 中村 修

取手市は、茨城県の南端に位置し、利根川とその支流である小貝川の二大河川が流れる水と緑に恵まれた地域です。

本市は、令和2年8月に茨城県内で初めてとなる「取手市気候非常事態宣言」を表明しました。宣言により、2050年二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」として、気候変動を防止するための「緩和策」と気候変動への「適応策」に取り組み環境への負荷が少ない持続可能なまちづくりを進めています。

貴会が長年にわたる「石けん運動」を通じた水環境保全への取り組みに敬意を表しますとともに、引き続きこの運動の輪がますます広がり、大きく発展されることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

那珂市長 先崎 光

那珂市は、久慈・那珂両河川の恵みを受けた那珂台地にあり、自然豊かな県北の玄関口に位置しています。市内には、「日本さくら名所100選」に選ばれた静峰ふるさと公園があり、さらには古徳沼や一の関ため池親水公園に毎年多くの白鳥が越冬のため飛来するなど、四季折々の風情が楽しめます。

本市では、第3次那珂市環境基本計画で「豊かな自然と暮らしが調和したやさしいまち」を環境将来像に掲げ、環境に関する教育及び学習と意識啓発の推進、自然と共生できるまちづくりの推進など、環境の保全に取り組んでいます。

長年に渡り「せっけん運動」に取り組まれてきた貴会に敬意を表しますとともに、運動のさらなるご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

ひたちなか市長 大谷 明

ひたちなか市は、茨城県の中央部東側に位置する太平洋に面した市で、今年11月に市誕生30周年を迎えます。

多様な生物の宝庫の沢田湧水地がある国営ひたち海浜公園、白亜紀層の岩礁で磯遊びができる平磯海岸、市中心部で水と緑に親しめる親水性中央公園など身近に自然を体験できるまちです。

本市では、この自然環境を次世代に引き継ぐため「ひたちなか市地域におけるきれいな水環境推進計画」に基づき、水環境の整備や持続可能なまちづくりに取り組んでいます。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた水環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪や、環境への意識・关心が広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

水戸市長 高橋 靖

水戸市は、那珂川や桜川等の大小様々な河川が流れ、中心部には、多くの市民の憩いの場となっている千波湖を有するなど、その地名の由来のとおり水の豊かなまちです。

この豊かな環境を将来世代に継承するため、「豊かな水と緑を未来へつなぐ みんなでつくる持続可能なまち 水戸」を将来像に掲げ、様々な環境保全対策に取り組んでおります。水環境の保全としては、市民・事業者との協働による生活排水対策や水質浄化対策を推進しており、引き続き、河川・湖沼の保全に努めてまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

守谷市長 松丸 修久

守谷市は、東京都心から40km圏内に位置しているながら、利根川、鬼怒川、小貝川に囲まれ豊かな水辺環境を有しているとともに、台地の中心部に向かって谷津が形成されており、市街地を取り囲むように斜面林が連なり、豊かな水辺と緑に恵まれたまちです。

次世代に豊かな地球環境を引き継ぐため、市民一人ひとりが環境に与える負荷の大きさを認識し、行動するとともに、行政や企業によるカーボン・オフセットの取組の推進など、地域社会全体で環境への配慮の取組を進めています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がより一層広がりますようご祈念申し上げます。

埼玉県

「シャボン玉月間」に寄せて

埼玉県知事 大野 元裕

埼玉県では、豊かで清らかな川を大切な財産として未来に残すために、魅力のある水辺空間の創出など川の保全・共生に取り組んでいます。

その一つとして県民、企業、河川保護団体の3者の連携を支援し、活動を活性化させる「SAITAMAリバーサポーターズプロジェクト」（通称「リバサポ」）を推進しています。

リバサポでは、さらに活動の裾野を広げるため、犬の散歩やサイクリング等で普段何気なく川に来ている人達に向けた河川保護活動、「リバサポ×○○」として「リバ犬」や「リバチャリ」などの新たな取組を展開しています。

美しい自然を守り育み、安心・安全な環境を次世代に引き継いでいくために、これからも共に頑張っていきましょう。

シャボン玉月間に寄せて

朝霞市長 富岡 勝則

朝霞市は東京都心から20キロ圏内に位置し、交通の利便性に優れている住宅都市である一方、黒目川や新河岸川、越戸川などの河川に沿って斜面林や農地、湧き水が存在し、都市と自然が調和した武蔵野の面影が残るまちです。

本市では、これまでも、市、市民・市民団体、事業者の皆様と協働により環境施策の推進を務めており、河川の自然環境を守るために、清掃活動を行い、水環境の保全に取り組んでいます。

貴会の長年にわたる環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、皆さんの水環境を大切に思いやる一つ一つの取り組みが、シャボン玉のように無数に広がり、大きな輪になることを願っています。

しゃぼん玉月間に寄せて

入間市長 杉島 理一郎

入間市は、「狭山茶」の主産地として知られ、広大な茶畠が広がり、一級河川の入間川や霞川、不老川といった豊かな水環境とともに、加治丘陵や狭山丘陵の豊かな自然が織りなす、四季折々の美しい風景が魅力のまちです。

市では、SDGsの目標年度2030年に向けて「健康と幸せを実感できるWell-Being Cityいるま」を掲げ、経済・社会・環境の三側面から、地域資源を生かした持続可能なまちづくりに取り組んでおります。環境面では、「ゼロカーボン・シティ」の実現により、地球環境にやさしい、すべての生物にとってWell-Beingなまちを目指しています。

そのような折、貴会の「せっけん運動」の取り組みは、日々の活動を通じた水環境への身近な保全活動として大変意義深いものであり、水環境保全活動が益々広がっていくことを願っております。

貴会の長年にわたる取組に敬意を表しますとともに、より多くの方々の環境問題への意識が高まり、行動変容へと繋がることをご期待申し上げます。

「石けん使おう!7月はシャボン玉月間」によせて

小鹿野町長 森 真太郎

小鹿野町は、埼玉県の西北部に位置し、日本百名山の「両神山」、日本の滝百選の「丸神の滝」、平成の名水百選の「毘沙門水」など、多くの百選に選ばれる自然豊かな山間の町です。両神山より流れ出る小森川にはゲンジボタルとヘイケボタルが飛び交い、幽玄な光を放っています。

令和7年度には、第75回全国植樹祭が緑豊かな秩父地域で行われます。この植樹祭をきっかけに秩父地域から森林・みどりの大切さや森林資源の循環利用に対する理解の輪がより一層全国へと広がっていくことを期待しています。

貴会が推進する「せっけん運動」は、身近な環境保全活動として大変意義深いものがあります。貴会の活動の輪がさらに広がりますことを心からご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて**小川町長 島田 康弘**

小川町には、笠山・堂平山に源を持つ槐川、市街地を貫流し槐川へ流入する兜川、八和田地区を流れる市野川の3つの主要な河川があり、この清らかで豊富な清流の恵みによって古くから紙漉きや酒造りなどの地場産業が栄えてきました。

令和3年2月に、町の豊かな自然を子どもたちやその先の世代へ引き継ぐため、「小川町ゼロカーボンシティ宣言」を宣言し、さらに令和5年5月には「オーガニックビレッジ宣言」を行いました。町では、SDGsの取組や二酸化炭素の吸収源である森林の整備を行い、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す取組を進めています。

貴会の活動により、1人でも多くの方が環境への関心を持っていただき、より良い水環境を後世に残していくことに繋がりますよう、ご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**桶川市長 小野 克典**

桶川市は、脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」として主体的に取り組んでいくことを宣言しております。

また、本市は、環境にやさしいまちづくりに向けて、再生可能エネルギーの普及促進、ゴミの減量化及び再資源化、緑の保全等に努めており今年度には、環境保全のマスタートップランである環境基本計画や緑のまちづくり基本計画の策定を予定しております。この取り組みは、環境保全のために積極的に取り組まれている貴会の活動の一翼を担えるものと考えております。

結びに「せっけん運動」をはじめとする、貴会の活動の輪が、今後ますます広がりますことを、心よりお祈りいたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**越生町長 新井 康之**

越生町は、越辺川の清流と四季折々の花と山々に囲まれた緑豊かな自然に恵まれたまちです。

町では、令和4年12月、美しい山並みが連なった3町1村とともに「山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言」を表明しました。

各町村がそれぞれの強みを活かして連携・協力し、美しい自然環境を未来世代へ引き継げるようさまざまな施策を検討し取り組んでまいります。

今年度については、新たに生ごみ処理容器キエ一口普及促進事業を実施し、ごみの減量化及び資源化による環境保全に取り組んでまいります。また、電気自動車を導入する方にその費用の一部を補助し、地球温暖化の防止及び大気汚染の改善を図るなど、ゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みを加速してまいります。

最後に貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取り組みに心から敬意を表しますとともに、この活動の輪がますます広がりますことをご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**春日部市長 岩谷 一弘**

春日部市は、美しい水面を有する大落古利根川や江戸川など豊かな水辺環境に恵まれたまちです。本市では、「自然と人とが共生し 未来につなぐ環境をみんなで育てまもるまち・春日部」を環境像として掲げ、環境施策を推進しております。

また、水環境保全については、下水道供用開始区域における未接続世帯に対する個別訪問による普及促進や、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する啓発、小学生向け環境学習の実施などを通じて、水質汚濁防止に努めているところです。

今後も皆様の積極的な石けん運動から環境問題に対する取り組みの輪がさらに広がり、美しい環境が次世代に引き継がれていくことを心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**加須市長 角田 守良**

加須市は、利根川をはじめ、ラムサール条約登録湿地である渡良瀬遊水地、国土交通省水の郷百選に認定されている浮野の里など豊かな水辺環境を有しています。

これらの自然を次の世代に残すため、第2次加須市環境基本計画において、「豊かな自然と快適な環境のまちづくり」を目標とし、市民・事業者との協働により環境美化活動や自然環境学習を行っています。

令和5年3月には、「加須市ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、省資源・省エネルギーの推進や再生可能エネルギーの活用を一層推進して参りたいと考えております。

最後に、長年にわたる貴団体の活動に深く敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**川口市長 奥ノ木 信夫**

川口市は、鋳物や植木などの多種多様な産業が集積するまちです。そして荒川、芝川をはじめとする豊富な水辺、安行台地、見沼田んぼなどの豊かな緑地を有しております、これらの財産は未来へ引き継いでいかなければなりません。

本市は、人、自然、文化の豊かさが共生する、いつまでも住み続けたい「選ばれるまち川口」を掲げ、今年度「SDGs未来都市」に選定されるとともに、「自治体SDGsモデル事業」に選定されたところであります。引き続き、豊かな水と緑に親しめる空間の創出、生活排水対策の促進、自然保護の推進など環境に配慮したまちづくりの実現に取り組んでまいります。

皆様の永年の活動に深く敬意を表しますとともに、これからも環境にやさしい「せっけん運動」の発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**北本市長 三宮 幸雄**

北本市は、首都圏45km圏内、都心まで45分という好立地にありながら、昔ながらの谷津や湧水、クヌギやコナラの雑木林などが残る緑豊かな住宅都市として発展してまいりました。

本市は、これらのかかけがえのない環境を次の世代に残すため、令和4年1月に北本市ゼロカーボンシティ宣言を表明し、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す取組を進めております。

また、今年度も住宅用省エネルギー機器の設置や省エネ家電製品の買換え等に対し補助金を交付して、温室効果ガスの排出抑制に努めています。

結びに、貴会の取り組まれている環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**行田市長 行田 邦子**

行田市は、北は利根川、南は荒川の二大河川が流れている肥沃な関東の穀倉地帯に位置し、さきたま古墳公園や水城公園、古代蓮の里などの公園に加え、屋敷林や社寺林等の多くの緑地環境があります。

こうした豊かな自然と共生する社会を目指すため、本市では、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で環境保全活動に取り組んでまいります。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、豊かな水環境を保全する活動として大変意義深いものであり、長年にわたる活動に深く敬意を表します。今後もこの活動の輪がより一層広がり、さらに発展していくことを心から祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**久喜市長 梅田 修一**

久喜市は、市民・事業者・行政が一体となった「オール久喜」で2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言し、持続可能で活力あるまちづくりを進めているところです。

また、令和5年3月に策定の「第2次久喜市環境基本計画」において掲げた望ましい環境像「水と緑と街が調和した豊かな環境を守り・育て、未来につなぐまち『久喜』」の実現を目指しております。

このような中、本市では家庭から排出される廃食油を粉石けんとして活用する「リサイクル促進事業」を実施しており、事業を通じてごみの減量化とともに水環境保全の重要性を広く市民に啓発しております。

結びに、貴会の長年にわたる「せっけん運動」に改めて敬意を表しますとともに、益々のご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**熊谷市長 小林 哲也**

熊谷市は、荒川、利根川という二大河川を有し、豊かな水環境や自然環境に恵まれています。

清流・元荒川には、希少魚の「ムサシトミヨ」が生息し、本市の水辺環境のシンボルとなっているほか、南部地域の清流では毎年数多くのゲンジボタルが舞い、私達を楽しませてくれています。

本市では、豊かな水環境を後世に残すために保全活動や啓発活動を継続し環境保全に努めるとともに、地域と連携した脱炭素の取組みも推進しているところです。

貴会の「せっけんを使おう」という活動は、身近な水環境の保全に大変意義深いものと考えています。長年にわたる活動に心から敬意を表し、今後も活動の輪が大きく広がりますことをお祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**鴻巣市長 並木 正年**

鴻巣市は、首都圏50km圏内という都心への通勤圏に位置していることから、市街地の開発が進む一方で、荒川をはじめとする河川に囲まれ、水と緑に恵まれた豊かな自然環境を残しています。

本市は、令和5年5月に「SDGs未来都市」に選定されました。市名の由来の一つであるコウノトリをシンボルとして「人にも生きものにもやさしい コウノトリの里 こうのす」の実現を目指し、多くの生きもの、そしてコウノトリと共に存できる、環境に配慮したまちづくりを進めてまいります。

貴会が水環境保全のため長きにわたり取り組んでこられた「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう!7月はシャボン玉月間」に寄せて**越谷市長 福田 晃**

越谷市は、5本の1級河川が流れしており、土手沿いには散歩にも良い憩いの場所が多くあります。この豊かな環境を次世代に引き継ぐため、越谷市環境管理計画において、本市の望ましい環境像を「みんなで創ろう 越谷の豊かな環境と未来」としています。また、本市の環境条例の前文には「全市民の英知と努力により真に豊かな環境を保全し、創造していかなければならない」と示されており、すべての市民・事業者の皆様と行政が一体となって行動し、未来の越谷市民にとって「豊かな環境」を保全し創造することを目指しています。

長年にわたり、水環境の保全にご尽力されている貴会の「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**さいたま市長 清水 勇人**

さいたま市は、文教都市、経済都市、文化・芸術、歴史と伝統の街として発展すると同時に、見沼田んぼや荒川に代表される水と緑を有していることから、人と自然が共生した街づくりを目指しております。

本市では、この多様な自然を守り、次世代へ引き継ぐために「第2次さいたま市環境基本計画別冊さいたま水と生きものプラン」を策定し、市民・団体・事業者の方々と協働で、生物多様性保全や水環境への負荷低減に取り組んでいます。せっけんの適量使用についても、生きものや水環境への負荷低減には非常に重要です。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」による水環境保全への取り組みに敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間に寄せて」**坂戸市長 石川 清**

坂戸市は、武蔵野の緑と清流高麗川が織りなす恵み豊かな自然の恩恵を受け、今まで発展してまいりました。

本市におきましては、この豊かな自然を未来に引き継ぐため、市民の皆様とともに、環境への負荷を軽減する取り組みを積極的に進めています。平成14年に開館した環境学館いずみでは、環境に関する様々な講座を開催しております。その中でも市内小中学校の給食の廃食油を利用したリサイクル石けん作り講座は長きにわたりご好評をいただき、市民の皆様へ環境にやさしい石けんの普及を図っております。

貴会の長年にわたる『せっけん運動』への取組みに心から敬意を表しますとともに、今後ますます運動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**幸手市長 木村 純夫**

幸手市には、河川がもたらした平野で農業を営み、大地の恵みのもとで発展してきた歴史があります。また、河川沿いに広がる田園と明るく広い空が織りなす風景は、持続的に発展する社会を象徴する望ましい環境像でもあります。

本市では、受け継がれてきた幸手の豊かな自然環境守るため、水辺周辺を清掃するクリーン作戦や川沿いの環境を学ぶ市民環境講座などを実施し、市民・事業者・行政が一体となって環境保全活動に取り組んでいるところです。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は身近な環境保全活動として大変意義深く、心から敬意を表しますとともに、今後もこの活動がさらなる広がりとなることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間によせて」**狭山市長 小谷野 剛**

入間川をはじめとする豊かな自然との共生を図りつつ、県内有数の工業都市へと発展を遂げてきた狭山市は、今年で市制施行70周年を迎えます。

当市では、これまでの歩みを振り返るとともに、この節目の年を豊かな未来を紡ぐ契機とすべく、「ともに未来へ」をテーマに掲げ、多くの周年事業を市民と協働しながら実施しております。これらの事業を通じ、次世代に繋ぐ環境保全への関心及び意識を高め、狭山市環境計画の目標の一つである「人と自然との共生」を実現できるよう、今後更なる環境保全活動に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますよう心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

志木市長 香川 武文

志木市は、全国で6番目に小さい市であります。が、市内を「新河岸川」「柳瀬川」「荒川」の3本の川が流れ自然豊かなまちとして発展しており、この「恵み」はしっかりと後世に受け継いでいかなくてはいけません。

貴会が普及啓発するせっけんは、化学合成された洗浄成分を含まないため、肌に優しく、子どもから大人まで幅広く使えるとともに、排水されたせっけんカスは海や川にいる微生物のエサになるなど、人と環境に優しい大切なアイテムです。

次代を担う子どもたちのためにも、貴会と手を携え市民皆様への環境意識の高揚を図ってまいりますので、ご支援ご協力を賜りますとともに、引き続き、貴会の「せっけん運動」への力強い普及啓発活動にご期待を申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

杉戸町長 窪田 裕之

杉戸町は、大落古利根川や中川などの河川や水路が流れ、これらの豊かな水によって形成された田園風景が広がるとともに、雑木林や屋敷林などの緑豊かな自然に囲まれています。

当町では第2次杉戸町環境基本計画において「水と緑豊かで安らぎを感じられるまち」を環境の将来像として定め、公共下水道の整備や合併処理浄化槽の普及啓発等の施策を進めております。また、令和6年4月1日にゼロカーボンシティ宣言を行いました。

こうした中、水環境を保全する貴会の取組は大変有意義であり、長年にわたる「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」の活動に敬意を表するとともに、この活動が一人でも多くの方の「水環境」に対する意識向上につながり、環境保全の輪がさらに広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

草加市長 山川 百合子

草加市は埼玉県の東南端に位置しており、市内中心部を流れる綾瀬川沿いの国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」は、市の貴重な観光資源となっています。「だれもが幸せなまち 草加」を目指す本市は、2024年度SDGs未来都市に選定され、持続可能なまちづくりを目指すとともに、「人と自然が共に生きるまち そうか」の実現に向け、市民団体の皆様との協働による綾瀬川流域クリーン大作戦など様々な環境施策に取り組んでいるところです。

綾瀬川はかつて水質汚濁が著しかったものの、下水道の普及等により近年は水質改善が進み、多くの魚が戻ってまいりました。これも貴会が推進する水環境を保全し、安全で健康なくらしが営める環境づくりと軌を一にするものでございます。

貴会の皆様が長年取り組まれている水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、今後も皆様方の活動がさらに広がりますよう心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

秩父市長 北堀 篤

秩父市は埼玉県の北西部に位置し、市域の87%が森林に占められており、そのほとんどが秩父多摩甲斐国立公園や県立自然公園の区域に指定されている自然豊かな地域です。そして、山深い森は首都圏や周辺地域の水源域としての機能を担っており、この恵まれた環境をこれからも市民の皆さんとともに守り、次世代に引き継げるよう取り組んでまいります。あわせて、令和4年度に改訂された「ちちぶ環境基本計画」は秩父地域の環境保全の指針となるものですので、設定された目標を達成できるよう努めてまいります。

長年にわたる「せっけん使おう！」運動は、身近な環境保全の取組として意義深く、心から敬意を表すとともに、貴会のますますの御発展を心からお祈り申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**鶴ヶ島市長 齊藤 芳久**

鶴ヶ島市は、第3期鶴ヶ島市環境基本計画の目指す環境像として「緑と水と生きものと 持続可能な社会を目指すまち」を掲げ、環境団体等と協働で、緑や水辺、多様な生物を保全する活動を推進しています。

本市では、市民1,000人でヘチマを育て、環境意識の啓発を行う「ヘチマ・プロジェクト」を実施しています。取組の一つとして、副産物であるヘチマたわしを活用し、マイクロプラスチックを削減して海（水）を守る取組を進めています。

貴会の長年にわたる水環境保全への取組に敬意を表しますとともに、今後も貴会のますますのご発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**ときがわ町長 渡邊 一美**

ときがわ町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、都幾川をはじめとする一級河川と町の面積の約7割が山林という、水と緑に恵まれた自然豊かな町であり、「水と緑の豊かな環境を育てるまち ときがわ」を将来の環境像としています。

当町では、川の汚れの原因とされる生活排水を浄化するため、高度処理型浄化槽の普及を図ることを目的とした浄化槽設置管理事業を実施し、源流の町として公共水域の水質向上に努めています。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、石けん使用を通じて水環境を守るという、暮らしの中で実践できる環境保全活動として大変意義深いものと考えます。

結びに、貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「未来の子どもたちのために」**所沢市長 小野塚 勝俊**

所沢市は、都心から約30kmに位置し、交通の利便性が高いながらも、みどり豊かな武蔵野台地の自然に恵まれております。なかでも狭山丘陵を源とする柳瀬川、東川などの自然環境は、市民の皆さんに潤いと安らぎを、動植物には貴重な生息の場をもたらしております。

本市では、「所沢市脱炭素社会を実現するための条例」を制定するなど、“未来の子どもたち”的に、この豊かな自然環境を守り、笑顔あふれる持続可能なまちを創っていくことに力を注いでおります。

日々の暮らしの中で、環境にやさしい「せっけん」を使うことは、所沢市が進める「みどりあふれる持続可能なエコタウン」にもつながるものと思います。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」に、心から敬意を表しますとともに、“未来の子どもたち”的にも、活動の輪がさらに広がり、実り多いものとなりますことを、心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**長瀬町長 大澤 タキ江**

長瀬町の中央部には荒川が流れ、町全域が埼玉県立長瀬玉淀自然公園に指定されています。特に、荒川に隣接する「岩畠」は、国の名勝・天然記念物「長瀬」に指定され、今年で100周年になります。

当町は水に関わるレジャー産業も活発で、この豊かな環境を後世に引き継げるよう水環境対策として公共下水道の推進や合併浄化槽の普及啓発、廃食用油のリサイクル事業など、水質保全に取り組んでいるところです。

貴会が長年にわたり行っている「せっけん運動」は、身近な生活排水対策の一つとして、水環境の保全にとって大変意義のある活動です。今後も皆様の活動の輪が広がり、一人でも多くの方の環境への関心が高まることをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**滑川町長 大塚 信一**

滑川町は、埼玉県の中央部、首都60km圏内に位置し、町の中央を流れる滑川をはじめとする3つの一級河川と、国営武蔵丘陵森林公園や関東一といわれる約200か所の「ため池（沼）」が、谷津（やつ）という美しい景観を織りなす自然豊かな町です。

本町では、国の天然記念物ミヤコタナゴが棲める生息環境の回復に努めるとともに、2050年までに町内の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「滑川町ゼロカーボンタウン宣言」を表明しました。今後も、町に残る豊かな自然環境を次世代に継承するため取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**新座市長 並木 傑**

新座市は、首都近郊ながらも、武蔵野の面影を色濃く残す平林寺境内林などの雑木林が広がるとともに、柳瀬川、黒目川及び野火止用水が流れ、自然環境に恵まれたまちです。

本市では、これらの自然環境を将来にわたって引き継ぐため、『豊かな暮らしが自然と共生する持続可能なまち「にいざ」』を望ましい環境像に掲げるとともに、ゼロカーボンシティの宣言を行い、市民、事業者及び市が協働で温暖化対策を始めとする環境保全に向けた取組を進めています。

貴会の推進する「せっけん運動」は、身近な水環境保全活動として大変意義深い取組であり、長年の活動に敬意を表するとともに、今後の更なるご発展を心からご祈念申し上げます。

シャボン玉メッセージ**蓮田市長 山口 京子**

蓮田市は、元荒川や綾瀬川、見沼代用水などの豊富な水資源に恵まれ、黒浜沼や山ノ神沼などの貴重な水辺空間を有する自然豊かなまちです。

本市では令和4年3月に「蓮田市第2次環境基本計画」を策定し、河川5地点、池沼3地点での水質調査を年2回行う等「人と自然とが共生できるまち蓮田」の実現に向けて、各種環境施策に取り組んでおります。

市内を縦断する元荒川をはじめとした河川や黒浜沼等の水辺環境、周囲に広がる農地や市内に現存する雑木林や社寺林等の緑の保全が進み、それらを拠点とした緑のネットワークが形成されることで、多様な生物が生息・生育するまちを目指しています。

貴会の皆様が長年取り組まれている水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、今後も皆様方の活動がさらに広がりますよう心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**羽生市長 河田 晃明**

羽生市は、埼玉県の北端に位置し、利根川の豊かな水資源を利用した穀倉地帯で水と緑に囲まれた自然豊かなまちです。この豊かな自然環境は、私たち羽生市民の誇りであり、将来世代に引き継いでいく責務があります。

本市は今年、市制施行70周年の節目を迎えた。今後も「水と緑を生かし、安心して暮らせる環境にやさしいまち」を目指し、市民や事業者との協働により、持続可能な社会の実現に向けて、清らかな水の保全と再生にこれまで以上に取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後もより多くの方々に「せっけん運動」の輪が広がりますことを心からお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて**飯能市長 新井 重治**

飯能市は、埼玉県南西部に位置し、都心から50km圏内という首都近郊にありながら、豊かな森林と美しい清流に恵まれており、「水と緑の交流拠点 森林文化都市 はんのう」を将来都市像としています。

河川の上流域に位置する自治体として、このかけがえのない水源を守り次世代に引き継ぐために、埼玉県内でいち早く合併処理浄化槽組合を設立し、浄化槽の適正な維持管理を推進しています。本市が誇る美しい清流を未来に引き継いでいけるよう皆様とともに歩んでいきたいと考えております。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪が一層広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**東秩父村長 足立 理助**

東秩父村は埼玉県西部に位置する県内で唯一の村で、中央を一級河川櫻川が流れ、面積の約8割が山林と、緑豊かな自然環境の村です。また、櫻川の清流を利用して手漉き和紙（細川紙）の産地としても栄え、平成26年に「日本の手漉き和紙技術」としてユネスコ無形文化遺産に登録されました。

本村では平成15年度から村設置型の合併処理浄化槽設置管理事業の開始、令和4年度には小川地区衛生組合における可燃ごみのメタン発酵処理化、近隣自治体と共同でゼロカーボンシティ宣言を行うなど、豊かな自然環境の保全に努めるため、さまざまな事業を推進しております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」は水環境の保全活動として大変意義深い活動であり敬意を表するとともに、今後も「せっけん運動」の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**東松山市長 森田 光一**

東松山市は、埼玉県のほぼ中央に位置し、恵まれた立地条件と交通体系を背景に、緑と清流の織りなす美しい自然に囲まれた都市として発展を遂げてきました。

今年で市制施行70周年を迎える当市では、まちづくりの柱の1つに「自然と調和する 環境未来・エコのまち」を掲げ、ホタルの里づくり事業などの環境保全活動や市内を流れる河川の水質調査等を通じて、環境にやさしいまちづくりを推進しています。未来を担うこどもたちが、将来も住み続けたいと思えるまちにするべく、今後も各種施策に全力で取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、更に活動の輪を広げられることをご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて**日高市長 谷ヶ崎 照雄**

日高市は、関東百名山のひとつである「日和田山」や約500万本の曼殊沙華が咲き誇る「巾着田」、そして「高麗川」に代表される清流など、豊かな自然を有しております。この豊富な自然環境を未来に残していくためには、一人一人の環境に対する关心や意識が大切です。

本市では、自然の中を散策しながら、身近な植物、昆虫、水生生物、野鳥等を知る「自然観察会」や子ども達が自然の中で体験しながら自然環境を学ぶ「ひだかネイチャーキッズ」を開催するなど、環境意識の醸成を図っています。

今後も、本市の環境像である「豊かな自然を未来につなぐまち ひだか」の実現に向けて、積極的に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長きにわたる活動に対し深く敬意を表するとともに、今後の活躍とご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**深谷市長 小島 進**

深谷市は埼玉県の北西部に位置し、北部に利根川、南部に荒川が流れています。「深谷ねぎ」をはじめとした多くの農作物はこうした水環境の恩恵を受け育てられており、水環境を守ることは、将来に向けた重要な使命です。

本市は「渋沢栄一翁」の教えを踏まえたSDGsの実践に向けた取り組みが国に認められ、令和5年にSDGs未来都市に選定されました。

また、本年7月3日には、栄一翁が肖像の新一万円札が発行されました。栄一翁の顕彰と栄一翁の精神を生かしたまちづくりを進めてきた本市にとって千載一遇の好機と捉え、SDGs未来都市計画に掲げた「誰一人取り残さない みんながうれしい ふかや」の実現に向け、市民の皆さんとともに持続可能なまちづくりを進めてまいります。

結びに、長年取り組みを継続されている貴会に心から敬意を表するとともに、益々の御発展をお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて**富士見市長 星野 光弘**

富士見市は、市民に潤い・安らぎ・癒しを与えてくれる湧水や緑地が多く存在し、都心から30km圏内という首都近郊にありながら、自然環境に恵まれたまちです。

本市は、令和6年5月に内閣府の「SDGs未来都市」に選定されました。今後におきましては、持続可能なまちづくりの実現を目指し創設した、プラットフォーム『SDGsフジミライテラス』を通じて、行政・市民・企業・教育機関などと連携を図り、貴重な自然や生活環境を後世に引き継いでいくため、様々な取組みを進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪が、大きく広がっていきますことを心よりご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて**ふじみ野市長 高畠 博**

ふじみ野市は、北部の市境から南東に新河岸川が流れしており、沿岸には斜面林などの自然環境が残され、周辺には水田が広がっております。また、西部地域では、武蔵野の面影を残す畠や雑木林など、緑豊かな環境が保全されております。

このような中、当市では、毎年、河川の水質を継続的に調査し、その結果を「環境年次報告書」としてまとめ、ホームページで公開しているところでございます。また、環境保全の観点から、合成洗剤などの使用を控え、環境負荷の少ない石けんの使用を推奨しております。

今後におきましても、当市の目指す環境像である「みんなではぐくむ 緑豊かな住みよいまち ふじみ野」の実現に向け、各種施策を展開してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、貴会の更なるご発展を心から祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**松伏町長 鈴木 勝**

松伏町は、埼玉県の東南部、都心から約30km圏に位置し、江戸川・中川・大落古利根川の3本の河川に囲まれた水と緑豊かな町です。

本町では、今年4月からスタートした「松伏町第6次総合振興計画」に基づき、町民や事業者の皆様と連携をしながら、創意と工夫をもって、町の将来像である「みんなの笑顔を未来へつなぐ 緑あふれるまち まつぶし」の実現に向け取り組んでいるところです。

また、水と緑のネットワークの形成を活かし、かけがえのない地球環境を次世代に引き継いでいく必要があります。

貴会の長年にわたる環境活動への取り組みに心から敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**三郷市長 木津 雅晟**

三郷市は埼玉県の東南端に位置し、東に江戸川、西に中川が流れる水と緑に囲まれた自然豊かなまちです。

本市では、県東南部5市1町と共同で「ゼロカーボンシティ」を宣言し、今年度は家庭用省エネ家電の買い替えに係る補助を実施し、一般家庭における脱炭素への取り組みを後押ししております。

また、今年度から、地域資源である河川敷の魅力を多くの皆様に感じていただくため、国土交通省のご協力のもと、キャンプやドローン操縦訓練を楽しむことができる実証実験を進めており、今後も自然を身近に感じられるまちづくりを進めてまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がさらに広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**皆野町長 黒澤 栄則**

皆野町は、四方を山々に囲まれた秩父盆地の一角に位置し、山林を渡る涼風、荒川清流の水辺など自然豊かな町です。当町では、この美しい自然環境を次世代に引き継ぐために、町民と協働で取り組んでおります。

また、環境教育の一つとして、町立の幼稚園・各学校では、高純度な脂肪酸からなる品質の良いリサイクル石けんを使用するなど、環境に配慮したまちづくりを進めております。

貴会の皆様におかれましては、かけがえのない自然環境を後世に残すため、長年にわたり、水環境保全活動に取り組まれておりますことに心から敬意を表します。

今後とも、皆様の「石けん運動」の輪がますます広がっていきますことを心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**宮代町長 新井 康之**

宮代町は、埼玉県北東部にあり、大落古利根川をはじめとする豊かな水辺環境と、さいたま緑のトラスト保全第5号地である山崎山の雑木林など、多くの緑が共存する自然に恵まれたまちです。

当町では「2050年までの温室効果ガス排出ゼロ」を目標とし、今年度は地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定し、町民や事業者と一体となつた脱炭素化への取組を目指しております。

また、町民と力を合わせた環境保全活動や、水辺環境の保全に繋がる合併処理浄化槽の普及促進等に努めています。

「せっけん運動」を通じて、貴会の活動の輪がますます広がりますことを、心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間**三芳町長 林 伊佐雄**

三芳町は首都圏から30kmの距離に位置し、みどり豊かな武蔵野の雑木林や三富新田に代表される田園風景が広がる自然と都市機能が調和したまちです。

昨年7月、360年以上前の江戸時代から受け継がれる伝統農法「武蔵野の落ち葉堆肥農法」（川越市、所沢市、ふじみ野市、三芳町）がFAO（国際連合食糧農業機関）より世界農業遺産に認定されました。

今後も伝統農法の維持・保全を図りながらSDGsの達成に貢献するとともに、みよしフォレストシティ構想に掲げる農と緑の田園都市を実現するための、様々な環境施策を推進してまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深い敬意と感謝を表し、今後ますますの発展と活動の輪が広がることを祈っています。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

毛呂山町長 井上 健次

毛呂山町は、埼玉県南西部に位置し、緑と清流に恵まれた里山の田園風景が広がる自然豊かな町です。日本最古の柚子の原産地とも云われ、秋が深まる頃になると、里山には「桂木ゆず」が黄色く輝きます。

町では、この恵まれた自然環境を活かし、住民一人ひとりが健康で幸せに暮らせる「健幸づくりのまち」を宣言し、2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「山並み連携ゼロカーボンシティ共同宣言」も表明しました。

今後も、人にも環境にもやさしい持続可能なまちづくりに向けて取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、運動の輪がより一層広がりますことを、心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

八潮市長 大山 忍

八潮市は、埼玉県の南東部に位置し、中川、綾瀬川、大場川などの河川や葛西用水、八條用水などの用水路に囲まれており、水辺の環境に恵まれています。

このような中、本市では、人と自然が共生できる良好な環境を保全するため、各種イベント等での生活排水対策の普及・啓発などにより河川浄化策を推進しています。

また、市民にとって最も身近な自然として親しめる水辺空間の創出を図るため、「水と緑にふれあえる、環境にやさしいまち八潮」の実現を目指し、今後も、環境負荷の軽減や自然環境の維持・保全に取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、より多くの皆様に活動の輪が広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

横瀬町長 富田 能成

横瀬町は、埼玉県の西部、秩父地方の南東部に位置し、町のほぼ中央を東西に横瀬川が流れ、埼玉県内最大級の寺坂棚田が広がる緑と水の自然に恵まれた住みよいまちです。

本町は、都心から簡単にアクセスできる70km圏内にあります。美しい景観のなかに多様な幸せが花開く「カラフルタウン」を掲げ、豊かで美しい自然環境を育み、ここで育った子どもたちや訪れた人々がまた帰ってきたくなるまちづくりに積極的にチャレンジしています。

貴会が長年取り組まれているせっけん運動は、環境保全にとって大変意義深いものです。長年の活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がるよう心からご期待申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

吉川市長 中原 恵人

吉川市は、東に江戸川、西に中川が流れ、古くから水の恵みを享受してまいりました。昔から「吉川に来て、なまず、うなぎ食わぬなれ」といわれ、市内の料亭では川魚料理が堪能でき、近年では地域の飲食店にもその広がりをみせています。

このような「川の郷」を次世代へ受け継いでいくため、公共下水道への接続や浄化槽の維持管理の啓発、合併処理浄化槽への転換促進により水質の保全を図っており、健全な水環境の保全に向けて引き続き取り組んでまいります。

最後に貴会の長年にわたる活動に敬意を表し、「せっけん運動」を通じて、ますます活動の輪が広がりますことを心よりご期待申し上げます。

シャボン玉月間 町長メッセージ**吉見町長 宮崎 善雄**

吉見町は、埼玉県のほぼ中央に位置し、東部に荒川、南西部に市野川が流れる、水と緑に囲まれた自然豊かな町です。この豊富な水資源は、多くの恵みをこの地にもたらし、私たちに豊かな生活と潤いを与えてくれています。

本町では、豊かな自然や水資源を未来につなげるため、2050年までに町内の二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「吉見町ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。今後も地域一体となり、SDGsやゼロカーボンシティの実現に向けた取組を進めるとともに、環境に配慮したまちづくりに取り組んでまいります。

「せっけん運動」を通じて、水質保全活動に取り組まれている貴会に心から敬意を表しますとともに、今後、より一層活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて**寄居町長 峯岸 克明**

寄居町は、人々に安らぎと癒しを与える荒川をはじめ、全国名水百選に選定された風布川（ふうっぷがわ）・日本水（やまとみず）など、日本有数の美しい水環境を有しています。

この恵まれた水環境を保全し、後世に引き継いでいくために本町では、「第2次寄居町環境基本計画」を策定し、望ましい環境像として掲げている「豊かな水と緑・歴史に包まれ、環境にやさしい暮らしが息づくまち」を実現するために、公共下水道の整備、公設浄化槽設置及び浄化槽設置整備事業の推進等、生活排水処理の整備事業に注力しております。

長年にわたり貴会が取り組まれております水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、今後のご発展をご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間によせて」**嵐山町長 佐久間 孝光**

本町は、埼玉県のほぼ中央部に位置し、美しい緑と清流に囲まれ、国蝶オオムラサキが生息する自然豊かな町です。都心から約1時間、アクセスも良く、「蝶の里らんざん」として多くの方に親しまれています。当町ではこの環境を守るため、生活排水処理基本計画に基づき、平成元年より流域関連公共下水道、そして平成24年より県内唯一のPFI方式による、町管理型浄化槽整備推進事業を進めています。また、嵐山町ゼロカーボンシティ宣言の実現に向け、第2次嵐山町環境基本計画兼嵐山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を令和6年3月に策定いたしました。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取り組みに敬意を表しますとともに、活動の輪が広がりますことご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**和光市長 柴崎 光子**

和光市は、埼玉県の南端にあり、東京都に隣接しながらも荒川沿いの農地、斜面林や湧き水など豊かな自然に恵まれた土地です。また、鉄道3路線が乗り入れる和光市駅や東京外環道の2つのインターチェンジを擁する、利便性の高い都市として発展を続けています。

当市では、第五次和光市総合振興計画にて将来都市像「みんなをつなぐ ワクワクふるさと 和光」を打ち出し、次世代に伝えるべき財産である湧水と緑地などの自然環境を守り、育て、生かし、市民が身边に豊かな自然を感じられるよう取り組みを進めております。

貴会の日頃からの環境保全活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪が一層広がりますよう、心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**蕨市長 賴高 英雄**

蕨市は、日本一小さく、コミュニティが豊かな特性を生かし、市民や事業者とともに、住み良く、持続可能な環境にやさしい社会の実現に取り組んでいます。

昨年度スタートした第3次蕨市環境基本計画のもと、日本一のエコシティ蕨の実現に向け、SDGsの目標「安全な水」を守る活動に力を注ぎながら、太陽光発電やEV等への補助拡充、シェアサイクル事業の充実に加え、新たに群馬県片品村と森林整備に関する協定を締結し、カーボンオフセット事業を推進するなど、脱炭素社会への取り組みを加速化しています。

「せっけん運動」は、多くの方の環境意識を高め、日常的に取り組める素晴らしい活動です。この活動が一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

**千葉県****「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて****千葉県知事 熊谷 俊人**

千葉県は、多様な生物が生息・生育する里山や里海などの豊かな自然に囲まれ、様々な恩恵を受けています。この環境を次世代にしっかりと引き継いでいくことは、私たちの重要な責務です。

特に河川・湖沼・海域は、憩いの場や漁場として県民に豊かな恵みをもたらしており、多様な生物が生息・生育できるよう、水環境の保全を図る必要があります。

このため、県では、印旛沼及び手賀沼の第8期湖沼水質保全計画や東京湾の第9次総量削減計画に基づき、生活排水対策や事業場排水対策などの取組を総合的に推進しています。

「せっけん運動」を通じて水環境を守ろうとする皆様の活動が充実したものになりますよう、心からお祈り申し上げます。

2024年度「シャボン玉月間」によせて**我孫子市長 星野 順一郎**

我孫子市は手賀沼と利根川の水系に抱かれた水と緑の自然豊かな環境であり、市民の健康や良好な水環境を守るため、石けんの利用を推進してきました。家庭や学校、事業所などから排出される廃食油を回収し、NPO団体が石けんにリサイクルする資源循環に取り組み、学校や保育園での食器洗浄等に石けんを使用しています。催し等で石けんの使い方や環境との関わりについての啓発にも努めています。

令和6年4月には、市の我孫子市石けん利用推進対策審議会の設置及び運営に関する条例の一部を時代に合った形に改正しました。今後も石けん利用に取り組み、シンボルである手賀沼と環境に負荷を与えない暮らしを推進してまいります。

結びに、貴会の今後の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

市川市長 田中 甲

市川市は、東京湾に面し、江戸川や国府台緑地など恵まれた自然環境の下、東京近郊の文教・住宅都市として発展してきました。

本市では、市民の良好な生活環境を維持しつつ、自然環境を保全するため、令和5年3月に第四次市川市生活排水対策推進計画を策定し、市民との協働の下、生活排水対策を進め、良好な水環境の確保に努めています。

また、本年11月には、市制施行90周年を迎えます。今後のさらなる発展に向け、公共下水道の整備や水辺を活用した街づくりなどにより、貴重な水環境を保全し、次世代へとつないでいきたいと考えております。

貴会の長きにわたる活動に対し、深く敬意を表しますとともに、この活動がより一層広まることを心より願っております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

市原市長 小出 譲治

市原市は、京葉工業地帯の中核をなす一方、養老渓谷に代表される水と緑豊かな里山の風景が広がる自然に恵まれたまちでもあります。

こうした豊かな自然環境を次世代に継承し、持続可能なまちを実現するため、今年2月に「市原市ゼロカーボンシティ宣言」を表明しました。

産業と共に発展してきた本市だからこそ、資源循環型経済への転換を図る等、カーボンニュートラルの実現と地域経済の持続的発展の両立を必ずや成し遂げなければならないという強い思いを持って取り組んでおります。

結びに、貴会の「石けん運動」を通じた水環境を守り、次世代へ繋いでいく活動に敬意を表しますとともに、今後の益々のご発展を心から御祈念申し上げます。

『シャボン玉月間』によせて

印西市長 板倉 正直

印西市は、北部を利根川、南東部を印旛沼、北西部を手賀沼に囲まれた、水環境に恵まれたまちです。

本市では第3次印西市環境基本計画において、将来環境像を「みんなでつくる 自然と暮らしが調和した 快適でやさしいまち いんざい」とし、各種環境施策に取り組んでいるところであります。

また、令和6年5月には「ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、市民、事業者、市が一体となり、2050年に二酸化炭素実質排出ゼロを目指し挑戦してまいります。

水環境については、川や沼の水質を浄化するため、公共下水道の整備や高度処理型合併処理浄化槽の設置を推進するとともに、市民一人ひとりが水質保全に取り組んでいけるよう、引き続き啓発活動を行ってまいります。

結びに、貴会の長年にわたる水環境の保全活動に心から敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

『シャボン玉月間』によせて

浦安市長 内田 悅嗣

本市は、三方を海と川に囲まれており、水辺に関心を持ち川や海を大切にする意識を育むことは大切なことと考えています。

5月には、環境保全について学んでもらうことを目的として「環境ひろば in 三番瀬」を開催し、海岸親水施設の一般開放や干潟の生き物の観察会など、三番瀬を楽しみながら自然に親しむ機会を創出しました。

こうしたなか、環境にやさしいせっけんの使用を広める貴会の運動は、河川や海などの自然環境を守る、大変有意義な活動であると捉えております。

貴会の活動に敬意を表し、今後も活動の輪が広がりますことを心からご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて**御宿町長 石田 義廣**

御宿町は、美しい里山と海があり、豊かな自然環境に恵まれた観光のまちです。町内には山から住宅街を通過し海に流れ込む河川、水路などがあり、住宅地においては水環境の保全管理を行うために、合併処理浄化槽の設置や既設浄化槽の維持管理の徹底について推進しています。

河川環境の維持は観光産業などのあらゆる産業振興の源でもあるため、住民を中心としたボランティア団体が率先して河川清掃を行い、水質保全に真剣に向き合っています。

また、昨年度から役場庁舎や公民館などの公共施設へ廃食用油を使用したリサイクル“せっけん”を配置し、使用普及に取り組んでおります。

引き続き皆さんとともに運動を展開していくたいと考えております。

結びに、貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**柏市長 太田 和美**

本市は、利根川や利根運河、手賀沼といった豊かな水辺空間を有するとともに、北総台地に位置する地形上の特性から、斜面林や湧水、谷津田が存在し、多くの生き物が生息する貴重な自然環境が残されています。

特に都心から一番近い天然湖沼である手賀沼は、本市の象徴の一つであり、豊かな自然とともに人々の憩いの場として、古くから親しまれています。

その一方で昭和期からの宅地開発等の影響により、水質の悪化が進み、現在も国や県、流域自治体や漁業組合等と協力して、水質の浄化に取り組んでいるところでございます。

こうした中、貴会の多年に渡る取り組みは河川や湖沼の保全に資するものであり、心より敬意を表します。

市といたしましても、今後とも関係団体等との協働を進め、水辺環境の保全と回復、再生に努めて参ります。

結びとなりますが、貴会の益々のご発展を祈念いたします。

シャボン玉月間によせて**勝浦市長 照川 由美子**

勝浦市は、千葉県南東部に位置し、太平洋に面した温暖な気候の漁師町として古くから栄えており、海岸線は岩礁・砂浜と変化に富んだ風光明媚な景勝地も多い自然豊かな街であります。

令和元年度より、市内を流れる浜勝浦川につきまして、水質浄化用バイオ資材の河川への投入を継続的に実施し、現在のところ水質・悪臭ともに改善傾向を示しており、今後も積極的に生活環境保全への取り組みを推進してまいります。

貴会は長年にわたり水環境の保全に取り組まれており、「せっけん運動」による環境保全活動に敬意を表しますとともに、より一層活動の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**鎌ヶ谷市長 芝田 裕美**

鎌ヶ谷市は、千葉県の北西部に位置し、本市の河川は、手賀沼流域、印旛沼流域、真間川流域、海老川流域とそれぞれの水源地をなしております。

このため、市では浄化対策を進めることの重要性を認識し、市民との協働による河川調査や公共用水域・家庭雑排水処理施設の水質調査などを継続して実施しています。

また、地球温暖化に対応するため、市は令和5年11月30日にゼロカーボンシティを目指すと宣言いたしました。太陽光発電システム等の設置費用の一部を補助するなど、様々な環境の保全に取り組んでおります。

最後になりますが、貴会の環境保全に対する取り組みに敬意を表するとともに、ますますのご発展をお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて**栄町長 橋本 浩**

栄町は、利根川や印旛沼をはじめとする恵まれた水辺や、里山などを有する自然環境に恵まれたまちです。

この豊かな自然環境を守り、限りある資源を大切にするとともに、次の世代へと引き継いでいくため、当町では公共下水道の適正な管理や、補助制度を活用した合併処理浄化槽の普及促進、水質保全に関連した啓発や清掃などの各種活動を推進し、良好な水質の保全に努めながら今後も引き続き、町民、事業者、行政が協力し、環境負荷の軽減や、恵まれた自然環境の維持・保全に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に対し深く敬意を表するとともに、水環境の保全に繋がる活動の輪が広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**佐倉市長 西田 三十五**

佐倉市は、印旛沼や谷津、樹林地など、豊かな恵みをもたらす自然を享受しながら、都市と農村が調和する緑豊かな田園都市として発展してきました。

本市では、令和2年に策定した「第2次佐倉市環境基本計画」に基づき、印旛沼の水質浄化や谷津環境の保全に取り組んでいます。

また、地球温暖化や気候変動の影響に対応していくため、令和6年4月に「佐倉市気候変動適応センター」を設置し、関係機関と連携しながら、水環境・水資源の保全を含めた気候変動対策に取り組んでいるところです。

結びに、貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表すとともに、今後のご活躍とご発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**山武市長 松下 浩明**

山武市は千葉県の東部に位置し、日本有数の砂浜海岸である九十九里浜のほぼ中央にあり、砂浜と松林が連なる海岸部、田園風景が広がる平野部、サンブスギが生い茂る丘陵部により構成され、良好な自然景観を形成しています。

本市では、市民の皆さまが快適に暮らせる生活環境の確保や美化の推進、また、2050年ゼロカーボンの達成に向け地域脱炭素を推進してまいります。水環境についても、安全で安定した水の供給について、関係機関とともに、引き続き取り組んでまいります。

水環境を守る視点から幅広く暮らしを見直す活動に取り組まれている貴会に敬意を表すとともに、今後の更なるご発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**白井市長 笠井 喜久雄**

白井市は、都心に近いながらも豊かなみどりに恵まれ、良好な住宅地が形成された自然環境と生活環境の調和のとれたまちです。

令和4年3月に策定した白井市第3次環境基本計画では、「安全・安心を維持し、快適に住み続けられるまち」を基本目標の一つに掲げ、水環境の改善に取り組んでおります。

市では、合併処理浄化槽の普及を促進するとともに、廃食油の回収等を通じ、生活排水対策の強化を図り、河川、湖沼の浄化の推進に努めているところです。

シャボン玉月間も開始から40年が経過され、貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に敬意を表すとともに、活動の輪が広がり、今後の更なる御活躍と御発展を心から祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**匝瑳市長 宮内 康幸**

匝瑳市は、千葉県の北東部に位置し、北部は谷津田が入り組んだ台地を形成し、里山の自然が多く残されており、南部は豊かな田園地帯が広がり、南端は九十九里海岸に面しています。

市では、この恵まれた自然環境をかけがえのない貴重な財産として、後世に引き継いでいくため、市内8河川の水質測定を定期的に実施するとともに、合併処理浄化槽の設置促進やEM菌（有用微生物群）を活用した水質浄化対策等を行っています。

ご承知のように、昨今では感染防止対策として、せっけん、手洗いの重要性がより一層高まっています。

貴会の日頃の活動の成果に対し心から敬意を表しますとともに、活動の輪がますます広がりますことを祈念いたします。

シャボン玉月間によせて**千葉市長 神谷 俊一**

千葉市は、都市としての利便性に加え、日本一の長さを誇る人工海浜や13の河川のほか、内陸部には多様な生態系を育む谷津田を有するなど、豊かな緑と水辺に恵まれている都市です。

2026年には千葉開府900年を迎える本市の悠久の歴史の中で培われた豊かな自然を活かしながら、未来へ向かってよりよい形で引き継いでいくため、水環境の保全活用や生物多様性の保全再生に積極的に取り組み、自然と人が共生する持続可能な都市構造の形成を目指しています。

貴会の活動は、水環境や生物多様性の保全に資する意義深いものであり、長年にわたる取組みに敬意を表するとともに、今後ますますのご発展を心から祈念いたします。

シャボン玉月間によせて**袖ヶ浦市長 粕谷 智浩**

袖ヶ浦市は、昭和40年代以降に臨海部の工業化が進み、これに伴い内陸部において宅地や道路が整備され、市内の都市化が進みました。

その一方で、特定第二種国内希少野生動植物種であるトウキョウサンショウウオが野生で分布するなど、「豊かな自然と快適な暮らしが調和したまち」が形成されております。

このような環境を将来にわたって維持していくため、令和2年3月に「第2次袖ヶ浦市環境基本計画」を策定し、水環境をはじめとした自然及び生活環境の保全に取り組んでおります。

貴会が長年にわたり行っている「せっけん運動」は、水環境の保全において意義深いものであり、今後も活動の輪が、ますます広がることを心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**流山市長 井崎 義治**

流山市は千葉県の北西部に位置し、昭和42年1月に千葉県で20番目の市として誕生しました。また、江戸川や利根運河といった河川に恵まれ、水辺と緑豊かな住宅都市として発展してきました。

近年では「都心から一番近い森のまち」を目指すまちのイメージとし、水辺と緑豊かな住環境の整備に努め「住みたい、住み続けたい」街づくりを進めており、今後も効果的な水質浄化対策を推進し、引き続き生活環境の維持に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる環境保全に向けた積極的な活動に敬意を表するとともに、今後更なる活動の輪が広がり、益々御発展されますことを心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**成田市長 小泉一成**

成田市は豊かな自然環境に恵まれた美しいまちであり、市内には動植物の生息環境が育まれてあります。当市では、この恵まれた環境を将来に引き継ぐことが持続可能な社会の実現に繋がると考え、市域における生物及び生物を取り巻く自然環境について保全策を適切に実施するため「動植物生息状況調査」を進めています。

今後も、環境基本計画で掲げる「地球にやさしい環境交流都市」を目指し、様々な環境保全施策に取り組んでまいります。

貴会がせっけん運動を通じ、水環境の保全に取り組み続けてこられましたことに敬意を表しますとともに、今後益々、活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**野田市長 鈴木有**

野田市は、千葉県の北西部に位置し、東を利根川、西を江戸川、南を利根運河が流れ三方を河川に囲まれた、水と緑にあふれた自然豊かなまちです。

今年は、平成29年に放鳥したコウノトリの「ヤマト（オス：7歳）」がメスの「ひなた（2歳）」とコウノトリの里近くで野外繁殖を行い、市内で初となる野生のひな2羽が誕生しました。

人もコウノトリも暮らしやすい「自然と共生する地域づくり」を進めるとともに、今後も江戸川クリーン大作戦をはじめとした、市民の皆さまとの共働により、豊かな水環境を保全していきます。

最後に、貴会の長年にわたる水質保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**船橋市長 松戸徹**

船橋市は、人口約65万人を擁し、わが国で最も人口の多い中核市に成長・発展を遂げました。賑わう都市の中に、東京湾三番瀬や谷津田などの貴重な自然環境が織り成し、潤いや恵みをもたらしています。こうした本市の自然を守り育てていくため、市では令和6年度より調査を実施し、令和8年度に新たな「生物多様性ふなばし戦略」を策定する予定です。

また、影響が懸念される海洋プラスチックごみ問題に対して、日本大学生産工学部との連携協定による調査をもとに啓発を行っているほか、改善策の検討を進めています。

貴会におかれましても、良好な環境を次世代につなぐ取組を長年にわたり展開され、ここに敬意を表すとともに、今後多くの方の環境意識の高揚につながるよう、益々の発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**松戸市長 本郷谷健次**

松戸市は千葉県の北西部に位置し、また東京都と埼玉県に隣接する住宅都市として発展を続けておりましたが、令和6年6月7日、松戸市の住民基本台帳人口が50万人に到達いたしました。

本市では、令和4年に策定した「松戸市環境基本計画」に基づき、人と生き物が共存しているまち、健康的な日々を過ごすための環境が整ったまち、地球の環境にやさしいまちを「めざすまちの姿」と位置づけ、総合的な環境行政を推進しております。

長年にわたり貴会が取り組まれている環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動により多くの方々の水環境への関心が高まるご期待いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

八街市長 北村 新司

八街市は千葉県のほぼ中心に位置し、北総台地の肥沃な土壌環境を生かした農業が盛んであるとともに、多種多様な生物が生息する水辺や里山など緑豊かな自然を有しています。

本市では、この豊かな自然を次世代に引き継いでいくため、令和元年に新たに策定した「八街市循環型社会形成推進地域計画」に基づき、経年劣化した焼却施設の延命化を図ると共に、公害防止関連設備の性能向上、更には地球温暖化防止のため、温室効果ガスの排出抑制を積極的に推進しています。また、公共下水道未整備地区における合併浄化槽の普及などに取り組んでいるほか、美しい作田川を守る会や印旛沼環境基金による水環境の保全に努めているところです。

結びに、「せっけん運動」をはじめとする、貴会の活動の輪が、今後ますます広がりますことを心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

八千代市長 服部 友則

八千代市は、首都30キロ圏内にありながら、水辺の周辺に広がる田園や、貴重な自然環境である谷津、里山等により、四季折々の風情を楽しませてくれる人口20万人の住宅都市です。

本市では「八千代市第3次環境保全計画」に基づき、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進し、里山整備ボランティア人材育成講座の開催や親水空間の保全活動に取り組んでおります。将来にわたり快適で自然と調和した都市環境を形成するため、今後も、市民、事業者、市の連携のもと持続可能な脱炭素社会を構築し、未来に引き継ぐまちを目指してまいります。

結びに長年にわたる貴会の活動に敬意を表し、今後も活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

四街道市長 鈴木 陽介

四街道市は都心へのアクセスが快適であり、また住宅地のすぐ近くには緑豊かな自然があふれる里山の風景が広がり、ホタルも生息しているなど、都市と自然が調和する街として発展してきました。

市域に流れる3本の河川が印旛沼へ流入しており、本市においては印旛沼の水質改善を目的とした河川水質調査やボランティアの方々との清掃活動等を実施しております。

この豊かな自然環境を守り、育て、次世代へ引き継いでいくためには、子どもたちをはじめみんなが環境に対する意識を高めることが重要です。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」を通じて、一人でも多くの方へ環境保全の意識が広がりますことを願っております。



東京都

シャボン玉月間によせて

昭島市長 白井 伸介

昭島市は豊かな湧水と緑に恵まれたまちで、東京都内で唯一、深層地下水100%のおいしい水道水を飲むことができ、先人のたゆみない努力と郷土愛に支えられ、自然と調和したまちとして発展してきました。

昭島市環境基本条例には、こうした豊かな自然環境を次世代に引き継ぐことを目的とする基本理念が定められており、市民、事業者、市、それぞれの立場で役割を果たすとともに、相互に連携・協働して積極的に環境活動を推進しています。

貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に敬意を表しますとともに、「あなたの選択で未来が変わる～始めようせっけん生活～」を合言葉に、それぞれの地域で自然環境保全の輪が広がっていくことを祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

あきる野市長 中嶋 博幸

あきる野市は、季節ごとに景色を変える山々を有し、秋川渓谷が美しい自然を楽しませてくれる、自然環境に恵まれたまちです。

市内を流れる秋川には、清流を象徴するアユやヤマメなどが暮らしているほか、畑では、のらぼう菜やとうもろこしをはじめとした新鮮な野菜が育てられています。

本市では、この豊かな恵みを将来に渡って引き継いでいくため、「ゼロカーボンシティへの挑戦」を掲げ、地球温暖化対策や生物多様性の保全、ごみ対策など様々な環境保全の取組を推進しております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取り組みに心から敬意を表しますとともに、次世代への豊かな自然の継承に繋がりますよう、心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

足立区長 近藤 やよい

足立区は区内を多くの河川が流れる水と緑の豊かな区です。

区内の河川の一つである綾瀬川は、かつて水質ワースト1が長く続いた時期がありました。この状況を打破するために、足立区と綾瀬川流域自治体が連携して国等へ浄化施設設置を働きかけるとともに、区民一人ひとりが水質改善への取り組みを続けた結果、綾瀬川の水質は魚が住めるまでに回復しました。

また、一人でも多くの方に河川保護に関心を持っていただくため、区では河川の水質を調べる小学校向けの出前講座や、家族で参加する水辺の生きもの調査などを実施しています。

貴会の長年に渡る河川浄化への貢献に敬意を表しますとともに、さらなる発展をお祈りいたします。

シャボン玉月間によせて

荒川区長 西川 太一郎

荒川区は、区境を流れる隅田川の水質浄化に向けて様々な啓発活動を行ってきました。また区内には、日本で最初の近代的な下水処理施設である「三河島水再生センター」があり、生活環境と自然との調和を図る取組も進められてきました。

本区は、令和5年3月に「地球温暖化対策実行計画」を改定して、日常生活で取り組める「アクションプラン」を新たに設定するなど内容の充実を図りました。脱炭素社会の実現に向け、区民・事業者・行政が個々の取組を着実に実践するとともに、「環境区民」として協働による取組を進めてまいります。

貴会の活動がますます発展し、これらの区の取組やせっけん運動等を通じて今後も水環境が持続的に守られていくことを御期待申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

板橋区長 坂本 健

板橋区は東京23区の北西部に位置し、荒川をはじめとする4つの河川や武蔵野台地の崖線沿いの湧水など、水環境に恵まれた地域です。

区では、水辺環境を保全し、生物多様性を守るために、河川等の水質調査や生物調査を行い、区内の水辺環境の充実に取り組んでいます。

また、令和6年1月には「板橋区かわまちづくり基本構想」を発表しました。

板橋区を流れる荒川は、人工の放水路として完成後100年が経った現在では、ひとつの風景として地域に定着し親しまれてきました。荒川河川敷は、都市化された板橋区において貴重な空間として、自然に触れ合える場、レクリエーションを楽しめる場、地震時の避難場所など、多様な利活用が求められています。この魅力的な荒川河川敷を、板橋区のブランドとして創造・発信するとともに、多くの方々による交流やにぎわいにつながる水辺空間の形成を進め、区内の水辺環境の一層の充実に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたります活動に対しまして、深く敬意と感謝を表しますとともに、皆様方の取組みの輪が一層広がりますことをご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

稲城市長 高橋 勝浩

稲城市は、多摩川の清流や300年以上の歴史を誇る大丸用水に代表される豊かな水と多摩丘陵の緑につつまれた潤いとやすらぎのあるまちです。多摩川の支流を活かして育てられたホタルの輝きは、毎年、初夏の風物詩となっております。この水と緑につつまれた稲城のまちを後世に引き継ぐため、市では、親水空間の整備や水質保全に対する取り組み等の施策を推進しております。

市では、暮らしに潤いとやすらぎを与えてくれる、この豊かな環境を守り育て、将来へと引き継いでいくために、毎年、多摩川や三沢川沿い等、市内の清掃活動を市民の皆さんと行っております。今後も、市民と行政が協力し、やすらぎのあるまちづくりを進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたります活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が今後も大きく広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はしゃぼん玉月間」に寄せて

江戸川区長 斎藤 猛

江戸川区は、昭和48年にドブ川と化していた古川を清流の流れる全国初の親水公園として再生し、国内外で高い評価を受けました。

現在では5つの親水公園(総延長10.03km)と18路線の親水緑道(総延長17.68km)が整備され、区内を流れる7つの河川と共に暮らしに潤いをもたらしています。

また、今年度は「みどりの基本計画」を10年ぶりに改訂し、「水・みどり・農、ともに生きる豊かな暮らし」を掲げ、水の恵みを生かし、守りつつ、みどり豊かな住みよいまちづくりをさらに進めることとしました。

結びに、水との関わりの深い江戸川区として、貴会の長年にわたりる「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心より祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はしゃぼん玉月間」に寄せて

青梅市長 大勢待 利明

青梅市は、総面積の約6割が水源を担う森林であり、市域の中央を東西に流れる多摩川とそれに注ぐ多くの支流、また北側に荒川水系の支流となる霞川や成木川など自然に囲まれた数多くの河川を有しています。

この恵まれた豊かな自然環境を未来に引き継ぐため、本市では毎年定期的に河川の水質調査を実施し、保全にも努めています。

自然環境にやさしい石けんを用いることは、持続可能な開発目標である「SDGs」の理念に通じるものでありますことから、今後も「石けん運動」の重要性は一層高まっていくものと考えております。

結びに、貴会の活動の成果に対し、心から敬意を表しますとともに、この活動が益々発展されますことを御期待申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**大田区長 鈴木 晶雅**

大田区には、多摩川・呑川といった河川、洗足池公園・田園調布せせらぎ公園や東京湾など豊かな水辺があり、絶滅が危惧されているトビハゼやコアジサシといった貴重な生物が生息しています。

区では本年3月に新たな基本構想を策定し、「豊かな環境と産業の活力で持続的に発展するまち」を基本目標として掲げています。地域社会のすべての主体が環境に配慮した行動をともに起こし、将来の世代によりよい形で引き継いでいけるよう、「SDGs未来都市」大田区として引き続き取り組みを進めてまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**葛飾区長 青木 克徳**

葛飾区では、区の特性である河川や緑豊かな環境を活かしながら美しい都市環境を創造するとともに、地球温暖化やそれに伴う気候変動に対応し、環境負荷の少ない、自然にやさしいまちをつくるため取組を進めています。

今年は5月に「葛飾区気候変動シンポジウム～2050年ゼロエミッションを目指して～」を開催しました。今後も、温室効果ガス排出量削減などの様々な環境施策を「オールかつしか」の連携・協働により一層推進してまいります。

人にも環境にも優しい石けんの良さを広める、皆さんの運動と同様、私も引き続き、「きれいな水」に囲まれた葛飾の自然を守る取組を進めていますので、今年も一緒に頑張ってまいりましょう！

シャボン玉月間によせて**北区長 やまだ 加奈子**

北区には、由緒ある桜の名所の飛鳥山や、荒川をはじめとした4つの河川の水辺、子どもたちが元気に遊べる公園など、緑豊かなやすらぎの空間が多くあります。

これらの素晴らしい自然環境を未来に引き継いでいくため、「北区環境基本計画2023」のもと、限りない恵みをもたらしてくれる環境を守り育み、豊かで質の高い緑・水辺の保全に向けて、引き続き取り組んでまいります。

団体における長年にわたる活動に対しましては、深く敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がっていくことをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**清瀬市長 濵谷 桂司**

清瀬市は、都心へのアクセスが約20分という高い交通利便性を持つつも、武蔵野の原風景たる雑木林、市内を流れる柳瀬川、空堀川、そして農地が織りなす自然豊かな温かい都市です。

本市では、市の大切な財産である豊かな自然を未来の子どもたちに残すため、市民の皆さんを中心となり、環境川まつりや市内一斉清掃を始めとする環境保護活動に取り組んでおります。

「せっけん運動」は、自然保全を大切にする市にとっても大変意義深いことであります。この運動に賛同し、取り組みの推進を図ってまいりたいと考えております。

結びに、貴会の長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表すとともに、益々のご発展を祈念いたします。

シャボン玉月間によせて**国立市長 永見 理夫**

国立市の南部は、多摩川、矢川からなる豊かな水環境と、崖線樹林地、田畠が広がり、東京の名湧水57選に選定された「ママ下湧水群」、「常磐の清水」など、美しい透明度を誇る湧水群が、市民に潤いと安らぎを提供してくれています。

市では、これら水環境の保全に向けて、雨水浸透ますの設置費補助金制度、河川等の水質分析、雨水タンクのリユースなどの水環境保全施策に取り組んでいます。

貴会が長年にわたって進めている「せっけん運動」も、水環境保全の大切さを伝える運動と認識しております。今後も、貴会の運動が益々発展し、人々の環境保全への意識がさらに広がっていくことをご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**江東区長 大久保 朋果**

総延長50km以上の河川と運河が縦横に走り、親水公園など緑の多い「水彩都市」江東区。この豊かな環境を次世代に引き継ぐため、現在の「環境基本計画」をさらに発展させた次期計画を検討しています。

環境先進都市として、「水と緑豊かな地球環境にやさしいまち」の実現を目指し脱炭素社会の実現をはじめ、自然との共生、生物多様性の保全などに取り組みます。

区民や事業者と一丸となり、計画に基づいた施策を全力で推進してまいります。

「せっけん運動」など長年にわたる貴会の様々な環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**小金井市長 白井 亨**

小金井市では、水と緑の環境が豊富に保全されており、国分寺崖線や野川、玉川上水など慣れ親しんだ小金井らしい景観を形成し、癒しを与えてくれています。また、当市では、「第3次小金井市環境基本計画」において、市民、事業者、市等がそれぞれの役割を担い、協力してよりよい環境づくりに取り組むことで、この素晴らしい環境を未来に引き継ぐことを目指しております。

「せっけん運動」は、誰もが気軽に取り組むことができる環境保全活動です。この様な活動に長年にわたり取り組まれる貴会に敬意を表しますとともに、この運動の輪が環境保全意識の更なる高揚に寄与し、ますます広がっていくことを期待しております。

「石けん使おう!7月はシャボン玉月間」によせて**国分寺市長 井澤 邦夫**

国分寺市は、国分寺崖線に代表する緑や、お鷹の道・真姿の池水群等の武蔵野の面影が残る緑豊かな住宅都市です。

本市では、豊かな環境を未来の子どもたちに引き継ぐため、2050年までに脱炭素社会を目指すことを表明し、令和6年3月に「国分寺市ゼロカーボン行動計画～オール国分寺で取り組む脱炭素社会～」を策定しました。

また、本市の環境配慮の取組として、公共施設での合成洗剤の使用を控え、純石けんの使用を推進しています。今後も市民及び事業者の皆様と連携しながら、環境施策の推進に取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、今後一層の活動の輪が広がりますよう祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

小平市長 小林 洋子

小平市は、緑に囲まれた「小平グリーンロード」が市全体を結び、市民の憩いの場として親しまれています。

これらの美しい緑を守り、将来に繋いでいくため、令和4年2月に、「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、環境負荷の削減を目指す取り組みが、一段と加速することとなりました。しかしながら、我々一人ひとりが地球に与える影響を再認識し、持続可能な未来への取り組みを強めることが必要であると考えます。

それは、日常の生活の中で自然と環境を意識することもあります。そのような一人ひとりの取り組みが、私どもが目指す「ゼロカーボンシティ」の実現へつながるものと考えております。

最後に、貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、共に持続可能な未来を目指し、その達成に向けた積極的な活動と更なる発展を心から祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

狛江市長 松原 俊雄

狛江市は、都心に近い位置にありながら市内を流れる多摩川や野川のほか、農地や樹林地など、水と緑の豊かな環境に恵まれたまちです。

「ともに創る文化育むまち～水と緑の狛江～」を将来都市像として掲げ、2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を宣言するなど、環境に配慮したまちづくりを進めています。

今後も、適正な水環境の保全、自然豊かで持続可能な社会の推進に貢献するため、取り組んでまいります。

貴会の長年に渡る水環境の保全活動へのご尽力に深く敬意を表しますとともに、理念に賛同申し上げ、今後の更なるご活躍とご発展を祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて

品川区長 森澤 恭子

品川区は、沿岸部の運河や区内を流れる目黒川や立会川など水辺に親しめる環境を有しています。

令和5年3月に改訂した「品川区環境基本計画」においても、基本目標のひとつに「水とみどりがつなぐまち」の実現を掲げており、水とみどりに親しめる環境整備、運河や目黒川および立会川の水質改善等に取り組んでおります。

引き続き、品川区立環境学習交流施設「エコルとごし」での環境講座をはじめとした様々な施策を通じ、区民や事業者に向けた水環境に関する啓発・情報発信を行ってまいります。

結びに、貴会の長年にわたる水環境保全の活動に敬意を表しますとともに、ますます「せっけん運動」の活動の輪が広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

渋谷区長 長谷部 健

渋谷区では、みどりの保全・創出・共創を施策の柱として、令和6年4月に「渋谷区みどりの基本計画」を策定しました。本区は、代々木公園など大規模な緑地や、渋谷川、玉川上水旧水路緑道があり、「みどり・生きもの・人がつながるまち しぶや」を将来像としています。流行や都市文化の発信とみどりが密接に結びついて発展してきた渋谷の特性を踏まえ、新たに創出するみどり、再生するみどりの質を高め、潤いある暮らし、生きものの生息・生育環境、にぎわいが調和したまちを、みどりを拠点に広げていきます。

結びに、貴会の長年のご活動に敬意を表しますとともに、今後の皆様の更なるご発展とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

新宿区長 吉住 健一

新宿区は、都心にありながら神田川や妙正寺川などの多様な水環境を有するまちです。

本区では、利根川上流の群馬県沼田市や多摩川上流の東京都あきる野市などにも「新宿の森」を開設し、区民とともに森林を育み水資源の涵養の大切さを学ぶ場として活用するなど、水環境保全を啓発する取組を積極的に実施しています。

23区における河川や水辺空間は、人々にうるおいとやすらぎをもたらす、かけがえのない財産でもあります。

皆様方の長年にわたる「せっけん運動」を通じた水環境保全の取組に深く敬意を表しますとともに、23区をはじめ活動の輪がますます広がることをご期待申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

杉並区長 岸本 聰子

杉並区では、区の将来像の一つとして掲げる「気候危機に立ち向かい、みどりあふれる良好な環境を将来につなぐまち」の実現を目指し、自然環境の保全や脱炭素社会に向けた取組を進めています。

なかでも、区内を流れる神田川、善福寺川、妙正寺川の水辺環境の保全に向け、自然環境・河川生物の実態調査、生物多様性の観点からの水辺環境の再生・創出等に取り組んできました。また、今後、自然環境が有する多様な機能を活用し、地域課題に対応していくグリーンインフラの一層の活用検討などにも取り組んで行きます。

長きにわたる貴会の水環境保全の取組に敬意を表するとともに、今後も更なるご活躍とご発展を祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

墨田区長 山本 亨

墨田区は、隅田川や荒川などの豊かな水辺に恵まれた環境にあり、“水と緑に親しみ、うるおいとやすらぎが実感できる”まちです。

「第二次すみだ環境の共創プラン」では、将来像を“みんなで創る環境にやさしい持続可能な「すみだ」”と位置付けて、“水と緑が暮らしに寄り添うまち”を目標の一つに掲げています。また、本区では、40年前から雨水利用を先進的に進めており、今年8月には、「雨水ネットワーク全国大会2024 in すみだ」を開催いたしました。引き続き、世界の水循環の大切さについて発信し、普及啓発に努めています。

かけがえのない地球を子どもたちに引き継いでいくため、貴会の水環境保全活動の輪が一層広がり、発展していくことを心より御期待申し上げます。

「7月はシャボン玉月間」に寄せて

世田谷区長 保坂 展人

世田谷区は、多摩川と、その流域に沿った国分寺崖線、等々力渓谷、馬事公苑など、豊かな水や緑に触れ合える住宅都市です。

私たちは、これらの自然環境を守るとともに次世代に引き継いでいく責務があり、一人ひとりが環境を意識し行動することが大切です。

本区では、世田谷区環境基本計画を策定し、自然の力と人の暮らしが豊かな未来をつくることを目指して環境行政に取り組んでいます。また、次期計画を策定中であり、地球環境、自然環境、生活環境を守り、将来にわたって良好な環境を保つ地域社会を引き続き目指していきます。

貴会の長年取り組まれている環境活動に心から敬意を表しますとともに、今後も皆様方の活動の益々のご発展を心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**台東区長 服部 征夫**

台東区では、令和6年3月に地球温暖化に伴って深刻化する水辺環境等への影響に対して、取り組むべき施策を明確にするため「台東区環境基本計画」を改定し、令和6年4月には環境保全施策の基本的な事項を定める「東京都台東区環境基本条例」を施行するなどの取り組みをして参りました。

また、本区の東側に流れている隅田川等の水辺を次世代に引き継いでいくため、水質調査や水生生物調査を実施し、ハゼ釣りや水辺観察など区民が貴重な水辺空間であることを実感できるイベントを通じて、水質浄化と水辺環境意識の向上に取り組んでおります。

結びに、貴会の水環境保全活動に敬意を表すとともに、今後も更なるご発展を祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**立川市長 酒井 大史**

立川市は、多摩川の清流と玉川上水の分水によって開拓された農地や武蔵野の雑木林など豊かな自然に恵まれた都市です。この環境を守るために行政だけではなく、市民や事業者等と連携した取組が必要です。

立川市第2次環境基本計画では、目指すべき環境像を「人と自然を育み 住みやすさを創るまち」と定めています。我々が享受するこの素晴らしい環境を育み、次世代に引き継いでいくために、まちづくりに関わる全ての人々の英知を結集し、一体となって取組を進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、活動の輪が広がっていくことをご祈念申し上げます。

「2024シャボン玉月間」によせて**多摩市長 阿部 裕行**

多摩市が、多摩市議会と共同で行った気候非常事態宣言は、「地球温暖化対策」、「プラスチック削減」、「水とみどりの保全」の3項目を推進していくことを目標としています。

「せっけん」の積極的な使用は、化学合成洗剤を必要以上に使わないことにつながり、水とみどりの保全に貢献すると考えます。また、プラスチック容器の削減も期待されるなど、日常生活で誰もが取り組める環境配慮行動になります。

美しい地球環境を、未来を担う子どもたちへ継承していくためには、このような一つひとつの行動の積み重ねが重要です。

改めて、貴会の長年にわたる取り組みに敬意を表し、今後も一層の成果が得られますよう、心からご期待申し上げます。

「シャボン玉月間によせて」**中央区長 山本 泰人**

中央区は、区の面積に占める水辺の割合が東京23区で最も高く、豊かな水辺空間を有するまちとして発展してきました。

今日においても、環境調査を定期的に実施し、関係機関と連携しながら良好な水辺環境の保全を図っております。

世界に誇る銀座、築地、日本橋といったまちを有し、都心機能が集中する中においても、水辺という貴重な財産を活かし、水やみどりの豊かさを実感できるまちづくりを推進してまいりたいと考えております。

「せっけん運動」を通じた水環境の保全活動は、持続可能な社会を築いていく上で大変意義深い取組であります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がますます広がることをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**調布市長 長友 貴樹**

調布市では、長きにわたり取り組んできた調布駅前広場や鉄道敷地整備が、来年度、一部を除き完成します。市民のみならず、多くの方が立ち寄りたくなるような都市空間とするため、駅周辺のクリーン作戦をはじめ、たばこのポイ捨て防止の呼びかけなど、環境保全を図り、賑わいのあるまちづくりの推進を図っています。

一方、深大寺周辺及び崖線の湧水や多摩川、野川など豊かな水や緑は、市民に癒しや安らぎを与える貴重な資源であり、貴団体による水環境の保全活動につながる「せっけん運動」は大変有意義な活動であると認識しております。

長年にわたる活動に深く敬意を表するとともに、今後その輪が更に広がりますことを心からご期待申し上げます。

「せっけん使おう!7月はシャボン玉月間」に寄せて**千代田区長 樋口 高顕**

千代田区は、都心でありながら皇居という豊かな緑や神田川、日本橋川、外濠等の水環境に恵まれた自然を多く有する街です。昨年度、「千代田生物多様性推進プラン」を改定し、2030年までに千代田区ならではのネイチャーポジティブの実現を目指に掲げ、生物多様性に配慮した自然共生の先進都市を目指しています。その一環として、東京都と連携して閉鎖性水域である外濠に対するアオコ対策や玉川上水の導水整備など外濠の水質浄化に取り組んでいます。

世界では依然として生物多様性の損失が進む中、貴会の「石けん運動」を通じた水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、今後もこの活動の輪が益々広がり、発展されますことを祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて**豊島区長 高際 みゆき**

豊島区は、「ゼロカーボンシティ」を宣言し、「環境」を柱の一つとした区政運営を進めているところです。人口密度が高く、緑や公園が少ないからこそ、都市と自然が調和したまちづくりが重要であり、区民と一緒にまちの至る所に植樹を進める「グリーンとしま」再生プロジェクトなどを進めております。

また、本庁舎のトイレでは、環境に配慮したリサイクルせっけんを使用し、区内で廃食油を回収し、せっけんにリサイクルする取り組みも行っています。

貴会が取り組まれている環境活動に敬意を表すとともに、地球環境を守るシャボン玉月間の取組の輪が益々大きくなりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう!7月はシャボン玉月間」に寄せて**中野区長 酒井 直人**

40年以上という長い期間にわたり取り組んでこられた、貴会の水環境を守る積極的な活動に対しまして、あらためて敬意を表します。

使ったあとは自然に戻る、環境や生き物にやさしい「せっけん」。

中野区では、合成洗剤については、昭和55年4月から有リンを、また昭和56年11月からは無リンも含め、区役所本庁舎を始めとする区の施設において購入及び使用を禁止し、せっけんの使用を積極的に推進してきました。美しい自然環境を守り、持続可能なまちを未来の世代に引き継いでいくためにも、この取り組みは今後とも継続していきます。

貴会のさらなるご発展と「せっけん運動」の活動の輪がますます広がっていくことを心からご祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて**西東京市長 池澤 隆史**

武蔵野の景観の中に農地や屋敷林、雑木林があり、日常生活の中で自然と触れ合える良好な環境と、環境負荷の少ないまちを次世代に引き継いでいくため、2022年2月に「西東京市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年までに地域全体での脱炭素社会の実現を目指しております。

この度、策定した「第3次環境基本計画」では、2050年の本市が目指す環境未来像を「みどり・生きもの・ひと 多様な環わが引き継がれた持続可能なまち 西東京」とし、その実現を目指すための基本方針として、「地球環境」、「資源環境」、「地域環境」、「人づくり」の4つの分野を定めました。

今後も、市民・事業者・市のさらなる協働のもと、市が率先して行動し、目標達成に努めてまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が広がりますよう心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**練馬区長 前川 翼男**

練馬区は、都心近くに立地し、大都市東京の魅力を享受しながら、公園や農地、樹林地など、豊かなみどりに恵まれた住宅都市です。公園では区民による管理や花壇づくりが行われ、樹林地では自然観察会などの利活用が進み、農地では収穫体験を楽しめるなど、区民の暮らしの中にみどりが息づいています。

本年3月、区民とともにみどりを守り育てる「練馬区みどりの総合計画」を改訂しました。区の財産であるみどりを未来へつなぐため、みどりのネットワーク形成、みどりを育むムーブメントの輪を広げる取組を進めています。引き続き、区民・事業者の皆様と力を合わせて、みどりの風吹くまち練馬の実現に全力を尽くしてまいります。

せっけん運動を通じた皆様の活動が、水環境を守り、練馬区のみどりの保全に繋がっていくことを期待しています。

「シャボン玉月間」によせて**八王子市長 初宿 和夫**

八王子市は、緑豊かな高尾山や陣馬山から清らかに流れる浅川など、16の一級河川の源流を有し、水と緑が織りなす自然を持った魅力あふれるまちです。

本市では、この豊富にある水辺の魅力を発信するため、子ども達を対象としたイベントの開催や、地域と連携した水辺活用の取り組みを推進しております。

今後も、市民・事業者との共創により、本市の特徴を生かした水辺のまちづくりを進めることで水と緑を守り、「人と自然が豊かにつながるまち」の実現に向けて取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表すとともに、「石けん運動」の輪が広がることを、心より祈念いたします。

シャボン玉月間によせて**羽村市長 橋本 弘山**

羽村市は、多摩川の清流と豊かな自然に恵まれた、水と緑あふれるまちです。

この美しい自然を守るために、今年3月に「第二次羽村市環境とみどりの基本計画」を策定し、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みを明示しています。

その中で、市民一人一人ができるところから始める「環境行動」を推進し、適正な水の循環や河川の保全など、様々な取り組みを呼びかけています。

これからも自然と共生できるまちづくりを目指し、市民と共に、環境保全に取り組んでまいります。

「シャボン玉月間」を通して、多くの方に水質保全への意識が高まれば良いと思います。

結びに、貴会の長年にわたる水質保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東久留米市長 富田 竜馬

東久留米市は、市の中央を黒目川と落合川が流れ、川沿いの至るところに湧水が見られる自然が豊かなまちです。子どもたちが川遊びをする水、人々がのどを潤す水、多くの人々が癒しを求める水。東久留米市にとって、水は切っても切れない関係にあります。

東久留米市では平成23年に「湧水・清流保全都市宣言」を行い、清らかな流れを次世代に引き継いでいくため、市民・事業者・行政が力を合わせてまちを潤す湧水と清流の保全に取り組んでおります。

こうした知識の普及啓発に取り組んでこられた貴会の長年における活動に深く敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍とご発展をお祈り申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東村山市長 渡部 尚

東村山市は、都心からも近い里山の八国山緑地、花菖蒲や曼殊沙華といった季節の花を楽しめる北山公園、人権の森構想の実現に向けた活動が進められている国立療養所多磨全生園など、豊かな緑に恵まれたまちです。

当市では、「第3次東村山市環境基本計画」に基づき、「みんなで環境をまもり、豊かなこころを未来につなぐまち」を目指すとともに、本市のあらゆる事務事業に対し、率先して地球環境の継続改善のための行動を遂行することを目的とした「エコオフィスプラン東村山」において、「環境配慮物品の購入やその他環境への配慮」を掲げるほか、庁舎内にて石けんの使用を推奨するなど、さまざまな環境施策に取り組んでいます。

貴会の熱心な取り組みとともに、一人ひとりが身近なところから行動に移すことが何よりも大切なことと考えており、あらためて長きにわたる貴会の活動に敬意を表するとともに、活動の輪が一層広がりますことを心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東大和市長 和地 仁美

東大和市は、北部に多摩湖を含む緑豊かな狭山丘陵が広がり、南部には野火止用水のせせらぎがあるなど、私たちの心を潤してくれる水辺と多くの自然があるまちです。

当市では、「水と緑と笑顔が輝くまち 東大和」を将来の都市像に掲げ、自然環境や水辺環境を保全するための、さまざまな施策に取り組んでいます。

そのような中、貴会の「せっけん運動」は、日々の生活を通じた環境保全に資する活動として大変意義深く、会員の皆様の長年にわたる取組に対し、改めて心から敬意を表します。

今後も、皆様の活動の輪が広がり、一人ひとりの環境保全に対する意識の高揚につながることを期待しております。

シャボン玉月間によせて

日野市長 大坪 冬彦

貴会の長年にわたるせっけん運動とそのネットワークは、日野市が誇る緑と清流の環境を守るために大きな貢献をしていただきました。マイクロプラスティックや香害、PFAS等新たな環境汚染による生活環境や地球環境の危機が叫ばれている昨今、あらためて貴会の運動の持つ先駆性に感謝申し上げます。

日野市は2022年11月に気候非常事態宣言を行い、気候温暖化という地球規模の環境問題に対して、強い危機意識のもとで市民とともにその対策に着手してまいります。その点も含めて、貴会との連携・協働を一層深めてまいりたいと思います。

結びに、貴会のますますのご発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**日の出町長 田村 みさ子**

日の出町は、都心から50km圏内に位置し、町の西側に町名の由来となった日の出山がそびえ、源流として平井川が町の中心を西から東へ流れている緑豊かな自然あふれる町です。

町内には、三多摩約420万人の生活ごみの最終処分場があり、場内ではトウキョウサンショウウオや国蝶オオムラサキをはじめ、約1,500種の動植物が生息するとともに、約100種の絶滅危惧種に指定される生き物が生息する環境が保持されております。また年4回平井川13地点の水質検査を行い水環境の保全に最大限務めております。

今後も、水環境をはじめとする環境問題に一層取り組んでまいる所存です。

結びに、貴会の環境に優しい暮らし方を求める、身近なところから水質を改善していく「せっけん運動」の輪が一層広がりますよう心から期待するとともに、ますますご活躍をお祈りいたします。

「石けん使おう!7月はシャボン玉月間」によせて**檜原村長 吉本 昂二**

檜原村は、森林と清流に囲まれ、その大部分が秩父多摩甲斐国立公園に含まれる豊かな自然に恵まれた村です。

この豊かな自然の恵みは、清流を育み、森林は二酸化炭素を吸収し酸素を供給するなど、村民のみならず、下流域に住む方々にも多くの恵みをもたらしています。

私たち檜原村民は、「森林と清流を守り人と地球にやさしい村」を目指し、檜原村の豊かな自然や、かけがえのない村の環境をより良好なものとして次の世代に引き継ぐため、檜原村環境宣言を制定しました。

これからも、公共下水道の適切な維持管理や森林整備等を積極的に進め、木質バイオマスを中心とする自然エネルギーの導入や生活環境の見直しに努めてまいります。

結びに、長年にわたる貴会の活動に深く敬意を表しますとともに、今後のさらなるご活躍を祈念申し上げます。

「せっけん使おう!7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**府中市長 高野 律雄**

この度、せっけん運動ネットワークの機関紙に寄稿させていただく機会を頂き、心から感謝申しあげます。

府中市は、北に浅間山や府中の森公園、南に多摩川の清流、中心には ケヤキ並木や大國魂神社など豊かな緑に囲まれ、自然と歴史が調和した美しいまちです。

この環境を次世代に引き継ぐため、本市は昨年度よりスタートいたしました第3次府中市環境基本計画を基に、脱炭素の推進や自然環境の各種保全事業、水環境をはじめとした環境問題に、より一層取り組んでまいる所存でございます。

貴会が長きにわたり水環境保全のため取り組んでこられた「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますようお祈り申しあげます。

「石けん使おう!7月はシャボン玉月間」によせて**福生市長 加藤 育男**

福生市は、多摩川や玉川上水、分水、湧水が流れ、水辺には多くの緑が茂る自然豊かなまちです。この豊かな環境や景観は福生市の貴重な財産となっております。

福生市では、水質保全のため定期的な水質調査を行っており、昨年はPFAS（有機フッ素化合物）について、井戸・湧水10地点で独自調査を行い、暫定目標値を下回ることを確認しました。今後も、市内の水環境が適切に維持されるよう取り組んでいきます。

石けん運動を通し、水環境を守る活動をされている貴会に敬意を表しますとともに、ますますの御活躍を御祈念申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて

文京区長 成澤 廣修

文京区は、都心にありながら由緒ある庭園や名所・旧跡等の多い、歴史と文化と緑に育まれたまちです。

本区を流れる神田川は、流域に肥後細川庭園や湯島聖堂など区民に親しまれる歴史的資源が点在し、それをとりまく一帯の緑とともに、多様な生物を育む風致地区として、緑溢れる空間を創出しています。

区では、生物多様性地域戦略として「生きもの、ひと、くらしがつながり 豊かな文化を育むまち」をビジョンに掲げており、今後も、自然と共生した持続可能な社会の実現を目指して、施策を進めてまいります。

長年にわたる貴会の水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後の活動がより良好な環境の創出につながることをご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

町田市長 石阪 文一

町田市は、東京都の西南にあり、ほぼ全域が多摩丘陵に位置しています。また、東京湾へ流れる鶴見川、相模湾へと向かう境川の源流域となっているため、都心近郊にありながら、豊かな自然環境を有しています。

本市では、誰もが快適に安心して暮らせる良好な環境を維持するため、市民の皆様や事業者・団体の方々とともに、様々な取り組みを進めています。環境にやさしいせっけんや洗剤の使用を推奨することも、そうした取り組みの1つです。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、未来の世代に美しい自然を残そうという活動の輪が、更に広がり、発展していくことを心からご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

三鷹市長 河村 孝

三鷹市は、野川、仙川、神田川が流れ、武蔵野の面影が残る雑木林や屋敷林、地場産野菜や果物などを育む都市農地、緑豊かな国分寺崖線など、数多くの緑と水の空間がある豊かな自然に恵まれたまちです。

本市は、令和4年12月に、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言し、令和6年3月には、第4期三鷹市地球温暖化対策実行計画の第1次改定を行いました。

脱炭素社会の実現とともに、これからも水環境をはじめとする環境問題に一層取り組むこといたします。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動には、深く敬意を表します。今後も活動の輪が広がり、貴会が益々ご発展されますことを心よりお祈りいたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

瑞穂町長 杉浦 裕之

瑞穂町は狭山丘陵の西端に位置し、水と緑に恵まれた自然の豊かな町です。町の中心部にある狭山池を源流として、東に向かって流れる残堀川には多くの動植物が生息しています。春先にはカルガモの親子が泳いでいる姿や、「飛ぶ宝石」と例えられている美しいカワセミも見られるため、野鳥観察のスポットにもなっています。また、毎年実施している「残堀川ふれあいイベント」と「ふれあいウォーキング」では多くの参加者で賑わっており、町民が水環境に親しむ良い機会となっています。

長年にわたる貴会の水環境保全に対する活動に敬意を表しますとともに、今後、人々の水環境に対する関心が高まり、活動の輪が広がっていくことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**武藏野市長 小美濃 安弘**

武蔵野市は東京都のほぼ中央に位置し、10.98km²のコンパクトな市域に、緑豊かな住宅都市と都内有数の繁華街、多様な産業が集積・調和した、魅力の詰まったまちです。

市では、令和3年に「2050年ゼロカーボンシティ」を表明し、現在では公共施設で実質再エネ100%電力を導入しています。また、ゼロカーボンシティの実現に向けた事業者との連携協定締結や、気候市民会議で話し合った内容をもとに、環境配慮行動を紹介した冊子を作成するなど、市民、事業者、行政が連携し、環境負荷の低減に取り組んでいます。

貴会の水環境保全をはじめとしたこれまでの活動に深く敬意を表しますとともに、持続可能な社会の実現に向け、活動の輪が広がっていくことを心より祈念いたします。

「シャボン玉月間」に寄せて**目黒区長 青木 英二**

目黒区には桜の名所である目黒川があり、四季折々の美しい風景が楽しめるとともに、区民の憩いや安らぎの場として親しまれています。

区は、昨年改定した目黒区環境基本計画において、自然環境の保全・みどりの創出と質の向上を目標に、健全な水環境の確保に努めており、区民と連携した河川沿川の清掃や区民が水辺に親しめる機会の提供、雨水の地下浸透の促進による水循環の保全を進めています。

貴会のみなさまには、人にも環境にも優しいせっけん利用を長年にわたり推進していただき、地域と地球環境を守るうえで、大変意義深い取組であります。

皆様の力強い活動がこれからも広がり、水環境の保全の輪が一層大きくなることをご期待申し上げます。

神奈川県**シャボン玉月間によせて****綾瀬市長 古塩 政由**

綾瀬市は神奈川県のほぼ中央に位置し、いくつかの中小河川が丘陵をぬうように流れ、カワセミやアユ、ホタルが見られる緑豊かな自然環境に包まれています。

当市の環境基本計画では「あやせの緑と水をみんなで育み、環境負荷のない暮らしを実践し、持続可能なまちづくりを進める」を基本テーマに掲げ、自然共生社会の実現など5つの環境の将来像を設定しております。これらの実現に向け、市民・市民団体・事業者・市が一体となり、健康で安全かつ快適な環境を享受するとともに、良好な環境を将来の世代に引き継ぎ、持続可能な社会を構築するための取り組みを進めています。

貴会の環境にやさしい「せっけん運動」は、水環境の保全活動として大変意義深いものであります。より多くの方々に、この活動の輪が広がりますことを心からお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**伊勢原市長 高山 松太郎**

伊勢原市は、恵まれた自然豊かなまちで、特に水環境は当市の貴重な資源となっています。

当市では、昨年策定した「第3次伊勢原市環境基本計画」において、河川の水質維持を図るために、水質汚濁の原因となる合成洗剤の使用抑制や環境にやさしく自然分解性の高いせっけんの使用促進等の啓発を計画の取組事項として位置づけております。

目指す環境像である「自然の恵みをみんなでつなぐ持続可能なまち いせはら」の実現に向け、せっけんの普及啓発などを含めた環境保全への取組を着実に推進してまいります。

水環境保全に取り組まれておられます貴会の長年の活動に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広まることを心より願っております。

神奈川県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

海老名市長 内野 優

海老名市は、鉄道駅を中心に社会基盤整備が行われる一方、海老名耕地と呼ばれる田園など自然環境にも恵まれています。都市と田舎が共存した魅力あふれるまちとして、転入者も多く、昨年人口14万人を達成しました。

当市の環境基本計画では「みんなが笑顔 にぎわいと自然が共生するまち」を目指すべき未来像に掲げ、市民や事業者とともに、地球にやさしく誰もが健やかに安心して暮らせる持続可能なまちの実現を目指しています。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、環境負荷の軽減や市民の環境配慮意識の向上に大変有意義な活動であり、長年の活動に敬意を表するとともに、今後も実り多いものとなりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

大井町長 小田 真一

大井町は、丘陵部の山林や里山の豊かな緑、足柄平野に恵みをもたらす酒匂川の清流、平坦部に広がる田園風景を有する、水と緑が調和した豊かな自然環境にあります。

当町の環境基本計画では、「豊かな環境の中で生き生き暮らすカーボンニュートラルなまち おおい」を望ましい環境像と定め、5つの大きな基本目標を掲げています。これらの実現に向けて、酒匂川統一美化キャンペーンをはじめとした、町民・事業者・町が一体化した環境配慮活動が展開されるための仕組みづくりを推進しています。

貴会の長年に渡る活動に敬意を表しますとともに、「誰もが気軽に参加できる」この活動の輪がますます広がることを心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

大磯町長 池田 東一郎

大磯町は、緑豊かな高麗、鷹取の山なみや、こゆるぎの浜に象徴される美しいなぎさなど、豊かで美しい自然があり、多くの歴史的文化遺産も有しています。

当町では、令和5年3月に「大磯町環境基本計画」を改定し、「みんなでつくる 人と自然が共生した持続可能なまち 大磯」を目指すべき将来像として掲げています。

今年は町政の目標を「町民まんなか元年」としている中で、次代を担う子どもたちに健やかな地球環境を引き継ぐため、地域社会を構成するお一人おひとりが、環境について学び、自分事として環境負荷を減らしていくことに取組んでいきます。

貴会の長年に渡る活動は、この環境基本計画とも方向性を同じくしており、改めて敬意を表しますとともに、貴会の活動が益々発展されますことをお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

小田原市長 加藤 憲一

小田原市は、神奈川県西部に位置し、森里川海がひとつなりとなった豊かな自然を有しており、これら自然環境の恵みをより豊かに育て、持続可能な地域社会の実現を多角的に活かしていく必要があります。

このため、「誰もが笑顔で暮らせる、愛すべきふるさと・小田原へへいのちを守り育てる地域自給圏の創造～」をまちづくりのスローガンに掲げ、自然環境の保全に係る取組を、市民や団体などのみなさまと協働して推進していきます。

貴会におかれましては、「せっけん使用」を入口に長年、環境活動にご尽力されており、改めて敬意を表しますとともに、未来永劫、更なるご発展をご祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**開成町長 山神 裕**

開成町は至る所に水路があり、5月にはホタルが飛び交う姿を見ることができ、また、町内には約5,000株のあじさいが咲き誇っており、6月に開催される「開成町あじさいまつり」は県内外の多くの方を楽しませております。

町域は平坦で住みやすく、「田舎モダン」という表現に集約される人と自然がほどよく調和した町であるというイメージの良さがあり、今後もこの恵まれた自然環境を次世代へ引き継ぐため、環境に配慮したまちづくりを推し進めていきます。

環境を守るための活動として大変意義深いものであり、長年に渡る活動に敬意を表すとともに、運動の輪が広がり、地球環境保全の大きな成果に繋がりますことを心よりご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて**川崎市長 福田 紀彦**

川崎市は、多摩川や多摩丘陵等の自然環境に恵まれ、古くから産業都市として発展し、今年市制100周年を迎えました。これまで市民・事業者・行政それぞれが環境改善に取り組んだことにより、現在は水質が改善し、アユをはじめ、様々な生物を確認することができるようになりました。

そこで本市では、川や湧水地で水質の調査や生物の観察を行うイベントを開催するなど、市民に身近な水辺に親しんでもらうことで、水環境の大切さを知ってもらえるよう取り組んでおります。

貴会の「シャボン玉月間」の取組は、身近な環境保全活動として大変有意義であり、改めて敬意を表しますとともに、貴会の活動がますます御発展されることを御期待申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**相模原市長 本村 賢太郎**

相模原市は、都心からの交通アクセスに恵まれた利便性の高い都市機能と、神奈川県の産業や生活を支える重要な水源地域として豊かな自然環境を併せ持つ「都市と自然のベストミックス」の魅力が輝くまちです。

本市では、本年3月に改定した「第3次相模原市環境基本計画」に基づき、地球温暖化対策や資源循環の推進など、市民、団体、事業者の皆様と連携・協働した取組を進めています。「人と自然が共生するまち」の実現に向け、貴会と同様の眼差しで私たちの生活や考え方を少しずつ見直し、次代に希望のタスキをつないでまいります。

貴会の長きにわたる活動に敬意を表しますとともに、本活動の輪がますます広がることを祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**座間市長 佐藤 弥斗**

広大な相模原台地の南部に位置する座間市では、大地に降った雨が良質な地下水となり、人々の生活を潤しています。

市内に数多くある湧水地は、水と緑の憩いの場として市民から親しまれています。

こうした大切な地下水・湧水を保全するために、本市では「座間市地下水保全基本計画」を策定し、地下水に関する計画的な管理と総合的な地下水保全施策を推進し、地下水質については現状を把握するためのモニタリングを行っています。

また、石けんの利用促進については、市広報において、毎年市民の方に御協力を呼び掛けており、今後も継続して取組を進めてまいります。

結びに、貴会の日頃からの環境保全活動に敬意を表しますと共に、さらなる御発展を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

寒川町長 木村 俊雄

寒川町は、県の中央を流れる相模川やその支流の目久尻川、小出川の3つの河川が流れしており、越の山のみどりなどに育まれた自然豊かな町です。

町では多様化する環境問題に対応していくため「環境と人が共生し、次世代まで良好な環境が受け継がれ“新化”するまち さむかわ」を望ましい環境像として環境基本計画を策定し、相模川美化キャンペーンを実施するなど、水環境の保全に向けた取り組みを進めております。

貴会の長年にわたる環境保全への活動に敬意を表しますとともに、シャボン玉月間を機に環境保全への理解や、「せっけん運動」の輪が一層広がりますよう、心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

茅ヶ崎市長 佐藤 光

茅ヶ崎市は、湘南エリアの中央に位置し、恵まれた自然と地理的条件のもとに、「笑顔と活力にあふれ みんなで未来を創るまち 茅ヶ崎」の都市像を目指にその実現に努めています。

本市では、健全で恵み豊かな環境が未来にわたって続くように、「茅ヶ崎市環境基本計画」を策定し、市民・事業者・行政が一体となり、環境保全活動や環境学習に取り組み、持続可能な社会の構築を推進しています。

一人ひとりの小さな配慮や行動の積み重ねの継続が、次の世代のために水環境を守っていくことにつながると考えます。

貴会の長年取り組まれている「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が広がっていくことを心よりご祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

中井町長 戸村 裕司

中井町は、神奈川県の南西部に位置し、県内でも稀な湧水による厳島湿生公園、丘陵地に樹林地や農地が町全体に広がっており、水と緑に囲まれた自然が豊かな町で、水道水は、100%地下水を水源としています。

本町では、こうした自然豊かな環境を将来にわたって引継ぐため、町環境基本計画で「一人ひとりが主役となり 未来へつなぐ環境づくり～今 私たちにできること～」を基本目標に掲げ、県西地域の市町とも連携しながら、プラごみゼロを目指した取り組みなどの事業を実施している他、クリーンタウン運動や水源林整備及び河川の水質測定などを行い、水環境の保全に努めているところです。

今後においても、次世代を担う子どもたちに、きれいな水環境を引き継げるよう、町民との協働により取り組んでまいります。

結びに、貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、シャボン玉月間の取組みを通じて、より多くの方々に、みなさまの活動の輪が広がりますことを心より願っております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

二宮町長 村田 邦子

二宮町は、菜の花を代表とする四季折々の花が楽しめる吾妻山公園や、町の中心部を南北に流れる葛川を有する緑と水に包まれた自然の豊かな町です。

当町では、第3次二宮町環境基本計画に基づき、町民、事業者、行政が一体となって、緑や水辺など自然環境の保全に向けた取組みを推進している他、今年度は気候変動対策を推進していくため、気候市民会議を立ち上げ、具体的な行動例などを取りまとめた「市民提案」を作成し、町の実行計画に反映させようと努めています。

貴会の取組は水環境の保全活動として大変有意義なものであると認識しており、これまでの活動に深く敬意を表します。

今後も更にこの活動の輪が大きく広がり発展していくことを心よりご祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

葉山町長 山梨 崇仁

葉山町では令和4年6月から「はやまエシカルアクション」の取り組みが始動しました。

このプロジェクトは、自然環境・人や社会・地域を思いやったエシカルな活動を推進しており、町でもきれいな川の水を守るために公共下水道事業の推進及び事業区域外では合併処理浄化槽の普及に努めています。

「せっけん運動」は、町民一人ひとりが環境に配慮した活動について考える、まさにエシカルな行動を起こす素晴らしいきっかけになると想っています。これからもこの活動がますます発展されることを心より期待しています。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

平塚市長 落合 克宏

平塚市は、市環境基本計画に基づき、「地球にやさしい、自然にやさしい、人にやさしいまち ひらつか」を目指して、環境の保全や創造に取り組んでいます。また、2050年脱炭素社会の実現を目指し、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」に賛同し、省エネの取組やごみの減量などを自ら実践するとともに、これらの取組を市民・事業者が実践できるよう後押ししています。

貴会の「シャボン玉月間」は、石けんの利用促進という環境に配慮した行動を促す意義深い取組です。市民一人一人が環境に配慮した生活を心掛けるようになり、豊かな環境が次世代に引き継がれることを願っています。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

藤沢市長 鈴木 恒夫

江の島は、古くから浮世絵にも描かれる景勝地として親しまれてきました。毎年7月1日には藤沢の海岸で海開きが行われ、多くの海水浴客が訪れます。また7月は「シャボン玉月間」もあります。この恵まれた自然環境を後世に引き継ぐことは我々の責務であり、自然の大切さや感謝の思いを新たに、様々な主体とのマルチなパートナーシップにより、郷土愛あふれる取組みを進めてまいります。

一人ひとりがほんの少し日常生活を見直すだけでも、集まれば大きな効果が得られるものです。この「シャボン玉月間」も皆さまの活動の輪が益々広がり、着実な積み重ねで地球を守る大きな成果となることを期待しています。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

松田町長 本山 博幸

松田町は神奈川県西部に位置し、町域の多くを森林が占め、酒匂川や川音川、中津川といった丹沢山系を源とする清らかな川が流れ、豊かな自然に囲まれた、県民の主要な水源の一翼を担う町です。

その為当町では、この水源と寄地域に生息するホタル等の生態系を守るため、今後も引き続き環境にやさしいせっけんの普及啓発を行うとともに、恵まれた自然環境を次世代へ引き継ぐことができるよう、町民・事業者・行政が連携し環境保全に取り組んで参ります。

結びに貴会の長年にわたる水環境保全活動と、本年も「あなたの選択で未来が変わる～始めようせっけん生活～」を合言葉に活動されることに改めて敬意を表しますとともに、ますます活動の輪が広まりますことと、貴会の御発展を心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

南足柄市長 加藤 修平

南足柄市は、幾多の先祖・先人が育み、守り、そして現在まで引き継いできた豊かな森林と良質な水資源に恵まれています。

本年4月に策定した「南足柄市第六次総合計画」では「豊かな自然、環境にやさしい快適な暮らしのある『環境・生活都市』」を市のめざす姿の一つとして掲げました。

今後も市民や事業者の皆様との連携・協力のもと、南足柄が誇る自然資源である森林と良質な水資源を守り、未来へ継承する取組を推進してまいります。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に対し改めて敬意を表しますとともに、シャボン玉月間の活動を通じ、市民の環境問題への関心が一層高まり、皆様の活動の輪が益々広がることを、心からご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大和市長 古谷田 力

大和市は、3つの鉄道路線、8つの駅がある利便性を有する一方、東側に境川、西側に本市を水源とする引地川の流れる、都市と自然の調和したまちです。

市民一人ひとりが、ウェルビーイングを実感できるまちづくりに取り組んでおりますが、そのためには、豊かな自然環境を守り、次世代に引き継いでいくことが不可欠と考えております。

本市では、学校などの市の施設でも石けんを使用するとともに、市民や事業者にも広報誌を通じ、石けんが水環境の保全に果たす役割を伝え、石けんの使用を呼びかけています。

皆様の長年の活動に心から敬意を表するとともに、今後ますますの取組みの発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

山北町長 湯川 裕司

山北町は、神奈川県西部に位置し、緑深い丹沢の山々に抱かれた自然豊かな町です。

町の面積の約90%は丹沢大山国定公園と県立自然公園等の山岳地帯で、この自然を求めて多くの観光客が訪れています。

当町は、「人と自然が共に生きるまちづくり」をテーマとして環境基本計画を策定しており、環境にやさしいまちづくりを推進し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを日々進めております。

貴会がこれまで継続されてきた「石けん運動」は、自然環境にやさしい意義深いものであり、今後のさらなるご発展を祈念申し上げます。



山梨県

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

甲斐市長 保坂 武

甲斐市は北部に森林資源の豊富な山岳や丘陵地帯が広がっており、その一部が秩父多摩甲斐国立公園に位置しています。平野部においても、甲斐駒ヶ岳を水源地とする釜無川をはじめ多くの河川と豊かな自然に恵まれています。

本市では、「自然と生活が調和した環境を築くまち」を目指し、各自治会と連携した河川清掃を実施するとともに、水環境の状況等を把握する目的として、河川水、地下水、河川底質等の水質検査も継続的に実施しております。

今後とも、市民や事業者の皆様と連携、協力しながら、継続して水環境保全に努めてまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、より一層活動の輪が広がることを祈念申し上げます。

「石けんを使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

甲府市長 樋口 雄一

甲府市は、八ヶ岳や富士山、南アルプスなど、周囲を山々に囲まれ、日本遺産に認定され、国内屈指の渓谷美を誇る御岳昇仙峡など、豊かな自然に恵まれた都市であります。

本市では、この豊かな自然を、将来にわたり守り、育んでいくため、毎年「水源林植樹の集い」を実施し、市民の皆様とともに植樹活動を行うほか、昨年10月には「『未来』へつなぐ森林づくりパートナーシップ協定」を締結し、関係者の皆様と、未来を見据えた環境保全活動に取り組んでおります。

こうした中、「せっけん運動」は、環境保全の意識向上に繋がる素晴らしい活動でありますので、この活動の輪がより一層広がりをみせ、美しい自然環境が守られることを期待しております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

昭和町長 塩澤 浩

昭和町は、山梨県内で「一番小さな町」であり、また県内で唯一「山が無い」町であります。

都市化の進展が著しい本町も、湧水と自然が豊富な町であり、かつては多くの源氏ホタルが乱舞するという幻想的な様子を見ることができ、甲府盆地の初夏の風物詩といわれるほどでした。

本町の町民憲章の一つに、「自然と調和した、美しい町をつくります」とあり、その実現に向け、これまでも緑地や河川などの環境保全や美化活動に努めており、引き続き地域、行政が一体となった活動を推進いたします。

貴会の取り組みに対し、深く敬意を表するとともに、「せっけん運動」がさらに広がりを見せ、美しい地域づくりの推進につながるよう心から祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

中央市長 望月 智

中央市は、市名のとおり山梨県のほぼ中心に位置します。平地部に広がる田園風景や山間地域の果樹畠など豊かな緑と四季折々の美しい自然環境に恵まれています。

本市では、第2次中央市環境基本計画において「快適で健やかに暮らせる持続可能な生活文化都市」を市のるべき環境像として定め、市民、事業者、市がともに連携・協力しながら環境保全対策に関する取り組みを進めております。

貴会が長年にわたり取り組んできた「せっけん運動」は、水環境の保全において大変意義深いものであり、その活動に改めて敬意を表するとともに、今後も活動の輪がより一層広がり、大きく発展することをご祈念申し上げます。

せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

都留市長 堀内 富久

都留市は、山梨県の東部に位置し、緑豊かな山々に囲まれ、富士山の豊富で清冽な湧水に恵まれた自然豊かなまちです。

古くから城下町として栄え、今もその面影が息づいており、桂川を始めとした多くの河川が流れ、市民の生活に水が根付いております。

この自然豊かな水環境の保全のため、長期総合計画に掲げる「繋ぎます！人と自然がいつまでも輝くまち」の実現に向けて、除塵機による河川のごみ回収や環境教育の実施に取り組んでおります。

貴会の取り組まれている「せっけん運動」は、身近な環境保全活動として大変意義深く、長年にわたる活動に改めて敬意を表しますとともに、更なるご発展をご祈念申し上げます。共に頑張っていきましょう。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

道志村長 長田 富也

道志村は山梨県の東南端に位置し、緑豊かな山々に囲まれた美しい山村です。村の中央を流れる道志川は、かつて世界の船乗りたちに「赤道を越えても腐らない水」と賞賛され、良質な水源として明治30年から横浜市の上水道に利用されています。

首都圏と富士山の間に位置する本村は、都心から70km圏内と近く、自然を求めて、多くのキャンパー やオートバイ・自転車のツーリング客などの来訪者で賑わっています。

このように、本村を訪れる多くの人は、清流道志川の美しさに魅了されています。貴団体の取り組みは、水質保全において重要な取り組みだと思いますので、これからも更なるご活躍を心から願っております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

西桂町長 山崎 泰洋

西桂町は、自然豊かな風景や、伝統的な文化、古くから継承する織物技術を守る町です。町の北に位置する三ツ峠山は、古くは奈良時代、富士山遥拝山岳靈場として、現在も達磨石や八十八大師など、当

時の信仰にまつわる多くの史跡が多く残り、春は山道の美しい桜、夏はハイキングやロッククライミング、秋には色とりどりの紅葉を楽しむことができ、そして三ツ峠山頂では、富士山体の美しいシンメトリーを多くの写真愛好家が撮影に訪れています。そして町の中央に流れる相模川源流である桂川があり、他多くの河川が町内を巡っています。

古くから織物業が盛んで、染めから織りまで一貫した生産を行っており、そこには「美しい水」が必要でした。そのため先人は富士の湧水、桂川の清流である、「美しい水」を守り続け、現在でも伝統産業として継承されており、ネクタイ、スカーフ、洋傘などの生産にその技術が使われています。

現在水資源の恩恵は、織物の生産だけでなく、ミネラルウォーターの製造や、サーモントラウトの陸上養殖が行われ、食に関する分野も加わってまいりました。

当町にとって、水の資源を次世代に継承できるよう環境保全を守り、これまで以上に環境保全の推進は、先人より継承する大切な取り組みです。

貴会の「せっけん運動」は環境保全活動として、長年にわたる活動に心から敬意を表しますとともに、これからも環境保全活動の輪が広がり、この活動の取組の輪が一層広がりますことをご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

韮崎市長 内藤 久夫

韮崎市は、南アルプスユネスコエコパークに登録されている鳳凰三山など壮大な山々と、富士川水系の釜無川と塩川が合流する変化に富んだ地形の恩恵を受け、豊かな水に恵まれた環境にあります。

本市では、「自然と共生する持続可能な美しいふるさと」を目指して、釜無川や塩川沿いなどで河川清掃活動やオオキンケイギクの駆除などを行い、環境に対する意識を高め、次世代につながる環境保全を市民と共に「チーム韮崎」一丸となって取り組んでおります。

貴会が長年にわたり取り組んできた「せっけん運動」の活動の輪がさらに広がり、市民の環境保護への意識の向上へと繋がることを心よりご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**富士川町長 望月 利樹**

富士川町は、山梨県の南西部に位置し、町名の由来でもある一級河川富士川に沿って集落が発達してきました。櫛形山や源氏山などの2,000m級の山々がそびえ、それらを源とする戸川や大柳川などが町内を横断し、人々の生活を潤してきました。

町では、この豊かな自然環境を、次世代へ引き継いでいくため「暮らしと自然が輝く交流のまち」をまちづくりのビジョンとして、町内一斉環境美化活動や河川・井戸の水質検査を継続的に実施し、より快適な生活環境の保全及び公衆衛生の向上に取り組んでいます。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**富士河口湖町長 渡辺 英之**

富士河口湖町は、世界文化遺産富士山の麓、4つの湖を有する風光明媚な景観が広がる自然豊かな町です。

恵まれた自然環境を守り育み、末永く次世代へ引き継いでいくために、当町では、毎年5月に「一万人の清掃活動」の日を設け、地域・事業者などと連携した湖畔環境保全活動を実施しております。また、毎月一日を「リサイクルの日」として設け、ゴミの分別意識向上や資源循環の推進に努めています。

今後も地域一体となり、人と自然が共生する環境に配慮したまちづくりに取り組み、環境にやさしい暮らしを推進してまいります。

結びに、貴会の長年にわたる「せっけん運動」への取り組みに心から敬意を表しますとともに、次世代への豊かな自然の継承に繋がりますよう、心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**富士吉田市長 堀内 茂**

富士吉田市は、日本一の標高を誇る富士山の北麓に位置する高原都市です。街並は富士山信仰や、機織りにより栄えた時代の面影を残し、そこから見上げる富士山の雄大な景観を楽しみに、多くの観光客にご来訪いただいております。

本市ではこのたび第3次環境基本計画を策定いたしました。この計画に基づき、富士山をはじめとする豊かな自然に育まれた河川や地下水など、恵まれた水資源をより良い形で次世代に引き継ぐため、水質改善の推進や、地下水の保全・活用、水辺の親水化等の取り組みを進めてまいります。

長年にわたる貴会の活動に深く敬意を表しますとともに、今後より一層環境保全への取り組みの輪が広がってまいりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**北杜市長 上村 英司**

北杜市は、甲斐駒ヶ岳、八ヶ岳、茅ヶ岳、瑞牆山など、世界に誇る山々に囲まれ、その山の麓から湧き出る水は、名水百選に選ばれております。この清らかな水と美しい山岳景観、豊かな自然環境を、希望に満ちた子どもたちの未来へ引き継ぐことが、持続可能な社会に繋がると考えております。そのため、本市では、環境教育や水環境保全に積極的に取り組んでおります。

「せっけん運動」は、環境保護意識を高めるだけでなく、地域の絆を深める素晴らしい活動であります。貴会の長年にわたるこの活動に敬意を表しますとともに、多くの皆様に本活動が一層広がり、持続可能な社会への大きな成果へと繋がりますことを期待しております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

南アルプス市長 金丸一元

南アルプス市は市全域が南アルプスユネスコエコパークに登録される自然と人々が共に息づくまちです。南アルプスの峰々がもたらす清らかな水はすべての生き物に潤いを与え、その営みを支えてくれています。恵まれた自然環境のもと、本市の基幹産業である果樹栽培をはじめ、様々な産業や文化が発展してきました。

豊かな自然と共生する環境を次世代に引き継ぐべく、本市では「第2次環境基本計画」を策定し、排水対策の推進や環境配慮への啓発活動等を行っており、今後も市民並びに事業者とともに、環境保全施策を推進してまいります。

結びに、貴会の活動に心から敬意を表するとともに、今後も活動の輪が大きく広がることをご祈念申し上げます。

愛知県

「シャボン玉月間によせて」

瀬戸市長 川本 雅之

瀬戸市は市域の約6割を森林が占め、その面積の約4割が自然公園などとして保護・保全されており、希少な動植物が生息・生育する豊かな自然が残されています。

本市の豊かな環境を次世代に引き継ぐため、令和6年3月に「瀬戸市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を策定するとともに、同月には「ゼロカーボンシティ」の表明を行いました。脱炭素社会の構築と良好な自然環境の保全に向け、各種施策を推進してまいります。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、環境保全活動の輪がより一層広がっていくことを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

山梨市長 高木 晴雄

山梨市は甲府盆地の東部に位置し、面積の約8割を森林が占める豊かな自然に恵まれたまちです。清らかな笛吹川とその支流河川がもたらす肥沃な土地の恩恵を受け発展した果樹栽培は、県内有数の生産量を誇るとともに美しい景観をおりなしています。

本市では、「豊かな自然をみんなで未来へ継承する快適環境都市」の実現に向けて、市民、事業者と協働して環境保全に取り組んでいます。今後も豊かな自然環境を未来へ繋げるため、取り組みをさらに充実させていきたいと考えております。

長年にわたり環境保全活動に取り組まれてあります貴会の「せっけん運動」に心から敬意を表しますとともに、この活動の輪が益々広まりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

知立市長 林 郁夫

知立市は、2022年2月、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」を表明し、2024年3月には、環境施策の基本的な考え方を示す「第2次知立市環境基本計画」を改定しました。本計画では、単に環境に優しいだけでなく、本市に住むお一人おひとりが主役となって、より健康で豊かな暮らしを送ることができる環境を目指し、市民・事業者・行政が連携して環境施策を進めています。

貴会の「せっけん運動」の活動に心から敬意を表し、この活動の輪がさらに広がり、市民の環境保護への意識の向上へと繋がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東郷町長 石橋 直季

東郷町は、愛知池や境川等の豊かな水資源に恵まれ、夏には町内の各所でヒメボタルを見ることができるなど、水と緑のあふれた自然豊かなまちです。本町では、河川水質の測定、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に対する啓発、小学生を対象とした水生生物調査など水環境の保全に取り組んでまいりました。また、公共下水道の整備を進め、下水道の普及率は95.82%（令和5年度5月末）に達し、かつては水質に汚濁の見られた境川においても、近年では水質の改善が見られます。

これも、せっけんを入り口に環境保全を考える貴会の活動と軌を一にするものと考えており、貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表すとともに、今後もますます活動の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

豊明市長 小浮 正典

豊明市は、愛知県のほぼ中央部、名古屋市南東部に隣接する住宅都市です。名古屋市近郊といえども、緑豊かな自然環境が残り、特に市北部の二村山近くにある大狭間湿地では、8月にはサギソウやハツチヨウトンボ、9月にはシラタマホシクサが見ごろを迎えます。さらに県の天然記念物であり、夏に小さな赤い花を咲かせる食虫植物ナガバノイシモチソウが自生しており、学名は「ドロセラ・トヨアケンシス・エム・ワタナベ」です。湿地もナガバノイシモチソウもきれいな水が環境保全に欠かせません。

貴会の長年にわたる水質保全に向けた活動に深く感謝と敬意を表しますとともに、「せっけん運動」がSDGsへの市民の意識向上につながることを期待しております。この先もますます貴会の活動の輪が広まりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

豊田市長 太田 稔彦

市域の約7割に森林を有し、中心部には矢作川が流れる豊かな自然に恵まれた豊田市では、「WE LOVEとよた」を合言葉に、人と自然が共生する環境にやさしいまちの実現に向け様々な取組を進めています。その一つに川の魅力を知る「身近な水辺の環境意識向上プロジェクト」があります。これは水のにおいや汚れ、川の景観や生き物などを参加者の感覚で評価するものです。この活動により環境意識の向上を図るとともに、市民一人ひとりの積極的かつ日常的な環境配慮行動を促しています。

貴会の活動は、水環境保全及び市民の環境意識向上に大きく寄与するもので、長年の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

日進市長 近藤 裕貴

日進市は、名古屋市と豊田市の間に位置し、まちの中心部を流れる天白川流域には緑が広がる、自然と住環境が調和した住宅都市です。

本市では日進市環境基本計画に基づき、環境まちづくりに関する様々な取組を行っており、自然観察会や水生生物調査を実施しています。また、友好自治体である長野県木祖村において、水源地の森林を守り育てるために、市民参加による育樹作業等を実施し、森林保全等へ市民とともに取り組んでいます。今後も様々な事業を通して水環境も含めた、環境負荷の少ない地域社会の形成に取り組んでまいります。

貴団体の長年にわたる環境保全の取組に敬意を表しますとともに、益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

みよし市長 小山 祐

みよし市は、三好池、保田ヶ池、境川に代表される水辺環境や緑豊かな自然環境に恵まれています。こうした良好な自然環境を大切に保全し、良質な水環境の保全に向けた取り組みを重要な課題と捉え、住民一人ひとりが環境への関心を高めていくための取り組みを行っています。

本市では、第2次みよし市環境基本計画において「循環・共生する持続可能なまち」を将来像に掲げ、市民や事業者、行政が一体となって協働による環境保全活動に取り組んでいます。

貴会の活動は、多くの皆様に水環境への関心を深めていただく大変有意義なものであり、さらなるご発展を心からお祈り申し上げます。



滋賀県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

滋賀県知事 三日月 大造

滋賀県では、1977年の淡水赤潮発生を機に、りんを含む合成洗剤をやめて粉石けんを使う「石けん運動」が県民主体で始まりました。この運動が「琵琶湖条例」の制定に繋がり、石けん運動に表れた県民の思いが条例として実を結んだことは、本県の環境行政の歴史に残る出来事です。

現在、本県は湖沼の重要性を世界に発信するため、「世界湖沼デー」制定に向け取り組んでいます。先日開催された「世界水フォーラム」においても、琵琶湖の総合保全等を発表するとともに、「世界湖沼デー」制定を呼びかけました。実現に向け取組を更に進めてまいります。

結びに、貴団体の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、益々の御発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

近江八幡市長 小西 理

近江八幡市は、琵琶湖唯一の有人島で最大の島でもある沖島、滋賀県最大の内湖である西の湖や、その周辺にヨシ群落地域を含む水郷地帯を有するとともに、琵琶湖沿岸から市内一円に広大な田園風景が広がり、豊かな自然に恵まれています。

当市では令和4年3月に「近江八幡市第2次環境基本計画」を策定し、その中で『～自然との共生、歴史と文化を次世代につなぐ～近江八幡市持続可能な「水・緑・くらし』』という目指すべき環境像を掲げており、先人達から引き継がれてきたこれらの自然環境を保全し未来につなぐため、行政、市民及び事業者の三者が一体となって、環境保全の取組を進めています。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取組に心から敬意を表し、環境保全への関心が高まり、保全活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**大津市長 佐藤 健司**

大津市は、比良、比叡を代表する山々や琵琶湖など、美しく恵まれた環境に抱かれ、歴史、文化、産業においても多様性あふれるまちとして発展してきました。本市では、令和4年4月より「大津市環境基本計画（第3次）」を施行し、良好な環境を保全しつつ、一人一人が環境保全に対する意識を高め、それぞれの立場で自発的に取組を進めていくことができる人を育むため、市民、事業者、行政の三者が協働して環境保全活動や環境教育の施策に取り組んでおります。長年にわたる貴会のご尽力に敬意を表しますとともに、今後環境保全への取組の輪が一層広がることを御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**草津市長 橋川 渉**

草津市は、滋賀県内でも都市化が進む市の一つである一方、湖岸には内湖やヨシ原があり、東に向かって田園が続き、そして活力ある市街地、さらには里山にアカマツやコナラの林が広がるといった多様な自然環境を有しています。

本市では、豊かな自然環境を未来へ引き継ぐため、令和3年3月に「第3次草津市環境基本計画」を策定し、「人とひと 人と自然が織りなす 琵琶湖に開かれた環境文化都市 くさつ」を目指す環境像と掲げ、環境分野の取組の側面から経済・社会の課題についても取り組み、持続可能なまちづくりの実現に向けた取組を進めています。

貴会の長年に渡る活動に対して敬意を表しますとともに、今後の更なるご発展を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**東近江市長 小椋 正清**

東近江市は、鈴鹿の山々から琵琶湖まで、山地からなだらかな丘陵地や平野へと広がり、森・里・川・湖といった多様な姿を見せる自然豊かなまちで、これらの資源を持続的かつ有効に活用することにより豊かな生活と多様な歴史、文化、伝統が育まれてきました。

本市では、きれいな水、森林、農地、生物、輝く太陽などの豊かな自然資本をベースに、環境・経済・社会を統合されたひとつの地域課題として捉え、「市民が豊かさを感じる循環共生型社会」の構築に取り組んでおります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後の取組を通じて環境保全への関心と活動の輪が大きく広がっていくことを御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**日野町長 堀江 和博**

日野町は、靈峰綿向山を東に望み、町花である「ほんしゃくなげ」をはじめとする、多くの動植物が息づく自然豊かなまちです。

本町では、これまでから先人たちが築いてこられた、歴史、文化、そして、その礎である豊かな自然環境を守り、次世代へと継承するため、今年度日野町環境基本計画の策定を進めています。

また、市民、事業者、各種団体、行政が一体となり、環境美化やごみ減量に取り組み、環境保全に対する意識高揚を図っているところです。

貴会の長年にわたる水環境保全活動の取り組みに敬意を表しますとともに、この運動がより多くの人々へ広がっていくことを心よりご祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**守山市長 森中 高史**

守山市は、古くから琵琶湖と野洲川の恵みに支えられるとともに、美しい田園風景の広がる、水と緑のあふれる自然豊かなまちです。

平成29年10月に「守山市環境学習都市宣言」を制定し、本市の恵まれた環境を未来へつなぐため、市民が共に学び、考え、行動していくことを目指し、様々な環境施策を推進しています。

とりわけ本市では、市民・環境団体等により、ホタルの保護活動や赤野井湾の再生に向けた取組みなどが積極的に行われており、そうした取組みと相互に連携し、協力し合い取り組んでいるところです。

最後に、長年にわたる貴団体の水環境への取り組みに敬意を表しますとともに、多くの方々の環境保全への関心がますます高まるることを心より祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

野洲市長 柏木 進

野洲市は、家棟川や三上山を代表とする河川や里山を中心とした美しい田園風景を有するとともに、近年では工場立地、住宅開発等で都市化が進められてきました。

本市では、「里山から琵琶湖へ、豊かな自然とくらしが調和するまち やす」を環境未来像とし、市、市民・市民団体、事業者がそれぞれの立場と役割のもとで、協働して環境活動に取り組んできました。今後も経済と環境が共に発展しながら、良好な環境を次世代に引き継ぎ、持続可能な社会の構築を目指します。

最後に、貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後のますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

竜王町長 西田 秀治

竜王町は日野川、祖父川、善光寺川等の豊かな水源に支えられ、美しい田園風景の広がる町です。

本町では令和5年度に「第二次竜王町環境基本計画」を策定し、「さあ！環境新時代へ！」ともにつなぐ輝龍の郷のスローガンのもと、今後ますます深刻化する地球温暖化や生物多様性の損失への対策を意識しながら、環境学習や環境保全活動に取り組んでいます。今後も各自治会のごみ集積所で収集している廃食油の回収と石けんへのリサイクルについて取組を継続し、企業、団体、町民みな様とともに水環境の保全に尽力してまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後益々活動の輪が広がっていくことを心より祈念いたします。

大阪府

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

泉大津市長 南出 賢一

泉大津市は、大阪府の南部に位置し、市の西北部は大阪湾に面し、南部には大津川が流れ、古くから市民の憩いの場として親しまれています。

本市では、水環境の保全対策として下水道整備や河川敷緑地整備に取り組むことはもちろんですが、市民一人ひとりが生活様式を見直し、水と緑を守ろうとする意識を持つことも大変重要となります。市民と行政の手を取り合った取り組みにより、市内の河川の水質や水辺環境が改善され、大津川で毎年鮎が観察されており、また、大阪湾でイルカの群れが観察されるなど、豊かな海として回復の兆しがみられます。

貴会が取り組んでおられる長年にわたる「石けん運動」に敬意を表すとともに、今後も活動の輪がさらに大きく広がり、一人でも多くの方の環境への関心が高まることを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

泉佐野市長 千代松 大耕

泉佐野市は大阪南部の泉州地域に位置し、市の南東部は金剛生駒紀泉国定公園に指定された和泉山脈を擁しており、和歌山県と接しています。

本市は「泉佐野市環境美化推進条例」を施行して、生活環境の保全や都市環境の美化に取り組んで参りました。また、河川等の公共用水域の保全や公衆衛生の向上を目的に、浄化槽の維持管理や事業所からの排水について指導、啓発を行っております。泉佐野市では今後も環境保全に一丸となり、限りある資源を大切にする所存です。

長年にわたる「せっけん運動」により水環境の保全に取り組んでこられた貴会の活動に敬意を表しますとともに、益々のご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間によせて」**茨木市長 福岡 洋一**

茨木市は、大阪府の北部に位置し、緑豊かな山並みと水系を有するまちであり、市内には、動植物の豊かな生息・生育環境が育まれています。

本市は、昨年度「茨木市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」を改定し、脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動である「デコ活」の促進など、更なる脱炭素の取組を進めています。生物多様性の保全は、脱炭素に貢献するとされていますが、本市では、毎年、市民団体と協働して水生生物や自然に親しむ体験型の講座を開催するなど、市民に豊かな茨木の自然を感じてもらいながら、自然環境や生物多様性に対する環境意識を高めてもらうとともに、市民の水環境への意識向上にも努めています。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後とも、貴会の活動の輪がさらに広がりますことを願っております。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間によせて」**大阪狭山市長 古川 照人**

大阪狭山市では、狭山池クリーンアクションをはじめ、まちの随所で市民主体による水辺空間の清掃活動が盛んで、水を大切にしようと心がける市民の皆様が非常にたくさんおられます。

その大切な水をカレールーで表現した「狭山池ダムカレー」の提供が9店舗まで広がり、7月28日までスタンプラリー「お店をまわって食べて当てようキャンペーン」を実施しております。

歴史ある狭山池の魅力を実感していただきながら、水を大切にする意識のさらなる向上につながるよう期待しています。

今後も、貴団体におかれます運動の輪がより一層広がりますよう、環境保全の取組みを進めてまいります。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間によせて」**貝塚市長 酒井 了**

貝塚市は、国の天然記念物に指定されているブナ林を有する和泉葛城山を源流に市の中心部に近木川が流れ、日本の白砂青松百選にも選ばれた二色の浜がある水と緑に恵まれたまちであり、令和元年6月には「かいづかプラスチックごみゼロ宣言」を行い、プラスチックごみの削減に努めています。

美しい二色の浜を次世代に継承していくために、2024年5月に大阪府初となる「ブルーフラッグ」を認証取得しました。取得には、水質、環境教育などのさまざまな分野に関する認証基準を満たす必要があり、二色の浜を持続可能な地域資源として発展させていくことをめざしています。

今後も大切な水環境を守る為貴会が取り組まれている活動に敬意を表すとともに、ますます活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間によせて」**柏原市長 富宅 正浩**

柏原市は、大阪平野の南東部、大阪府と奈良県との府県境に位置しています。市域の中心部を横断する大和川は、奈良盆地の諸流を集め、大阪平野を経て、大阪湾へと流れています。

この大和川では、昨年11月1日付けで、本市からの要望を受け、近畿地方整備局が河川敷地占用許可準則に基づく「都市・地域再生等利用区域」の指定（河川のオープン化）を行いました。この河川のオープン化により、大和川河川敷緑地公園等において民間事業者による店舗営業等が可能となるため、より一層河川区域が賑わい、地域の活性化につながることが期待されています。

このような中、長年にわたり水環境を保全する活動をされていますことに敬意を表しますとともに、貴会の益々のご発展を祈念いたします。

シャボン玉月間に寄せて**交野市長 山本 景**

交野市は、大阪の北東部に位置し、市域の約半分は山地で自然に恵まれたまちです。市の中心部を流れる河川「天野川」や星にまつわる地名があります。

本市では第二次交野市環境基本計画に基づき、2050年温室効果ガスの排出量実質ゼロを目指すことを表明し、「脱炭素社会」「資源循環」「自然共生」「生活環境」の4つのビジョンを掲げ、市民・事業者・行政の三者協働で、自然豊かな“かたの”を次世代に引き継ぎ、未来への基盤をつくることとしており、自然環境の保全や良好で安心して暮らせる生活環境の確保に取り組んでいるところです。

結びに、貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**門真市長 宮本 一孝**

本市は大阪府の北東部に位置し、かつては水路が張り巡らされ、門真れんこんが特産の穀倉地帯がありました。現在は優れた交通利便性を活かしたものづくりのまちとして、また魅力ある定住都市をめざし、更なるまちづくりに努めています。

現在、海洋ゴミの多くを占めるプラスチックごみ削減のため、庁舎にマイボトル用給水機を設置するとともにリユースカップの貸出等、資源循環型社会の構築に向け、美しい自然を次世代の子ども達に残せるよう取組を進めています。

長年にわたり環境にやさしい石けんの使用により水環境を保全する活動をされています貴会の活動に敬意を表しますとともに、その活動の輪がより一層広がりますことを心よりお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**河南町長 森田 昌吾**

河南町は、金剛・葛城の山並みと千早川や梅川などの清らかな流れに育まれた、田園風景が広がる自然豊かなまちです。

本町では、将来にわたり持続可能な循環型社

会、脱炭素社会を形成するため、2050年を目途に町内の二酸化炭素等の温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを目指す「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、住民の皆さんとの環境への意識の向上に取り組んでおります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動を通して、住民の皆さんのが地球環境の保全に関心を持ち、その活動の輪が広がりますよう心から祈念いたします。

市長メッセージ**河内長野市長 島田 智明**

河内長野市は、市域の約7割を森林が占める自然豊かなまちであり、水源地としてのきれいな水と澄んだ空気は、本市の最大の魅力です。

この豊かな自然環境を守るためにには、一人ひとりが環境について学ぶとともに、社会全体で課題を認識し、解決策を考え実行することが大切です。

そのため本市では、「河川一斉清掃」や「親と子のふれあい自然学習会」の実施、廃食用油の回収及びそれらを用いた「石けん・キャンドル作り教室」の開催等により、環境保全と環境教育に努め、豊かな自然を次世代に引き継ぐための取り組みを続けていきたいと考えております。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**岸和田市長 永野 耕平**

岸和田市は大阪府の南部に位置し、古くから城下町として栄え、海あり、山あり、川ありと豊かな自然に恵まれた伝統ある美しいまちです。

本市では、環境の大切さについて知っていただくための環境に関わる企画展を開催するなど、啓発活動に取り組んでいます。また、市民の皆さんと協働で、川をきれいにするための清掃美化活動、川や海を豊かにするための里山再生にも積極的に取り組んでおります。

今後も、水環境の改善のため、市民活動の支援や啓発活動を充実させてまいりたいと考えています。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、運動の輪がさらに広がり、発展されますことを心よりご期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

熊取町長 藤原 敏司

熊取町では、これまで『くまとりプラスチックごみゼロ宣言』及び『熊取町気候非常事態宣言』を発出し、国が推進する3Rに「Refuse [リフューズ] :ごみの発生回避」を加えた4Rの推進に注力しております。また、『熊取町エコプロジェクト』を策定し、使い捨てペットボトルやレジ袋の削減を図ることで不用意に捨てられたプラスチックごみが河川や海に流れこむことを防ぎ、海と陸の豊かさを守る取り組みを進めています。

貴会の進める「せっけん運動」を機に一人でも多くの方が、環境問題について感心を持ち、自分たちの環境は、自分たちで守るという意識づけのきっかけにつながることを、期待申し上げます。

シャボン玉月間によせて

四條畷市長 東修平

四條畷市は大阪府の北東部、奈良県との県境に位置し、北生駒山系の豊かな緑と青く澄んだ室池の豊かな水源にも恵まれた自然豊かなまちです。

この豊かな自然を後世に引き継ぐため、令和6年3月に「四條畷市環境基本計画<改訂版>」を策定し、市民、事業者、行政の協働により環境保全の取組みと水環境の保全に向けた活動を展開しています。

とりわけ、水環境の取組みとしては、地域の水路清掃活動の支援や市民と協働で取り組む廃油回収、親子でみる自然散策と水辺の生物観察会の開催等を通して、水環境への意識向上に努めています。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表するとともに、今後益々のご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて

島本町長 山田 紘平

島本町は、大阪府と京都府の府境に位置し、緑濃い天王山と清らかな水無瀬川が織りなす自然豊かなまちです。町域は、一級河川である水無瀬川の流域から成り立っており、水無瀬川周辺は、住民のやすらぎと憩いの場として親しまれており、ホタルなど水生生物もみられます。また、大阪府内で唯一、環境庁（現環境省）認定の「名水百選」に選ばれた「離宮の水」があります。

本町では、環境問題に対する意識を高めるため、小学校や保育所にて緑のカーテンの取組を進めているほか、住民・事業者・行政の協働により様々な環境保全活動を行っています。

貴会の活動を通して水環境への関心が高まり、環境保全活動がより広がっていることを祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

吹田市長 後藤 圭二

吹田市は、北部のなだらかな千里丘陵と、南部の安威川、神崎川や淀川が流れる低地から形成され、自然と住環境が調和したまちです。

良好な住環境を後世に引き継ぐためには、市民一人ひとりが環境保全に対する意識を高めることが重要です。そのため、本市では、市民、大学、事業者、行政が同時期に清掃活動を行う「わがまちクリーン大作戦」に取り組んでいるほか、環境美化意識の向上とプラスチックごみの削減について継続的に啓発を行っています。今後とも市民の皆様とともに様々な取組を実施し、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる水環境を保全する取組に敬意を表しますとともに、より一層環境保全への関心が広がりますよう祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

摂津市長 森山一正

摂津市には淀川をはじめ多くの一級河川が流れ、水辺がつくり出す豊かで上質な景観が市民の憩いの空間となるなど、今も昔も河川からの恩恵を受け、歴史を重ねてきました。

この自然豊かな水景を守るため、本市では家庭から出された廃食油を回収し、粉石鹼を作るという資源リサイクルに取り組んでいます。環境にやさしい行動をした市民には「せっつエコポイント」を付与し、記念品と交換できるなど、環境に係る様々な啓発活動を行っております。今後も環境や水質保全に対する市民の意識を高める取り組みを続け、より良い地球環境の保全に寄与するまちづくりを進めてまいります。

結びに、貴会の今後益々のご発展とご活躍を心からお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

泉南市長 山本 優真

関西国際空港の対岸に位置する泉南市は臨海部にはマーブルビーチが、山間部には和泉山脈があり、水と緑に恵まれた自然豊かな環境にあります。

地球環境への配慮は国際社会共通の責務となっており、地球温暖化対策やエネルギー対策、ごみの減量化等、環境負荷の少ない循環型社会の構築に取り組み、地球にやさしいまちづくりをめざしています。先人から受け継がれてきた豊かな自然を守るために、身近な暮らし方から改善を図っていくことが重要です。せっけん運動はまさに身近な暮らしの中を取り入れることができ、大変意義深いものと認識しております。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表し、今後益々のご発展を心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて

太子町長 田中 祐二

太子町は、大阪府の東南部に位置し、二上山など金剛生駒紀泉国定公園となる山々や、梅鉢御陵と呼ばれる敏達・用明・推古・孝徳天皇陵と聖德太子御廟を有する豊かな自然と歴史に織り成されたまちです。

本町では、令和2年に「太子町プラスチックごみゼロ宣言」を行い、水環境へのプラごみ排出抑制を推進しております。また、令和5年には「太子町脱炭素ロードマップ」の策定を行うなど、今後も豊かな自然環境を守り育んでいく取組みを住民の皆様と手を携えながら進めてまいりたいと考えております。

結びに、貴会の長年にわたる取組みに敬意を表しますとともに今後ますますのご発展を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

大東市長 逢坂 伸子

大東市は大阪府の東部に位置し、金剛生駒山系の一部をなす飯盛山、寝屋川や恩智川などの多くの河川を有する、自然あふれる地域です。

江戸時代の新田開発の際に作られた水路が多く残っており、特に「御領水路」は「大東八景」のひとつとして親しまれるなど、水辺空間は市民にとって欠かせない原風景です。

これら市の財産である豊かな自然を未来の子どもたちに残すため、本市では地域住民や大学と連携し、GPSを活用した河川でのごみの流れの調査、市所有のボートによる河川での清掃活動等を行い、水環境の保全に取り組んでいます。

結びに、貴会の永年にわたる水環境の保全活動に敬意を表するとともに、貴会の益々のご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

高石市長 畠中 政昭

高石市は、大阪府南部に位置し、面積は11.30平方キロメートルとコンパクトで閑静なベッドタウンであり、本市内を流れる芦田川、王子川や海域の水質検査を行うとともに、工場排水の規制等を行い水質環境向上に努めています。

また、本市内小学校においては、使用済みペットボトルを新たなペットボトルにリサイクルする「ボトル to ボトル」の取り組みを授業で紹介し、環境意識の向上を図っています。

水環境保全に対する貴会の長年に渡る活動に敬意を表しますとともに、今後も貴会の活動が広がり、一人でも多くの方が環境への意識を高めるきっかけとなることをご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

田尻町長 栗山 美政

田尻町は大阪府の南部に位置し、降水量が少なく温暖な人口約8,500人の町です。

市街化区域内の污水下水道整備がすべて完了し、現在は、污水をできるだけ河川には流すことのないように、水洗化の更なる促進を図り、水質の保全に努めています。

本町では、「ごみのないまち環境美化の精神があふれたまちたじり」の実現に向けて、住民参加型の清掃活動「まちピカ運動」を実施しています。これをきっかけに、自分たちのまちは、自分たちできれいにするといった環境美化に対する意識を高め、美しく快適な居住環境づくりを進めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、この活動の輪がより一層広がっていくことを心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

忠岡町長 杉原 健士

織維産業の町として栄えてきた忠岡町は、「日本一小さなまち」として、現在はスローガンに「つながる つどう 人を育む 日本一小さなまち ただおか」を掲げてまちづくりを進めております。

新型コロナウイルス感染症については、徐々に元の生活を取り戻してきたことにより終息したかのように思われますが、感染は続いている、油断はできません。年間を通して感染症の予防のため、手洗いを忘れずに習慣付けることが感染症の予防に有効であることから、せっけんでの手洗いは以前から重要視されているところであります。

また、本町では「打ち水」「みどりのカーテン」など省エネ意識の啓発を行っており、次世代の子どもたちに住みよい町を残していくために必要なことであり、未来への大きな課題となっています。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、未来へつながる環境運動の輪がより一層発展されることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

千早赤阪村長 南本 斎

千早赤阪村は、澄んだ空気、清らかな水、金剛山の緑、そこに息づく様々な動植物など豊かな自然に恵まれた地であり、楠公ゆかりの史跡など歴史資源にも恵まれた「大阪唯一の村」です。

本村では、こうした恵み豊かな自然環境を次の世代に引き継ぐため、「金剛山の里を守り育てる千早赤阪村環境条例」を制定し、環境への負担が少なく安心に暮らせる環境づくりと、豊かな自然の保全を進めることで、“自然と共生する住みよいむら”を目指しています。

貴会の「せっけん運動」の活動は環境保護に貢献するものであり、長年にわたる取り組みに敬意を表しますとともに、今後も活動の輪がより一層広がりますよう心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

豊能町長 上浦 登

豊能町は、大阪府内にあって町域の7割が山林で、清らかな河川に恵まれた自然豊かなまちです。

本町では、令和4年度に豊能町総合まちづくり計画を策定し、『自然に抱かれた多様性・創造性で未来が輝くまちとよの』を将来像に掲げ、環境に優しいまちづくり、豊かな自然を大切にするまちづくりに取り組んでいるところです。一人ひとりの小さな配慮や行動の積み重ねの継続が、次の世代、その次の世代のために水環境を守っていくことにつながると考えます。

貴会の長きにわたる「せっけん運動」への取り組みに心から敬意を表しますとともに、次世代への豊かな自然の継承に繋がりますよう心より御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

富田林市長 吉村 善美

富田林市は、南河内の中心に位置し、古くから栄え発展してきました。市の中心部には石川が流れ、現在でも貴重な文化財が多く発掘されるなど、歴史と自然に恵まれた美しい景観を誇る街です。

本市では、環境美化活動の一環として毎年「石川大清掃」を開催し、地域住民や企業の皆様と協力し、石川の環境美化に努めると共に、「SDGs未来都市」としての取り組みを進めているところです。

貴会の、長年にわたる「せっけん運動」を通じた水質保全活動に敬意を表しますと共に、美しい水辺や豊かな自然環境を守り育む活動への理解が広まりますことを心から祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」メッセージ

寝屋川市長 広瀬 慶輔

寝屋川市は、市名の由来でもある一級河川「寝屋川」が市内を流れる人と自然が調和するまちです。

その一級河川「寝屋川」を始めとする水辺が人々の癒しや潤いの空間となるよう、市民ボランティアや事業者の方々が毎年春と秋の2回、「クリーンリバー作戦」と題打って、河川清掃、ごみ拾いなどを行っています。今後も、市民の皆様と協働して水環境の整備・保全に取り組み、環境に配慮した自然豊かなまちづくりを推進して参ります。

結びになりましたが、貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意と感謝の意を表しますとともに、せっけん運動ネットワーク及び生活クラブ生活協同組合大阪の今後ますますの御発展を御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

能勢町長 上森 一成

大阪の最北端に位置する能勢町は、府内でも有数の自然に囲まれた地域で、美しい「里山景観」が創られています。また、2050年までにエネルギー資源のCO₂排出量ゼロを実現するゼロカーボンタウンの形成を目指しており、里山景観と再生可能エネルギーの導入との共生を図るゾーニングを行いました。

また河川美化活動を実施し、河川環境の改善や保全に取り組んでいるところです。一方でそもそも環境負荷が少ない製品を使用することが、環境保全に重要であると考えています。

貴会の石けん運動を通じた日頃からの地道な活動が、大きな環境保全につながることを期待申し上げるとともに、今後ますますのご発展とご活躍を心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

羽曳野市長 山入端 創

羽曳野市は大阪府の南東部に位置し、世界遺産（古市古墳群）と日本遺産（竹内街道）があるまちです。また、生駒山系の山並みや石川・飛鳥川の水辺など豊かな自然に恵まれ、これらを活かして栽培しているブドウやイチジクは今旬を迎える市の名産品となっています。

本市では、資源循環型社会の形成に向け、民間事業者との協定によりペットボトルの水平リサイクルを開始し、また、家庭用廃食油のリサイクル回収を推進し、市民の環境意識の向上を図ってまいります。

貴会が長年にわたり水環境を保全する活動に取り組んでこられたことに敬意を表しますとともに、皆様の活動が今後益々進展されますことを心よりお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

阪南市長 水野 謙二

阪南市は、潮干狩り・ビーチバレーなど様々なイベントが行われる美しい砂浜、ホタルが飛び交う山沿いの河川など豊かな自然に恵まれており、大阪で唯一生産を行う海苔など、海や大地の恵みを受けた产品が多数あります。

本年5月に、「第1回ブルーエコノミー日本サミット」を開催しました。貴重な財産である海を次世代に引き継ぐため、海洋の持続可能な発展を産官学が連携することで、新たな産業や雇用を生み出し、イノベーションを進める「ブルーエコノミー」の取組を、国・大阪府、大阪湾を囲む市町や、産業界・経済界ともに共通認識として進めるために開催したものです。

海洋の持続可能な発展を目指し「ブルーエコノミー」の取組を進めてまいります。

その他にも阪南市と関西エアポート株式会社は、大阪・関西万博「TEAMEXPO2025」プログラムの共創チャレンジとして、より豊かな藻場造成による大阪湾の価値向上を目的とし、海藻移植を実施するなど、SDGsの理念のもと環境保全活動に努めています。ともに環境問題に取り組んでまいりましょう。

結びに、本年で44年目を迎えた貴会の長年の取組に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

東大阪市長 野田 義和

モノづくりのまち東大阪は、北部に淀川水系のひとつである寝屋川が流れ、恩智川、第二寝屋川、長瀬川などの緩流河川が流れおり、工場排水規制や下水道整備を進め、水質向上に取り組んでまいりました。

また、本市では、令和3年3月に第3次環境基本計画を策定し、豊かな水環境を創造し、次世代に引き継ぐための取り組みを進めております。

結びにあたり、地球環境保全に関する活動の先駆けとも言える、貴会の長年にわたる「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに、今後の更なるご発展を心よりお祈りいたします。

「シャボン玉月間」によせて

枚方市長 伏見 隆

枚方市は大阪、京都、奈良の中間に位置し、西には豊かな水の流れを持つ淀川が流れ、東には生駒山系に繋がる緑に溢れた里山が広がるなど、豊かな自然環境に恵まれたまちです。

また、今年5月には「SDGs未来都市」に選定され、さらなる環境保全意識の醸成をめざし、様々な取り組みを進めているところです。今後も、この美しい自然を次の世代へと継承していくため、市民、市民団体、事業者と連携、協力し、様々な環境保全活動に取り組んでまいります。

「せっけん運動」を通じた、貴会の長年にわたる取り組みに対し深く敬意を表しますとともに、この運動をきっかけに環境保全への関心が一層高まるご期待申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」**松原市長 澤井 宏文**

松原市では、3度目のセーフコミュニティ国際認証を取得し、地域のさらなる安心・安全のための取り組みを進めています。

災害対策につきましては、「自助」「共助」により地域の防災力を高める施策を進めておりますが、災害時において水は「命をつなぐ生命線」として重要であり、水環境の保全は欠かせないものです。

本市では令和4年9月の「松原市ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、環境教育や啓発活動を推進し、次世代を担う子どもたちにきれいな水環境を引き継ぎ、今後も安心・安全なまちであり続けるための取り組みを進めてまいります。

結びに、貴会の「せっけん運動」に深く敬意を表しますとともに、より活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン月間」に寄せて**岬町長 田代 堯**

大阪府の最南端に位置する岬町は、夕日百選の海と緑眩しい山々の豊かな自然に恵まれた美しい町です。本年も「環境美化行動の日」を実施し、全町住民が一斉に身近な環境の清掃活動を行いました。また、今年度は「岬町地球温暖化対策実行計画」の改定を予定しており、環境負荷の軽減に取り組んでいるところでございます。本町の宝である美しい海をはじめとする豊かな自然環境を守るために、地域住民をはじめ多くの方々が清掃活動に精励されています。今後とも「輝くまち」を創造し、住民協働による地域活性の取組みを推進してまいります。

本年で44年目を迎えた貴会の水環境保全活動に敬意を表しますとともに、美しい自然を未来に引き継ぐための活動が、今後益々発展されることを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**箕面市長 上島 一彦**

箕面市は住宅都市として発展するかたわら、先人たちの尽力により、東西に横たわる山なみや田園風景などの豊かなみどりを維持し続けてきました。大切に育まれた景色を守るため、現在でも本市では、市民、事業者及び市が協力して様々な取り組みを進めており、多くの市民に本市の自然環境に魅力を感じていただいているところです。

この景色は将来に亘り保全すべき本市の貴重な財産であり、今後さらに一人一人が意識して環境問題に取り組んでいただけるよう啓発活動を継続し、環境保全に努めてまいります。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、より一層発展されることを心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**守口市長 瀬野 憲一**

守口市は、大阪平野を貫流する淀川の左岸に位置しており、貴重な自然環境が享受できる水辺空間の淀川河川公園、緑と水に親しむ空間として鶴見緑地や西三荘ゆとり道があります。

本市では、市民に対して環境問題への意識醸成や行動変容のきっかけとなることを願い、事業者と連携して、淀川環境学習会や環境絵画展、省エネ工作教室等のイベントを開催するなど、今後も脱炭素・循環型社会の構築と良好な環境の保全を目指してまいります。

長年にわたり、次世代にきれいな水と豊かな自然を残すべく環境問題全般に並々ならぬ熱意を持って取り組まれる貴ネットワークに対して敬意を表しますとともに、今後益々の発展を心からお祈り申し上げます。

シャボン玉月間に寄せて**八尾市長 大松 桂右**

八尾市は大阪府の中央部東寄りに位置しており、豊かな水辺空間が広がるとともに、東に生駒山系を臨む自然豊かなまちです。市内河川の水質については改善傾向にあり、環境基準を達成している状況が続いています。

本市では、近年深刻化している海洋プラスチックごみ問題の対策として美化活動の支援やポイ捨て防止の啓発など、河川に流入するごみの削減に向けた取り組みを行っているところです。引き続き、良好な生活環境に向けた取り組みを進めてまいりますので、本市環境施策の推進にご理解とご協力をお願い申し上げます。

貴会の長年にわたる水環境の保全に向けたご活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

**奈良県****「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」****葛城市長 阿古 和彦**

葛城市は、奈良県北西部に位置し、金剛、葛城、二上西部の山並みが悠々と広がる、自然が美しい地です。

当市では、このような豊かな自然を守っていくことに留まらず、今後は気候変動対策にも益々力をいれ、自然との共生が叶う、さらに住みよいまちづくりに尽力してまいります。

貴会におきましても、せっけん運動ネットワークの水環境保全活動に取り組んでおられ、環境問題の解決にご貢献いただいておりますこと、心より敬意を表します。貴会の今後益々のご発展と、持続可能な地域づくりの実現を祈念申し上げ、私からのメッセージといたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」**天理市長 並河 健**

本市には大和川並びにその支流が多数存在し、その1つ1つが大和川水系を通じて海へと繋がっています。その一つに天理市役所の前を流れる布留川が存在し、大和川へと合流します。

例年5月には、市民・事業者・行政が一体となり布留川一斉清掃が行われます。この清掃活動は、今回で22回目を迎え、回数を重ねるごとに水辺環境が改善され、やがてホタルが確認されるようになりました。今年6月に行われたホタルの観察会では市役所付近においてもホタルの姿が確認され、今後も水辺環境の保全に取り組んでいきます。

貴会の活動は、多くの皆様に水環境への関心を深めていただく大変有意義なものであり、さらなるご発展を心からお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

奈良市長 仲川 げん

奈良市は、奈良県の北部に位置し、市内には大和川水系の支流をはじめとする数々の河川が流れています。中でも佐保川や率川は、万葉集にも詠まれていて、古くから豊かな自然に恵まれた土地柄を生かしながら古都として発展してきました。

こうした背景から本市では、奈良らしい伝統的な自然観や、その豊かな自然環境を未来に残していくために、昨年9月に「奈良市ゼロカーボン戦略」を策定し、地域の皆さんと一丸となって、より良いまちづくりに取り組んでいるところです。

貴会の「せっけん運動」をはじめとする長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展をお祈り申し上げます。

**兵庫県**「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」メッセージ

兵庫県知事 斎藤 元彦

兵庫県は、「豊かで美しいひょうごの里海」をめざし、大阪湾を藻場・干潟等の回廊でつなぐ「大阪湾MOBAリンク構想」の実現に向けて取り組むとともに、生産量が全国トップクラスである養殖ノリのブルーカーボンクレジットの創出に向けた検討を進めています。

昨年7月には、「ひょうご豊かな海づくり県民会議」を設立し、多様な主体による豊かな海づくり活動のネットワーク化に取り組んでおり、水環境の保全に向けた貴会の取組には大きな期待を寄せてています。

持続可能な地域づくりに向けて、これからもともに取り組んでまいりましょう。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

明石市長 丸谷 聰子

明石は万葉の古より詠られてきた明石海峡を望み、国際的なビーチスポーツ大会が開催される大蔵海岸など、人と里海・里地・里山が織りなす豊かな環境を市民と共に育んできました。

産官学民で連携して「対話と共創」の手法で、脱炭素や生物多様性保全の取り組みをはじめ、豊かな自然を生かした循環型のまちづくりを推進しています。

今後も「SDGs未来安心都市・明石」に向け、持続可能なやさしい地域を市民目線で創ってまいります。

人にも環境にもやさしい「あなたの選択で未来が変わる～始めようせっけん生活～」を掲げ、生活者の視点から水環境の保全活動に取り組む貴会に敬意を表するとともに、活動の一層の発展を心よりお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて**芦屋市長 高島 峻輔**

芦屋市は北は六甲山、南は瀬戸内海と、自然あふれる豊かな住環境を備えた「国際文化住宅都市」として発展してきました。

令和3年6月にはゼロカーボンシティを目指すことを表明し、脱炭素社会に向けて2050年までに二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量を、市域で実質ゼロにできるよう市民・事業者の皆さんと一緒に取組を進めています。

また、初夏には市内を流れる芦屋川の上流でホタルを観賞できるほど、自然が豊かです。ホタルは美しい水と静かな環境を好んで生息すると言われており、市でも環境の基盤である水と空気をきれいに保つ取組を進めるため、様々な啓発活動を継続してまいります。

結びに、貴団体の水資源保護への活動に敬意を表し、益々のご発展を祈念いたします。

シャボン玉月間によせて**尼崎市長 松本 真**

尼崎市は、河川や運河に支えられながら全国有数の工業都市として発展した一方、地下水の汲み上げを原因とする地盤沈下や工場排水による水質汚濁など、深刻な公害問題に苦しんできました。しかし、市民・事業者・行政が連携しながら粘り強く取り組んだことで水質環境が大きく改善され、今では良好な状態を維持し、市民に親しまれる空間となっています。

今後も、自然と人と産業との良好な共生関係を目指し、尼崎運河再生プロジェクトをはじめとする水質改善に向けた取組を市民や事業者などと協働で進めてまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、より一層活動の輪が広がりますことを心より祈念いたします。

シャボン玉月間によせて**伊丹市長 藤原 保幸**

伊丹市は東部に猪名川、西部に武庫川という大きな川が市内を流れ、昆陽池公園や伊丹緑地等の自然緑地が整備された水と緑豊かなまちです。市民と協働した保全活動により、ヒメボタルやオニバスの生息、アオバズクが飛来する等生物多様性に恵まれた環境が構築されました。

気候変動が自然環境へ及ぼす影響が危惧されるなか、本市では脱炭素社会の実現・ライフスタイルの変革に向けた足元の取組として『体験型環境啓発イベント』『太陽光パネル及び蓄電池設備の共同購入支援事業』等様々な施策を推進しています。貴会せっけん運動の長年にわたる水環境保全に対する意識醸成への貢献に敬意を表し、ますますのご発展を祈念いたしております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**猪名川町長 岡本 信司**

猪名川町は一級河川猪名川の源があり、緑豊かな山林に育まれ、阪神間のベッドタウンとして周囲の自然環境と調和しながら発展してきました。住民の方々も自然環境に強い関心をお持ちなのが、本町の大きな特徴の一つでもあります。豊かな自然環境を守っていくためには私たち一人ひとりが環境に関心を持ち続け、継続的に行動することが重要です。

そのような中で、貴会の環境に優しいせっけんを広める運動は、大変意義深いものと考えております。貴会の活動を通じて環境保全への取組みの輪が広がることを心より祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

加古川市長 岡田 康裕

加古川市は、一級河川「加古川」をはじめ、北部の豊かな緑、南部の播磨灘や数多くのため池など、水資源に恵まれたまちです。水とともに暮らしてきた私たちは、次代へもこの豊かな環境を保全し引き継いでいく使命があります。

本市では、令和5年10月に「第3次加古川市環境基本計画」を改定しました。計画が目指す姿の1つである、「うるおいとやすらぎのある環境を育む」については、貴会が進める水環境保全の活動に通じるものがあります。今後も豊かな環境の保全に向けて、さらなる取組を進めてまいります。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を心からお祈り申し上げます。

シャボン玉月間によせて

川西市長 越田 謙治郎

川西市は、兵庫県南東部に位置し、南北に貫くように猪名川が流れています。北部には、一庫ダム、知明湖、「日本一」と言われる黒川周辺の里山、中部には清和源氏発祥の地として有名な多田神社、南部には弥生時代の暮らしを物語る加茂遺跡など豊かな自然に囲まれた歴史と伝統のあるまちです。

本市では、これらの自然と人とが共生した発展が可能なまちを将来の世代へと引き継いでいくため、「市民」「事業者」「行政」が一体となって取り組んでおります。

貴会の「せっけん運動」における「消費者が自らの暮らしを見直し、美しい自然を未来世代へ引き継げるよう活動していきたい」という思いの込もった活動は、非常に意義深い活動であると認識しており、今後もこの活動の輪がますます広がり、美しい自然環境が守られていくことを心から祈念申しあげます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

神戸市長 久元 喜造

神戸市は大都市である一方で、六甲山や瀬戸内海が近くにあり、郊外には里山が広がる自然に恵まれた都市です。しかし、人間活動が地球規模で生態系に影響を与える時代となり、自然環境の破壊や種の減少・絶滅が進行しています。特に、近年は瀬戸内海において、のりの色落ちや漁獲高の減少等が課題となっています。

こうした状況を踏まえて、神戸市では、生物多様性の保全に積極的に取り組んでおり、国連が定めるSDGsの目標である「海の豊かさを守ろう」に向けても、海の栄養塩類の対策やブルーカーボンの取り組みなどの施策を推進しています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

三田市長 田村 克也

三田市には、武庫川をはじめ多くの川が流れ、市の中心には千丈寺湖があり、豊かな水資源を有しています。

近年、気候変動の影響などで地球環境への関心が高まってきており、当市では令和4年度から「第5次三田市総合計画」がスタートし、次の時代にも輝く三田市を目指しています。市民・市内事業者・市が共に環境問題に取り組み、三田市の豊かな水資源をはじめとする自然環境を次の世代につないでいたらと思っています。

貴会の水環境の保全に向けた取り組みが、水環境保全への意識を高め、シャボン玉月間の活動を通して、一層「せっけん運動ネットワーク」の輪が広がることを祈念いたします。

「シャボン玉月間によせて」**高砂市長 都倉 達殊**

高砂市は、兵庫県内最大の加古川の下流と播磨灘に面しており、その水利は優れた景観、肥沃な土地となり、大きな恩恵を受けてきました。

本市では、未来へより良い環境をともにつくるため、ゼロカーボンを推進しており、小中学生への「エコ教室」をはじめ、大規模海浜清掃活動「リフレッシュ瀬戸内」など、豊かな水環境を保ち、住みやすい生活環境を次世代に引き継ぐための事業を、市民・事業者とともに取り組んでおります。

貴会の手洗い活動や美しい自然を未来世代へ引き継ぐ活動に敬意を表しますとともに、潤いと安心な暮らしがあるまちづくりのため、活動の輪がますます広がりますことを心からご祈念いたします。

「2024年シャボン玉月間によせて」**宝塚市長 山崎 晴恵**

宝塚市は、兵庫県南東部に位置しており、北部地域に広がる里地里山環境と、南部の市街地は六甲山系や長尾山系に囲まれた豊かな自然に恵まれたまちです。

本市は、本年4月1日に市制70周年を迎えました。これを機会にこれまでの歩みを振り返り、本市の魅力を再確認、再発見することで、ふるさとへの愛着や誇りを育み、未来へとつないでいきたいと考えています。

市の中心を流れる武庫川や周辺河川の美しい流れが変わらぬよう、市民の皆様とともにこれからもこの自然環境を守ります。

長年、環境保全の取り組みを続けられている貴会の活動に敬意を表し、今後のさらなる発展を心より祈念いたします。

「シャボン玉月間に寄せて」**西宮市長 石井 登志郎**

西宮市は夙川の桜並木や緑豊かな六甲の山並み、また砂浜の残る甲子園浜や香櫞園浜など多くの自然を有しております。

本市では、この恵まれた自然環境を守るために、平成15年、全国に先駆けて「環境学習都市宣言」を行い、昨年は同宣言から20年という節目の年を迎えました。そして来年には市制100周年を迎えます。先代から引き継いだ豊かな自然を維持・継承していくために、PRTR法を踏まえ、今後も多様な主体とのパートナーシップを通じ、持続可能なまちづくりを進めてまいります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が広がり、大きな成果を得られますことをお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**三木市長 仲田 一彦**

三木市は、兵庫県の南東に位置し、加古川の支流、美嚢川が中央部を南西に流れ、美嚢川周辺には平野部が広がり、それを囲むなだらかな丘陵地と台地で構成された緑豊かな自然に恵まれているまちです。

本市は、令和5年5月に内閣府から「SDGs未来都市」の選定を受けました。環境面については、豊かな自然環境の保全・活用や持続可能な低炭素・循環型社会の構築など、市民・議会・企業・団体・行政が一体となった「チーム三木」で環境に優しい取組を進めています。

「せっけん運動」を通して環境保全を推進している貴会の活動に敬意を表するとともに、この活動を通じて多くの方々に環境保全への関心がますます高まるることを心より御祈念申し上げます。

岡山県

「せっけん使おう！シャボン玉月間」に寄せて

赤磐市長 友實 武則

赤磐市は、岡山県南東部に位置しており、岡山県内三大河川の一つ吉井川が流れ、「肥沃な大地」と瀬戸内海特有の「温暖な気候」、「豊かな日照量」という気温と湿度が安定している地域です。

市内ではこの豊かな気候を利用し、果樹栽培やワイン、酒造りが盛んに行われています。

この恵まれた自然環境を守り、次世代に引き継ぐため、今後も海や河川の環境美化活動、食品ロス削減やごみの分別による資源循環などによる環境保全活動を実施し、また、公共下水道等整備を推進し、水質の保全に努めてまいります。

結びに、貴会の長年にわたる『せっけん運動』を通しての取組みに敬意を表しますとともに、今後の皆様方の活動の輪がさらに広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

浅口市長 栗山 康彦

浅口市は、北の遙照山系から南の瀬戸内海まで多様であり、気候は温暖小雨で過ごしやすく自然に恵まれた地域です。

本市では、市民・事業者・行政の各主体が協働して、ごみと生活排水の適正処理に取り組んできました。

このたび、より実情に合うよう、令和5年度に「一般廃棄物処理基本計画」の改訂を行い、今後も、市民・事業者・行政がそれぞれの役割と責任を果たし、地域レベルで対応しているところです。

貴団体の、「せっけん運動」に敬意を表すとともに、運動のさらなる発展を心より祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

岡山市長 大森 雅夫

岡山市は、旭川と吉井川が瀬戸内海に注ぐ岡山平野に位置し、南部には地味豊かな沃野、北部には吉備高原につながる山並みが広がっています。また、都心部にも豊かな水環境を有する水と緑に恵まれたまちです。

本市では、多様な自然環境と調和した豊かな暮らしを次世代に引き継ぐため、水辺環境の保全について考える「水辺教室」、市民や団体等の自主的な環境保全活動をサポートする「岡山市環境パートナーシップ事業」など、市民、事業者、行政が連携して環境保全活動に取り組んでいます。

貴団体の「せっけん運動」を通じた美しい自然を未来世代に引き継ぐ長年の活動に敬意を表しますとともに、この取り組みが益々発展されることを祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

鏡野町長 山崎 親男

鏡野町は、岡山県の北部に位置し、岡山県内三大河川の一つ吉井川の源流があり、中国山地を成す山々に囲まれています。本町と鳥取県三朝町の県境に整備したトレッキングコース「高清水トレイル」では、その山並みと豊かな自然を楽しむために多くの人が訪れています。また、初夏には、町内各所でホタルが飛び交う美しい光景を見ることができます。

このような豊かで美しい自然を守り、次世代に引き継ぐため、重点施策として循環型社会の形成について、ごみの減量化・ごみの発生抑制・再資源化等に取り組むとともに、地域住民に意識の高揚を図ることに努めています。

長年にわたり水環境を保全する運動に取り組まっている貴会の活動に敬意を表しますとともに、豊かな自然を守っていくため、今後益々活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「シャボン玉月間に寄せて」**笠岡市長 栗尾 典子**

笠岡市は、瀬戸内海に面し、風光明媚でありながら日本遺産に認定されている石材産業を有する笠岡諸島など、自然と歴史文化が調和した魅力的な自然環境を有しております。

本市では、この豊かな自然環境を保全し、SDGsの目標の一つである「住み続けられるまちづくり」を目指すとともに、かけがえのない豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐために、第3次笠岡市環境基本計画を策定し、各種施策を市民や事業者と一体となって取り組んでいるところであります。

長年にわたり貴会が取り組まれております水環境の保全活動に敬意を表するとともに、今後の更なるご活躍を祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**吉備中央町 山本 雅則**

岡山県のど真ん中に位置する吉備中央町は、岡山県のへその町と称され、その中に吉備高原都市を有し、ブッポウソウを町のシンボルとした自然豊かな町です。

初夏には、ゲンジボタルとヘイケボタルが飛び交い、なかでも豊岡川では、ひときわ多くのホタルが川面を乱舞し、幻想的な光景を見せてくれます。

本町では、ホタルやブッポウソウなどが生息するこの豊かな自然環境を次の世代へ引き継いでいくため、環境保全に取り組んでいます。

貴会の活動に対し心から敬意を表しますとともに、石けん運動の益々のご発展を願い、メッセージとさせていただきます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**里庄町長 加藤 泰久**

里庄町は岡山県南西部に位置し、緑あふれる自然豊かな町で、古くから交通の要衝として経済・文化的な交流があり、時代の流れとともに姿を変えながら発展してきました。多くの自治体で人口減少が進行している中、人口1万人台を20年以上維持しています。

本町では、下水道整備・合併浄化槽等の普及促進による環境保全への取り組みを行っています。

貴団体が「せっけん運動」を通じた長年にわたる水環境の保全活動に取り組まれていることに心より敬意を表しますとともに、今後一層、取組の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間に寄せて」**瀬戸内市長 武久 顯也**

瀬戸内市は西端に一級河川吉井川が流れ、西部は平野部が広がり、東南部は瀬戸内海に面した丘陵地となっており、豊かな自然と歴史に彩られた町です。

その大切な自然環境を守るための取り組みの一つとして、ごみ焼却施設の燃料にバイオディーゼル（廃食用油を回収して製造した燃料）を使用しています。また、市民団体が廃食用油を再利用した石けんを作り、古紙回収へのお礼としてお渡ししています。

これからも次世代を担う子どもたちをはじめ市民が安全に暮らせるよう、市民の皆さんと共に、環境保全の取組を推進してまいります。

貴団体の活動に敬意を表しますとともに、今後さらに活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**総社市長 片岡 総一**

総社市は岡山県南に位置しており、市の中心部を岡山三大河川の一つである高梁川が流れています。本市は、高梁川とその支流の豊富な水の恩恵にあずかっております。

蛇口をひねれば綺麗な水が出ることが当たり前になっている今だからこそ、私たちは「水」は限りある資源であるということを今一度考えていかなければなりません。たとえ小さなことでも私たち一人一人の取り組みが、大きなうねりとなり、水環境を保全につながるものと確信しております。水の大切さを次世代へ引き継ぐことも私たちの使命であり、責務は重大だと思います。

貴団体が「せっけん運動」を通じ、長年、水環境の保全活動に取り組まれていることに心より敬意を表しますとともに、今後さらに取組の輪が広がることをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

津山市長 谷口 圭三

津山市は、岡山県北東部に位置し、北の中国山地、南の吉備高原に囲まれ、東西に岡山県三大河川の一つである吉井川が流れる、豊かな水と緑に囲まれた自然あふれる地域です。毎年6月、吉井川流域を中心に行われる河川清掃では、河川敷の美化による、より豊かな水環境の実現に向け、活動を続けています。今年は約1400人の住民の皆様にご参加いただきました。

また「水の学校」や「森の学校」など、子どもたちが地域の自然環境に触れる機会を設け、体験的な環境教育にも力を入れています。

長年、豊かで美しい環境を未来へ繋ぐため活動される貴団体に敬意を表するとともに、「せっけん運動」の輪がより一層広がりますよう心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

備前市長 吉村 武司

備前市は、岡山県の南東に位置し、島々に囲まれた水資源豊かな土地です。その豊かな水資源を守るために地元の関係者を中心に、幼魚などが集まる海のゆりかごとしての役割を果たすアマモ場再生活動を約40年以上前から地道に取り組んでおり、12ヘクタールまで減少していたアマモ場が、約250ヘクタールまで回復しています。

貴会の推奨するせっけんによる手洗いは、地球環境・生活環境保全に大変有意義であり、「あなたの選択で未来が変わる～始めようせっけん生活～」の合言葉のもと、この取り組みが広がっていくことを願っています。

最後に貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」活動によせて

真庭市長 太田 昇

真庭市は岡山県北部に位置し、北は鳥取県に接しています。広大な市域は南北約50km、東西約30kmに及び、岡山県内で最も広大な自治体です。市内を蒜山高原を源流とする旭川が流れ、約8割が森林に覆われています。豊かな自然と歴史遺産が広がり、多彩な資源を有しています。真庭市はこの豊かな自然環境を守り、未来へつなげるため、「SDGs未来杜市真庭」「ゼロカーボンシティまにわ」宣言を掲げ、市民、事業者、行政が環境保全活動に積極的に取り組んでいます。これまでの貴団体の活動に敬意を表しますとともに、今後の「せっけん運動」の取り組みがより一層広がりますよう祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

美咲町長 青野 高陽

美咲町は、岡山県の中央部からやや北に位置し、岡山三大河川のうちの旭川、吉井川が流れ、二上山をはじめとする山間地には、日本の棚田百選に選ばれている大坪和西と小山の棚田が広がっている自然豊かな町です。

美咲町では、「こどもの笑顔は みんなの幸せ」をキヤッチフレーズに、まちを挙げて子育て支援を高めています。

この子供たちの未来に、美しい自然環境を引き継いでいくため、ごみ減量化や3Rを推進し、環境保全に取り組んでいます。

また、瀬戸内海の海ごみ問題にも積極的に取り組むため、旭川と吉井川へのプラごみ流入抑制に努めてまいります。

貴団体の「せっけん運動」の取り組みがより一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**美作市長 萩原 誠司**

美作市は、岡山県北東部の東は兵庫県、北は鳥取県との県境に位置します。市北部には、氷ノ山後山那岐山国定公園に指定されている後山があり、後山から湧き出るわき水は市を南北に流れる吉野川に注がれています。

市の大部分は山林に囲まれている中山間地域であり、この恵まれた環境を守るために、下水道は、市内ほぼすべての地域で普及を終え、河川水質の保全に努めています。

ごみ問題にも積極的に取り組んでおり、資源ごみは20種類以上の分別を市民にお願いし、環境に対する意識を高めることに努めています。

貴団体の「せっけん運動」には深く敬意を表すとともに、環境保全の取り組みがますます広がることをご祈念申し上げます。

広島県**「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて****呉市長 新原 芳明**

呉市は、市域に島々が多く点在し、広島県内の瀬戸内海国立公園の陸地部面積の4割強を占める等、多島美の創る優れた景観や歴史的風土に恵まれた海洋都市の面を持ちます。

漁業が盛んで、美しく恵み豊かな海の環境を有する一方、海洋プラスチック等の海ごみ問題など、水環境に関する課題もあり、先般策定いたしました第3次呉市環境基本計画においても、水環境の保全に積極的に取り組むこととしております。

貴組合が長年にわたり尽力されておられる水環境の保全活動は非常に心強く、深く敬意を表するものでございます。

今後とも、貴組合の活動が更に発展するよう御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**和気町長 太田 啓補**

和気町は岡山県南東部に位置する閑静な町です。町内には吉井川、金剛川、日笠川が流れおり水に恵まれた環境があります。また広く農地があり、水稻や野菜、果樹の生産がさかんに行われています。

本町では生ごみみたい肥化事業という、生ごみを焼却処理せず、農作物の栽培に使う肥料に変えていく活動を行っています。農業と水は切っても切り離せないもので、こういった事業も綺麗な水がないとやはり成立しません。今後も、環境に配慮した施策を推し進め、現在の形に留まらない、いっそう環境にやさしい町づくりの実現を目指していきます。

貴団体の活動に深く敬意を表するとともに、これからも更なるご発展をご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」応援メッセージ**廿日市市長 松本 太郎**

廿日市市は、北は中国山地、南は瀬戸内海に囲まれた自然豊かなまちです。特に世界遺産を擁する宮島は、原生林の残る自然豊かな島であり、絶滅危惧種ミヤジマトンボの生息する一部湿地は、ラムサール条約に登録されています。

こうした本市の豊かな自然を未来につなげるため、小学生向け水辺・里山教室や親子向け環境講座、地元住民の方々との海岸清掃など、環境保全活動に継続して取り組んでおります。

貴会の「せっけん運動」は、水環境を守り次世代につないでいくための保全活動として大変意義深いものであります。長年にわたる御尽力に敬意を表しますとともに、今後ますますの御発展を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

東広島市長 高垣 廣徳

東広島市は、緑溢れる山々から瀬戸内海まで豊かな自然環境に恵まれております。

また、その豊かな自然からもたらされる地下水の恩恵を受け、日本有数の銘醸地としても知られています。

この豊かな自然を未来に引き継ぐため、「市民一人ひとりがふるさとの環境をまもり・はぐくみ・つたえるまち」を目指し、公共下水道の整備や合併処理浄化槽設置を推進するほか、環境学習や出前講座といった啓発活動など、市民・事業者・関係団体等と連携しながら、環境保全活動に取組んでいるところです。

貴組合の長年にわたる環境保全活動へのご尽力に、深く敬意を表しますとともに、今後益々、「せっけん運動」の活動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

広島市長 松井 一寛

広島市は、太田川河口デルタを六つの川が流れ、南側の瀬戸内海に注いでおり、市民が気軽に水辺に親しむことができる、「水の都ひろしま」と呼ばれています。

本市では、令和3年3月に「第3次広島市環境基本計画」を策定し、環境の保全及び創造において目指すべき都市の姿である「将来にわたって、豊かな水と緑に恵まれ、かつ、快適な都市生活を享受することができるまち」の実現を目指し、水質汚濁等の状況の監視や生活排水対策の推進など、水環境の保全に取り組んでいます。

こうした中、貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後、シャボン玉月間を始めとした活動の輪がさらに広がりますことを祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

府中町長 寺尾 光司

府中町は、総面積10.41Km²というコンパクトな町域に人口約5万3千人と密度の高い市街地を形成しています。大型商業施設があるほか、北部には豊かな水と緑に恵まれた水分峠森林公園があり自然を満喫することもでき、住みやすさが評価されているまちです。

本町では、これらの豊かな自然を守り、次世代に継承していくため、ゼロカーボンシティの実現を目指し、地球温暖化対策や環境保全活動などの取り組みを進めております。

結びに、貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後も更なる活動の輪が広がりますよう祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

三原市長 岡田 吉弘

三原市は、広島県の中央東部に位置し、南部には沼田川流域の平野に加えて、瀬戸内海と山地に挟まれた帯状の平野が広がり、北部には起状の比較的小さい山々が広がる、多様な自然環境に恵まれたまちです。

本市では、令和4年3月に「三原市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、脱炭素社会に向けた取組を推進するとともに、小学生を対象とした「水辺・海辺教室」や「海洋学習」を実施するなど、水質保全の大切さを伝えています。

長年にわたる貴会の「せっけん運動」による環境保全活動に敬意を表しますとともに、本活動の輪がさらに広がっていくことを心より祈念申し上げます。

山口県

シャボン玉月間メッセージ

阿武町長 花田 憲彦

阿武町は、山口県の北部に位置し、日本海に面した美しい海沿いは、西長門海岸国定公園に指定され、また町の全域は、阿武火山群を形成し、萩ジオパークとして指定され、約40万年前の火山活動の記憶を観ることができます。

令和4年1月には「日本で最も美しい村連合」にも加入が認められた自然豊かな美しい町です。

当町では、早くから「行政」・「町民」が一体となって簡易水道事業や集落排水事業に取り組み、町民の方々の水環境に対する意識も高く、農山漁村としては上水、下水ともに高い普及率を達成しています。

貴会の「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、この活動が水環境保全、そして美しい自然を守る活動へと繋がっていくことを心から祈念いたします。

「シャボン玉月間」によせて

岩国市長 福田 良彦

岩国市は、西中国山地の森林が育んだ清流が数多く流れしており、特産の岩国れんこんの農業用水としても活用されるなど、豊かな水源に恵まれています。

この素晴らしい自然環境を次世代へと継承していくために、私たち市民一人ひとりの選択で未来が変わるとの意識をもって行動することが大切です。

毎年6月の環境月間に開催している「岩国環境フェスタ」では、貴会による粉せっけんの配布や、国の特別天然記念物であり、かつ、清流錦川の象徴でもあるオオサンショウウオの生体展示も行われ、市民、とりわけ次世代を担う子供達にとって環境問題を考えるきっかけとなっています。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に深く敬意を表しますとともに、持続可能な社会に向けた取組がますます展開されていきますことを心から祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

宇部市長 篠崎 圭二

宇部市は「SDGs未来都市」として、産・官・学・民が一体となって公害を克服した「宇部方式」の精神に基づき、SDGsのゴール達成に向けて、豊かな自然環境を次世代に引き継ぐための様々な取組を進めています。

水環境の保全については、自然学習会や清掃作業といった水質浄化に向けての意識啓発や水源地の保全活動を市民や事業所と協働で実施しており、人と環境にやさしい「せっけん運動」と本市の取組が相乗効果により良好な水環境を創出することに大きな期待を寄せています。

貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がりますことをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

上関町長 西 哲夫

上関町は、山口県の南東部に位置し、瀬戸内海国立公園区域に含まれており、瀬戸内海の穏やかな海と島しょ部で形成された、自然豊かで美しい景観に恵まれた山口県最南端の町です。

室津半島と長島に挟まれた上関海峡は、海上交通の要衝として、潮待ち、風待ちの港が形成され、古くから海と深い繋がりのある町です。町のキャッチフレーズである「花咲く海の町上関」を実現するために、海岸清掃などの環境保全活動を引き続き行い、美しい海をはじめとする豊かな自然環境の保全に取り組んでいきます。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**下松市長 国井 益雄**

下松市は山口県の南東に位置し、瀬戸内海に面しています。山や島の豊かな自然に恵まれ、温見（ぬくみ）ダム、末武川ダム（愛称米泉湖）という二つの水資源を持つ住みよいまちです。

本市では、水源の重要性を再認識し、水源地域の環境を保全することを目的としたダム周辺の清掃を地元のボランティア団体と一緒に行っています。今後も環境を守り住みよいまちを次の世代に引き継いでいくために、継続して努力を重ねていきたいと考えております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」による水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**山陽小野田市長 藤田 剛二**

山陽小野田市は山口県の南西部に位置し、市の中央部には北から厚狭川が、東部には北東から有帆川が、それぞれ南流して瀬戸内海（周防灘）に注いでいます。明治維新後、セメントを中心とした化学工業が発展し、現在も県内有数の工業都市として、人と自然と工場が密に調和したまちとなっています。

この豊かな自然を次世代につないでいくために、本市では「環境展」や「環境・地球温暖化防止ポスター展」を実施するなど環境保全意識の高揚に努め、市民との協創による自然環境の保全を推進してまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表すとともに、今後ますますのご発展とご活躍を心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**下関市長 前田 晋太郎**

下関市は本州最西端に位置し、関門海峡を挟んで、東に周防灘、西に響灘と3方が海に開かれ、木屋川をはじめ大小の河川が市内各所を流れるなど、豊かな自然と水環境に恵まれた風光明媚な景観があります。

この美しく潤いのある自然を将来世代に引き継げるよう、本市では「ゼロカーボンシティしものせき」の宣言を行い、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すことを表明いたしました。脱炭素社会の実現に向けて、環境負荷の低減に積極的に取り組んでまいります。

貴会の石けん運動も、環境負荷を低減し、河川の水質を保全する上で、意義深いものであると考えております。今後、活動の輪がさらに大きく広がることを心から祈念しております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**周南市長 藤井 律子**

周南市は、山口県の東南部に位置し、北に中国山地、南に瀬戸内海を望み、海岸部の平野には東西に長い市街地が形成されています。また、島しょ部は、瀬戸内海国立公園区域にも指定されている美しい自然景観を有したまちです。

この多様で豊かな自然環境を守るため、本市では、世界の共通課題である脱炭素やSDGsの推進に市民、事業者、行政が一体となって取り組んでいます。

今後も一人一人が環境に配慮した行動を選択できるよう、様々な施策を推進し持続可能なまちづくりを進めてまいります。

結びに、長年にわたる貴会の取組に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」が多くの方々の環境に配慮した行動につながることを祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**周防大島町長 藤本 淳孝**

周防大島町は、山口県東南部に位置し、温暖な気候に恵まれた瀬戸内海に浮かぶ島の中で3番目の面積を有した自然豊かな島です。

本町では、石けんの使用による手洗いは、公衆衛生上並びにウイルス感染症に対して自分や家族を守るために、私たち一人ひとりができる最も身近な対策であり、安全・安心な日常生活に欠かせない基本的な行動であると考えております。

貴会の長年にわたる「石けん運動」を通じて石けんの使用を推奨し、環境・衛生活動にご尽力いただいておりますことに、「シャボン玉月間」が更なる環境・衛生の関心につながりますことを心から祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**田布施町長 東 浩二**

田布施町は、山口県の南東部に位置し、北西部にある山岳地帯を源として中央部を流れる田布施川の土手は、春になると桜が満開となり、多くの人たちで賑わいます。

このすばらしい自然環境を守るため、本町では平成14年度より「美しいまちづくり推進条例」を制定し、住民、事業者及び行政が一体となって、美しいまちづくりを推進しています。

今後もこの豊かな自然を守り、後世に引き継いでいけるよう、地域住民や団体と協働し、河川や海岸の水質保全を推進していきます。

今後、貴会による「せっけん運動」の輪が広がり、人々の水環境への関心がさらに高まるることを祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ**長門市長 江原 達也**

長門市は、山口県の西北部に位置し、北部には北長門海岸国定公園に指定される美しい日本海の風景が広がり、その中でも、海上に数多くの奇岩・怪岩が連なり海上アルプスと称される青海島など、雄大な景観が広がる自然豊かなまちです。

本市では、この豊かな自然環境を保全するとともに、公衆衛生の向上を推進するため、合併浄化槽の設置補助を行っております。また、市の自然環境を未来につなげていくための活動として、子どもたちを対象に水辺の教室の実施に取り組んでおります。

貴会の長きにわたる環境保全活動の取り組みに敬意を表しますとともに、今後、ますます活動の輪が広がりますようご発展をお祈り申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**萩市長 田中 文夫**

日本海に面する萩市は、白砂青松の菊ヶ浜や東洋一小さい活火山である笠山、国指定名勝の長門峡など素晴らしい自然に恵まれており、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである萩城下町は、阿武川河口の三角州上に形成され、豊かな用水や舟運など水の恩恵を受けながら発展し、水の都とも言われています。

こうした山紫水明の豊かな自然を将来の世代へ引き継ぐため、萩市では、「エコライフに挑戦～笑顔あふれる明るい未来に向けて～」をスローガンにカーボンニュートラルの実現に向け、市民の皆様とともに取り組んでいます。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

光市長 市川 熙

光市は、山口県の東南部に位置し、白砂青松の室積・虹ヶ浜海岸や県立自然公園に指定された石城山、市民や水鳥の憩いの場である島田川など、水と緑に囲まれた自然豊かなまちです。

また、令和6年は、旧光市と旧大和町が合併し、新「光市」が誕生して20周年となる記念すべき年を迎えます。今後とも、古来から先人たちが守り続けてきた水や緑豊かな自然を継承していくため、市民、事業者、行政の協働による「クリーン光大作戦」などの環境美化活動や環境教育活動をまちづくりで展開してまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がることを心から祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

平生町長 浅本 邦裕

平生町は、山口県の東南部、室津半島の西に位置し、瀬戸内海国立公園の一端を形成している豊かな自然環境に恵まれた町です。

この恵まれた自然環境を次世代へと継承していくためには、私たち町民一人ひとりが環境に対する問題意識をもって行動する必要があります。その取り組みの柱として、3R活動や地球温暖化対策について、住民、事業者、行政が一体となったものとなるよう、町としても積極的に進めていくこととしております。

水環境を守るための取組である「せっけん運動」をはじめとする、貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表するとともに、活動の輪が更に広がりますことを心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

防府市長 池田 豊

山口県の中央部に位置する防府市を流れる一級河川、佐波川を讃える「合唱組曲佐波川」の一節です。

♪「はるばるも 太古を流れ 千鳥啼く

川瀬の霧に あかあかと 萌える草木のたくましさ
成れる大地の たくましさ

ああ ああ 母なる川よ 佐波川よ」

この素晴らしい自然の恵みの大切さを忘れず、次世代を担う子どもたちに母なる川「佐波川」を受け継いでいけるよう、佐波川一斉清掃などを通じ、自然環境の保全に取り組んでおります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、貴会の取り組みが一人でも多くの方の環境意識の向上につながり、今後ますます活動の輪が広がりますことを心から祈念いたします。

シャボン玉月間によせて

美祢市長 篠田 洋司

美祢市は山口県西部中央に位置し、国内有数のカルスト台地「秋吉台」、日本屈指の大鍾乳洞「秋芳洞」があり、豊かな自然環境にめぐまれたまちです。さらに、かつては奈良の東大寺の大仏で使用された銅の採掘地を有するほか、無煙炭として活用された石炭、今ではセメント等の原料である石灰石と鉱物資源にも恵まれています。

平成27年には、「Mine秋吉台ジオパーク」として、市全域が日本ジオパークに認定され、現在は世界ジオパークの認定を目指しており、貴重な地質遺産や美しい自然環境を未来に引き継ぐために、保存や教育活動などを展開しています。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、環境負荷を軽減し、豊かな自然を守るうえで大変意義深い活動であり、心より敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを御祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**柳井市長 井原 健太郎**

山口県の南東部に位置する柳井市は、多島美を誇る瀬戸内海に面し、日照時間が長く、温暖な気候に恵まれた自然豊かなまちです。

こうした自然環境を次世代に受け継いでいくため、夏休みには、小学生とその保護者を対象とした「親と子の水辺の教室」を開催しており、水生生物を探取・観察し、生き物と水環境の密接な関係を学習しています。また、海浜清掃活動を通じて、海辺の状況を目の当たりにすることで、プラスチック製品などが自然環境に与える影響への理解を深めています。

皆様の長年にわたる水環境の保全に向けた活動に敬意を表するとともに、今後も「せっけん運動」の活動の輪が広がっていきますことを心からお祈りいたします。

シャボン玉月間によせて**山口市長 伊藤 和貴**

山口市は、北部の森林や、椹野川を始めとした多くの清流、南部の瀬戸内海に面する海浜など、豊富な自然環境に恵まれたまちです。

また、令和4年に国の脱炭素先行地域に選定され、2050年のゼロカーボンシティの実現に向けた取組を進めています。

引き続き、市民・事業者・市が一体となり、本市の地域資源を最大限活用しながら地域脱炭素の取組を進めつつ、環境の基盤となる大気、水、土壤などを良好な状態に保持・保全することで、自然環境と調和した快適で安全・安心なまちを目指します。

結びに、貴会の長年にわたる「せっけん運動」の活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」メッセージ**和木町長 米本 正明**

和木町は、山口県の最東端に位置し、一級河川小瀬川を挟んで広島県と隣接し、東は瀬戸内海に面した小さな町です。

沿岸部は日本で初めての石油コンビナートが形成され、かつては公害が懸念されていましたが、現在は各企業の努力により大幅に環境が改善されています。また、町では早くから公共下水道事業に取り組み、生活排水処理率は99.5%です。

町内の取り組みでは、和木町生活学校の皆様が、食廃油を石鹼にリサイクルする活動を長年続けておられ、その石鹼は「しらうお石鹼」として多くの方々に愛用されております。

貴会の石けんの良さを地域に広め水環境を保全する活動に対しまして、心から敬意を表し、応援メッセージといたします。



福岡県

せっけん使用運動への村長応援メッセージ

赤村長 道廣幸

赤村は、福岡県の東部に位置しており、英彦山を源流とした今川が流れ、緑豊かな大自然に恵まれた村です。

本村は、県内でも有数の良質米の産地、特に美味しいお米には欠かせない「きれいな水を後世に残す」をキヤッチフレーズに、住民の皆様とともに、これまで以上に全力で取り組んで参ります。

全世界的にも、「持続可能な開発」に対する取り組みが活発化している中、貴会の長年に亘る「せっけん使用運動」が本村にとっても欠かせない取り組みであると深く敬意を表すとともに、この活動の輪がさらに広がることと、貴会の今後益々のご発展を心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

朝倉市長 林 裕二

朝倉市は、福岡県のほぼ中央部に位置し、南側は平野、北側は古処山や馬見山をはじめとする山々が連なっているほか、福岡市など周辺地区への水資源供給の役割も担う水と緑の豊かな市です。

本市では、全国で唯一黄金川に自生するスイゼンジノリ（絶滅危惧種に指定）の保全活動を行っています。また、令和4年1月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し、今後ともより一層環境保全に尽力してまいります。

貴会の皆様の環境問題への高い意識と「せっけん使用運動」といった水環境保全の活動に敬意を表しますとともに、今後のご活躍を心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

芦屋町長 波多野 茂丸

芦屋町は、町の中央を遠賀川が流れ、北側は響灘に面し、美しく変化に富んだ海岸線となっており、毎年多くの方が海水浴や釣り等を楽しんでおります。

このような恵まれた水環境を将来に引き継ぐため、町では、「未来へとみんなでまもりみんなでつなぐ美しい芦屋の郷里」を環境像とした「芦屋町環境基本計画」を策定し、町民・事業者・行政の協働により、環境保全の意識を高め、海岸の清掃活動「ラブアース・クリーンアップ」や「町内一斉清掃」などに取り組んでおります。

貴会の長年にわたる、水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

飯塚市長 武井 政一

飯塚市は、第3次飯塚環境基本計画において「ひと+自然+やさしいまち=いいづか」という将来像を掲げ、自然と調和した住みよいまちの実現を目指しています。

水環境については、水辺環境の保全や河川水質の保全に取り組むとともに、公共下水道事業・合併浄化槽設置補助事業などを推進しています。

貴会の「せっけん使用運動」による水環境保全の活動が、環境問題全体に対する人々の意識の向上に大きく貢献されており、今後、さらに活動の輪が拡がりますことを心よりご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

糸島市長 月形 祐二

総合計画に基づくまちづくりが認められ、SDGs未来都市にも選定された本市は、自然や食、歴史・文化などの資源をたいせつに守り育みながら、市民の皆様と共にワンランク上の豊かなまちづくりを目指しています。自然の恵みを次の世代へ引き継いでいくよう配慮しながら、これからも糸島の魅力を磨き続けます。

貴会の長年にわたる水環境保全の活動に心より敬意を表しますとともに、益々のご発展と会員皆様のご活躍を祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

うきは市長 権藤 英樹

うきは市は、地下水だけで生活用水がまかなわれている非常に珍しい水のまちです。この地下水を水質・水量ともに将来世代に残していくように地下水の保全に取り組んでいます。また、「第2次うきは市環境基本計画」の環境像である「自然豊かなふるさとを未来へ」を実現するため、再生可能エネルギーの普及促進や地下水の保全、生物多様性の保全など各種環境施策に取り組んでいます。

貴会の長年に渡る水環境を守る活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が大きく広がりますことをご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

宇美町長 安川 茂伸

宇美町は、面積の約6割を森林が占め、自然豊かな一本松公園（昭和の森）では、年中、多くのキャンパーが来場し、夏場は涼を求め多くの方々が川遊びなどで賑わいを見せます。

第7次宇美町総合計画では「このまちが、いい。」とえらばれる街を目指して計画を策定しました。その中で豊かな自然環境と調和した『心地よい暮らし』をうみだすまちを掲げ、生活環境の向上、環境美化の推進や下水道整備を推進しています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に心から敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージについて

大川市長 倉重 良一

大川市は、筑後川が有明海に注ぐ河口に位置し、多種多様な水産資源が生息する水と緑の豊かなまちです。

本市では「人と自然に調和した都市空間を共創するまち」をコンセプトに、市民と行政が一体となって、環境負荷を低減する循環型社会の形成と、生活環境の充実を図ることで快適で潤いのある都市空間を創出し、人と自然が調和したまちを目指しています。

長年にわたる貴会の水循環を守る「せっけん使用運動」の取り組みに敬意を表しますとともに、この運動の輪がさらに広がっていきますことをご祈念申しあげます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージについて

大木町長 広松 栄治

大木町は町民の皆さんとの協力により、子どもたちが生きる時代に「つけ」を残さない「循環のまちづくり」に取り組み、大きな成果をあげてきました。

その取組の1つとして、平成16年から食用廃油の分別収集を開始し、収集した食用廃油の一部は石鹼として蘇らせ、農産物直売所「くるるん夢市場」や天然温泉・大木の湯「アクアス」で販売しご好評をいただいております。

貴会の「水循環保全に対するせっけん使用運動」は本町の理念とも通じるものがあり、深く敬意を表しますとともに、この運動の輪がより一層広がりますよう心から祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

大任町長 永原 譲二

貴会の長年にわたる水環境保全に対する取組みに敬意を表します。

大任町は、町の中央を南北に彦山川が貫流し周囲は低丘陵に囲まれた自然豊かな町です。

彦山川にはしじみが自生しており、しじみ1個がコップ一杯の水をキレイにするという浄化作用に着目し、しじみを環境保護とまちおこしのシンボルとして位置付けています。

また大任町ではしじみにまつわる行事として『しじみ祭り』があります。この祭りは昭和62年から続く伝統的な祭りであり、水環境保全や子どもたちへの郷土を愛する心の醸成を育むとともに、町内外から多くの方が彦山川水辺公園を訪れ、大変な賑わいをみせています。

今後も貴会の益々の発展と、せっけん使用運動の輪が広がっていくことを心よりお祈り申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**大野城市長 井本 宗司**

大野城市は、御笠川と牛頸川、平野川を有し、古くから川とともに発展を続けてまいりました。

これらの豊かな自然を次世代へ繋ぐ活動として、昭和63年から毎年秋に市民参加型の河川周辺美化活動「御笠川・牛頸川・平野川フェスタ」を開催しています。さらに、令和2年度には、都市と自然が共生する脱炭素社会の実現に向け、「ゼロカーボンシティ大野城」を宣言するとともに、令和5年度に策定した大野城市環境基本計画に基づき、「自然を育み、多様な生物と共に存するまち」を目標とした各取組を行っています。

貴協同組合の長年に渡る活動に敬意を表しますとともに、この運動の輪がより一層広がりを見せていくことを心より祈念いたします。

応援メッセージ**大牟田市長 関 好孝**

大牟田市は福岡県の最南端に位置し、海と山に囲まれた自然豊かなまちです。本市では、「大牟田に住みたい」と思っていただけるよう、安心・安全で魅力的なまちの実現に向けた様々な施策に取り組んでいます。

令和5年4月には「ゼロカーボンシティ」を宣言し、脱炭素社会の実現に向けて環境への負荷を少なくする省エネ行動や自然環境に配慮するエコ行動の実践につながる取組みを進めることとしています。

消費者である自らの暮らし方を見直し、次代を担う子どもたちに美しい自然をつなぎ、豊かな循環型社会の実現を目指す貴会の取組みに対し、深く敬意を表し、皆様方の今後益々の御活躍を心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**岡垣町長 門司 晋**

岡垣町は、北は響灘、南は孔大寺山系に彩られた自然豊かな町です。

町内には6カ所の水源に14本の井戸があり、町の水道水は、水源の85%を井戸からくみ上げられる地

下水が占めるなど、おいしい水に恵まれています。

本町ではこの恵まれた水環境を次世代へと引き継ぐため、令和5年度に「地下水の保全に関する条例」を制定しました。また、町内の河川の草刈りや清掃、海岸線を一斉に清掃する「ラブアース・クリーンアップ」を実施するなど、住民・事業者・行政が一体となって環境保全に取り組んでいるところです。

貴会の水環境を守る活動に敬意を表するとともに、本町といたしましても、次世代にきれいな水と豊かな自然を繋いでいくよう、努めてまいります。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**小郡市長 加地 良光**

小郡市は、平坦な土地に田園風景が一面に広がる自然豊かなまちで、市の南北を貫く宝満川を美しい天の川に見立て、七夕神社を拠点に「七夕の里」として、まちづくりに取り組んでいます。

この宝満川では、多くの市民や団体の皆さんに主導的にご参加いただき、河川美化運動を毎年実施しています。

貴会が長年取り組まれている水環境保全活動に対し敬意を表し、この活動の輪がさらに広がりますよう心からお祈り申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**遠賀町長 古野 修**

遠賀町は町の東側に遠賀川、中央部を南北に同水系の西川が流れ、町内を水路の巡る豊かな自然環境を有する町です。本町では、おんがレガッタなど水に関わる事業も多く、町民のみなさんが持つ水環境への関心は高く、飲用と豊かな農地を支える水は大変重要な役割を果たしています。

令和4年3月に策定した第2次遠賀町環境基本計画の「笑顔つなぐ 水と緑のまち おんが」を環境像として、「ラブアース・クリーンアップ」など、環境保全と継承に向けた取り組みを実践しております。

貴組合の長年にわたる「水環境保全に対するせっけん使用運動」に敬意を表しますとともに活動の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

せっけん使用運動への応援首長メッセージ**春日市長 井上 澄和**

春日市は、福岡都市圏の中央部に位置する住宅都市で、筑前三大池の一つである白水大池や複数の総合公園がある、水と緑あふれるまちです。

「市民と行政との協働のまちづくり」を掲げ、毎年「海の日」には、自治会と地域住民、事業者が一緒に牛頸川の清掃活動を行うなど、協働による水環境保全活動にも取り組んでいます。

貴会の長年の取り組みに敬意を表しますとともに、今後活動の輪がより一層広がりますことを心より祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**粕屋町長 箱田 彰**

粕屋町は福岡市に隣接し博多駅や福岡空港まですぐの好立地にありながら、田園風景が残る自然豊かな環境と、充実した都市機能がバランスよく調和した、理想的な“トカイナカ”です。

これらの恵まれた環境を未来に引き継ぐために、町では「ゼロカーボンシティかすや」を宣言し、脱炭素社会の実現を目指しています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、この活動の輪がさらに広がりますよう心よりお祈り申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**嘉麻市長 赤間 幸弘**

嘉麻市は、福岡県のほぼ中央に位置し、遠賀川の源流を有する、緑に包まれた自然豊かなまちです。

本市では、山田クリーン作戦やI LOVE 遠賀川 in 嘉穂での河川清掃、合併処理浄化槽の設置にかかる費用を一部補助する事業などを実施し水環境保全活動に取り組んでいます。

今後も、次世代を担う子ども達により良い環境を引き継ぐよう努めてまいります。

貴会が取り組まれている「せっけん運動」を通じて、水環境保全の理解が深まり、活動の輪がますます広がっていきますよう心からご祈念申し上げます。

せっけん使用運動へのメッセージ**川崎町長 原口 正弘**

川崎町では、ボランティア団体の皆様と共に河川敷の清掃作業を行うなど、自然の豊かさを次の世代に引き継ぐための環境保全活動に努め、緑豊かなまちづくりに取り組んでおります。

SDGsの17のゴールのうちゴール14「海の豊かさを守ろう」の観点から、海洋プラスチック問題など水環境保全に向けた取り組みへの関心が高まっており、本町でも引き続き河川敷の清掃など住民・事業者・行政が一体となって水環境保全活動に取り組んで参ります。

貴会の長年にわたる水環境保全に向けた地道な活動に深く敬意を表しますと共に、「せっけん運動」を通じて環境問題に対する関心がより一層高まり、この運動の輪が広がりますよう心よりご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**苅田町長 遠田 孝一**

苅田町は、産業都市として発展してきましたが、白石海岸、平尾台、広谷湿原など豊かな自然も有しています。当町では令和6年3月に「人、自然、産業の営みが協調しあう持続可能な環境で心豊かに暮らせるまち かんだ」を環境像とした第3次苅田町環境基本計画を策定し、様々な取組みを行っています。SDGsに掲げる持続可能な社会の実現を目指し、環境保全・自然共生社会を意識した行動を推進してまいります。貴会の活動により、多くの皆様が水環境に関心を持ち、活動の輪が更に大きく広がりますことを祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

北九州市長 武内 和久

「水環境保全に対するせっけん使用運動」をはじめ、長年にわたる環境問題への積極的な取り組みに敬意を表します。

北九州市では現在、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための「北九州市環境基本計画」の改定を進めています。

今後、Green×Tech（環境×技術）による持続可能な社会の実現や環境と経済の両立を目指した循環経済の推進、自然を大切にした快適で美しいまちづくりなどに取り組んでまいります。

貴会の更なる発展を心より祈念するとともに、引き続き北九州市の環境行政の推進にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

鞍手町長 岡崎 邦博

鞍手町は福岡県の北部に位置し、町の東部を遠賀川、町のほぼ中央を南北に西川が流れる水と緑あふれる自然豊かな町です。

本町では、下水道整備による公共下水道の利用促進、家庭用小型浄化槽の設置に対する補助事業による水洗化率の向上、町内一斉清掃デーの実施、事業所水質検査などを通じて、町民・事業者・行政が一体となり水環境保全に取り組んでいます。

また、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにするため、ゼロカーボンシティを宣言し、人と地球にやさしい環境を目指しています。

貴会の長年に渡る「水環境保全に対するせっけん使用運動」に対し深く敬意を表しますとともに、本活動の輪がより一層広がりますよう祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

久留米市長 原口 新五

久留米市は、九州一の大河「筑後川」が流れ、「耳納連山」とともに緑豊かで美しい自然環境を誇っています。

この環境を保全し、その恵みを享受し続けるため、「自然とふれあい、自然と生きるまち くるめ」を基本

理念に「くるめ生きものプラン」を策定し、生物多様性の保全と自然環境の持続可能な利用の施策を推進しています。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、自然と共に共生し持続可能な発展が可能な社会の構築へつながることをご祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

桂川町長 井上 利一

桂川町は、福岡県の中央部、筑豊地域の南端部に位置しており、6世紀に造られた国の特別史跡「王塚古墳」を擁し「文化の薫り高い心豊かなまちづくり」を基本理念として、人と自然が共生する街づくりを推進しています。

町内には穂波川や泉河内川などが流れおり、人々の営みを支えてくれています。

本町では、様々な環境施策に取り組んでおり、水環境保全につきましては、家庭用合併浄化槽の整備事業の推進を行い、貴重な環境資源を守り、次世代へと引き継いでいく取り組みをしています。

貴会の「せっけん使用運動」は浄化槽中の微生物、ひいては環境に優しく、豊かな自然環境の維持に期待できます。

この運動の輪がさらに広がっていきますことをご祈念申し上げます。

せっけん使用運動応援メッセージ

上毛町長 坪根 秀介

上毛町は福岡県の最東端に位置しており、東は大分県との境界部を流れる山国川、南は山々に囲まれた自然豊かな町です。人と自然の共生する郷土を作るため、地球環境にやさしい地域づくりに取り組むことを目指し、「豊かな水と緑の環境共生の町」の実現に向け、環境保全の取り組みや啓発活動を実施しています。

貴会の取り組みがさらに発展し、今後ますます活動の輪が広がっていきますよう心からご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**古賀市長 田辺一城**

古賀市は、緑豊かな山々や、白砂青松の美しい海岸線を有する海、さらにこの海にそぞぐ大根川、螢の舞う豊かな自然に恵まれた魅力あふれる都市です。

当市では大根川の一斎清掃や古賀海岸のラブアース・クリーンアップなど、多様な主体が一体となって環境美化活動を推進し、持続可能で豊かな環境の保全と継承に取り組んでいます。

「水環境」を守る視点において、美しい自然をつなぎ豊かな循環型社会の実現を目指す貴会の取組は、未来の地球のために、日々の暮らしのなかでできることを考え、行動し、持続可能で豊かな環境を次の世代に引き継ぐという本市のめざすまちの姿とも通じるものがあり、長年の取組に敬意を表しますとともに、この運動の輪がさらに広まり、多くの方々の環境意識の向上につながることをご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**篠栗町長 三浦 正**

篠栗町は、森林が約7割を占め、町の中央を多々良川が流れている水と緑の豊かな町です。「人と人、人と自然がつながる喜びのまち」を目指し、様々な事業に取り組んでいます。

きれいな川を後世に伝えるため、地域一体での清掃活動や公共下水道や浄化槽の普及・推進などをとおして、水環境の保全に努めてまいります。

「せっけん使用運動」は本町のみならず、世界にとっても大変有意義なものです。貴会が長きにわたりて取り組まれてある努力に心から敬意を表しますとともに、更なるご活躍をご期待申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ寄稿**志免町長 世利 良末**

「みんなで未来をつくるまち」を将来像に掲げている志免町は、福岡都市圏のほぼ中央に位置し、人口密度が全国の町村では1位となった賑やかな町です。

町民・事業者も一体となり、脱炭素社会を実現す

るための具体的な目標を定め、気候変動による悪影響に対応するため、「志免町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」および「志免町気候変動適応計画」を策定しました。

今後も、貴会が取り組まれております「水環境保全に対するせっけん使用運動」が、ますます広まりますことを心よりご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**新宮町長 桐島 光昭**

新宮町は、玄界灘と立花山の自然美に囲まれた、都市機能と豊かな自然の調和が魅力のまちです。

この貴重な財産である自然環境と、誰もが安心して暮らせる生活環境を持続させるため、住民、事業者、行政が一体となり「2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指す町として「ゼロカーボンシティ」を宣言し、環境問題に全力で取り組んでいます。

長年に渡る貴会の取組は本町の理念と通じるものがあり、この運動の輪がより一層広がることを心から祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**添田町長 寺西 明男**

添田町は、彦山川・中元寺川・今川の上流域にあり、下流域の多くの住民のための水供給の源となっていることから、より一層の河川浄化を進めていく必要があり、「添田町第6次総合計画」において水環境の保全と町民一人一人の環境意識の向上を重点施策として掲げ、合併処理浄化槽の普及促進や町内ボランティア団体の協力により河川環境保護活動に取り組んでいます。

貴会が「せっけん使用運動」をはじめ河川環境保護活動に長年取り組んでおられますことに深く敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますよう心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**田川市長 村上 卓哉**

石けんの使用は、水環境の保全やそれを通じた生態系の保護にも寄与する、日常生活における最初の一歩ともいえるものです。

田川市では、毎年5月に風治八幡神社「川渡り神幸祭」が県内外から多くの観客を集め開催されます。この祭りにも「水」は欠くことのできない大きな要素となっています。

水環境の保全に着目し、貴組合が長年に亘り実施されている「せっけん使用運動」の取り組みに敬意を表しますとともに、さらに多くの皆さんに理解と共感を得て広がっていくことを祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**太宰府市長 楠田 大蔵**

元号令和発祥の地である太宰府市は、「令和の都だざいふ」として市民と関係人口交流人口の相互発展、住まう人も訪れる人もともに慶び合えるまちづくりを推進しています。

本市を流れる御笠川では、市民団体が主体となり河川の清掃活動など水環境保全に取り組んでおり、生きものが住みやすく人が親しみやすい美しい水辺づくりを進めています。

貴会が「せっけん使用運動」をはじめ水環境保全運動に長年取り組んでおられますことに深く敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広がりますことをお祈り申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**大刀洗町長 中山 哲志**

大刀洗町は、福岡県の中南域を占める筑後平野の北東部、筑後川の中流域に位置し、米や麦、葉物野菜を中心とした農業を中心に発展してきました。

本町では、「第5次大刀洗町総合計画」を令和元年度よりスタートし、「町民が美しい自然環境と衛生的な環境の中で暮らすこと」を目標の姿として、環境保全の取組や啓発活動を実施しております。

貴会の「せっけん使用運動」は、環境問題への人々の意識向上に大きく寄与されており、美しい水

環境を次世代へと継承する大変有意義な活動であります。これまでの貴会の活動に深甚なる敬意を表しますとともに、今後益々のご活躍を祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**筑後市長 西田 正治**

筑後市環境基本計画では将来像を「緑に恵まれ、やすらぎと潤いがあふれる環境共生都市」としており、毎年5月の「川と水を守る運動」では住民、事業者、市の協働による市内全域で河川、水路等の清掃活動を行い、自然共生社会の実現を目指しています。

これからも自然や水環境を次世代へ引き継ぎ、持続可能な筑後市を目指してまいります。貴会の水環境保全の活動に心から敬意を表しますとともに、皆様の今後の益々のご活躍を祈念申し上げます。

「水環境保全に関するせっけん使用運動」応援メッセージ**筑紫野市長 平井 一三**

筑紫野市は、福岡県の中央部、やや西よりに位置し、中央部には分水嶺を抱え、御笠川・那珂川水系は北流し博多湾へ、宝満川水系は南流し有明海へそれぞれ注ぐ、水と緑の豊かなまちです。

本市では、「人と自然、そしてまちとの調和」というまちづくりの理念を継承しながらも、時代の変化に柔軟に対応し、いつまでも住み続けたいと思える持続可能なまちを目指すべく「ひとが輝き自然が息づく住み続けたい幸福実感都市」という将来都市像を掲げ、まちづくりを進めています。

貴会が長年にわたり取り組まれている活動に心から敬意を表しますとともに、更なるご活躍を祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**築上町長 新川 久三**

築上町は福岡県東部に位置しており、南側は大分県に隣接し山間部が広がります。そこを源とする多くの河川が北の平野を潤しながら、周防灘に注ぎます。

本町では“自然と歴史・文化を育む”心と体の健康を求める「豊かな生活の場」づくりに向けて、公共下水道の整備や浄化槽の設置補助、浄化槽汚泥や汲み取りし尿の肥料化の取り組みにより水環境保全を推進しています。

貴組合の「せっけん使用運動」を通じた水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、持続可能な未来に向けて、この取り組みのさらなる広がりを心よりご祈念申し上げます。

「水環境保全に関するせっけん使用運動」応援メッセージ**東峰村長 真田 秀樹**

清流に育まれた森閑とした山々。済んだ空に瞬く星や地上でやさしく光るホタル。東峰村はそんな自然の生命力に満ち溢れています。村では地域の特色を生かした活性化を行っています。また小石原川ダム水源地の村としても水環境の保全は重要な課題です。貴団体の長年にわたる水環境を守る活動に深く敬意を表すとともに活動の輪が大きく広がりますこと心より祈念申し上げます。

「せっけん運動」応援メッセージ**那珂川市長 武末 茂喜**

那珂川市では、2050年迄に温室効果ガス排出量の実質0を目指す「ゼロカーボンシティ那珂川」を宣言し、また、令和6年3月に第3次那珂川市環境基本計画を策定し、本市が目指す環境像「水と緑を活かし 次代に引き継ぐまち なかがわ」の実現に向け、市民や関係団体・事業者の皆様と協働で取り組みを進めており、本市のシンボルでもある那珂川の水環境保全の取組として、アユの放流や「海の日」に河川清掃活動などを実施しています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍を心より祈念いたします。

「水環境保全に関するせっけん使用運動」応援メッセージ**中間市長 福田 健次**

中間市は、「人、水、緑、みんなでつたえよう なかも」を目指すべき環境像として定め、環境保全体制・生活環境・自然環境・快適環境・地域環境の5つの分野において、取り組みを推進しています。

また、庁舎内では無添加せっけんを使用する等、環境負荷低減に向けた取り組みも積極的に行っていきます。

貴会が「せっけん使用運動」をはじめ環境保全運動に長年取り組んでおられますことに深く敬意を表しますとともに、更なるご活躍をご期待申し上げます。

2024せっけん使用運動への応援首長メッセージ**直方市長 大塚 進弘**

直方市は、福智山や中心部を南北に流れる遠賀川、彦山川など水と緑の自然に恵まれたまちです。本市では令和6年3月に第3次環境基本計画を策定し、計画に向けた重点課題の一つとして「水環境の維持・保全の強化」を掲げており、河川の清掃活動等を通じて一層の水質向上に取り組んでまいります。

貴会の取り組みに敬意を表しますとともに、今後の益々のご発展を心よりご祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**久山町長 西村 勝**

久山町は、豊かな森林と蛍飛ぶ清流が暮らしの身近にある町です。本町では、2022年3月に「カーボンネガティブ＆ネイチャーポジティブ」を宣言し、産官学民連携のもと、生態系も含めた環境保全のモデル構築を目指して取り組みを推進しています。現在は、サーキュラーエコノミーの視点でも事業を展開しています。

貴会の長年にわたる「せっけん使用運動」に敬意を表するとともに、より良い未来に向けて共に挑戦してまいります。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージについて

広川町長 氷室 健太郎

広川町は流域の肥沃な土地と温暖な気候に恵まれた豊かな自然環境の中で八女茶、いちご、ぶどう、梨などの農産物や、電照菊、ガーベラなどの花卉の生産地として全国でも認知されています。

2022年に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、それに基づき昨年度「広川町脱炭素ロードマップ」を作成しています。2050年二酸化炭素（温室効果ガス）排出量を実質ゼロの実現に向け町民、事業所、行政がオールひろかわで取り組んで参ります。

貴会が取り組まれている様々な運動は、一人一人が水環境について考え豊かな自然環境を次世代につなぐため必要な活動であると思います。この活動の輪がさらなる広がりとなることを心よりご期待申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

福岡市長 高島 宗一郎

福岡市は「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざし、人と地球にやさしい、持続可能な都市づくりにチャレンジしています。

気候変動、生物多様性の損失などの環境問題は喫緊の課題であります。これら環境問題や、その解決に向けた対策は相互に影響し合うことから、本市では、市民や事業者と連携し、脱炭素・循環経済・自然共生の統合的な取組みを推進しているところです。

長年、環境保全活動に取り組まれている貴会に敬意を表しますとともに、今後の更なるご活躍を心より祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

福智町長 黒土 孝司

福智町は福岡県の中部から北東よりに位置しており、町の中央部を流れる彦山川と中元寺川、標高901メートルの秀麗な福智山など、豊かな自然に彩られながら、これらの魅力を生かしたまちづくりを展開しています。

本町では、環境衛生の面から水質汚染防止の推進を掲げており、合併処理浄化槽の設置を推進することにより公共水域の水質汚泥を防止し、環境衛生の行き届いた環境づくりを取り組んでいます。

貴会が長年にわたる「水環境保全に対するせっけん使用運動」に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

福津市長 原崎 智仁

福津市は、東部は里山、西部は玄海国定公園を含む全長22kmの美しい海岸線に面しており、多様な自然環境と、都市的な生活環境がバランスよく調和したまちです。

本市は、豊かな自然資源と美しい景観を次世代に引き継ぐことを目指す「SDGs未来都市」であり、市民や企業など様々な主体の活動によって、美しい自然が守られています。

また、令和4年度には「ゼロカーボンシティ福津」を宣言し、誰もが安心して暮らせる持続可能で豊かな環境を次世代につないでいくために、地球温暖化防止に取り組んでいます。

今後も「人も自然も未来につながるまち、福津」の実現に向け、市民とともに歩んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境を守る活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますよう祈念申し上げます。

せっけん応援メッセージ2024**豊前市長 後藤 元秀**

里山の景色は心の栄養になる。感動あり、癒されあり、そして山野の恵みで元気もいただく。産業革命以来の工業化で暮らしが変わり、環境が変わってしまいました。工業化による経済発展と暮らしの豊かさが今の地球規模での環境破壊をもたらしています。

このような時に、大きな力を持たない私たちが子や孫の世代を困らせないようにするにはどうしたら良いのか。出来ることのひとつが水をこれ以上汚さない、ではないでしょうか。化学物質で汚染された水は最悪です。微となつた化学物質由来の物質があらゆる命を危機に直面させています。家庭から少量だけど毎日出される排水に化学物質を含ませないことが大切です。化学物質を原料にしない石鹼なら毎日出しても安心と言われています。これこそ小さな実践で、みんながやれば大きな取り組みと効果が期待できます。次を担う世代が豊かな自然に恵まれ、感動の輝く人生を生き抜けるように。みんなで実践、やりましょう。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**水巻町長 美浦 喜明**

水巻町は、遠賀川流域北部に位置する自治体です。町内には、遠賀川をはじめ、堀川や曲川などが流れ、住民の生活、文化と深い結びつきを持っています。この豊かな水環境の保全のために、便利さのみを優先しない地球にやさしい生活様式に取り組み、資源循環型社会の実現を推進しているところです。

貴団体の長年に渡る「せっけん使用運動」に深い敬意を表するとともに、今後のさらなるご活躍を祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**みやこ町長 内田 直志**

みやこ町は、福岡県の北東部に位置し、英彦山、平尾台、豊前海を臨む、豊かな自然に囲まれた町です。本町は、令和5年12月に「ワンヘルス推進宣言」を表明し、持続的で良好な生態系の中で安心して

暮らせる社会の実現を目指しています。現在、庁舎内では無添加せっけんを使用するなど、環境負荷低減に向けた取り組みを積極的に行ってています。

貴会の水環境を守る取り組みに賛同し、本町いたしましても、次世代にきれいな水と豊かな自然を繋いでいくよう、努めてまいります。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**宮若市長 塩川 秀敏**

宮若市は、福岡県北部に位置し、犬鳴川と八木山川が流れる豊かな水と緑のまちです。

本市では、第2次宮若市環境基本計画において、「水質保全対策の推進等」を重点施策として位置付け、水環境の保全に取り組んでいます。また、本市には廃油でせっけんを30年以上作り続けている誇るべき「虹の会」というボランティア団体もあります。

貴会の長年の「せっけん使用運動」に敬意を表しますとともに、力を合わせて運動を推進してまいりましょう。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ**宗像市長 伊豆 美沙子**

宗像市は、2017年に世界遺産に登録された「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群を擁する、豊かな自然と歴史・文化に恵まれた世界遺産シティです。先人たちが千年以上に渡り、大切に守り継いできた「宗像の海」を、次の世代を担う子どもたちへ残していくため、持続的に海を守る取組を展開しています。

“Save the Sea”（海を守ろう）を合言葉に、海の環境保全活動に積極的に取り組んでいる本市いたしましても、「せっけん使用運動」の想いに共感し、本活動の輪がより一層広がりますよう祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージについて

柳川市長 金子 健次

柳川市は、福岡県南部に位置し、筑後川、矢部川という一級河川が流れ、有明海に面しています。

市内にはおよそ930kmに及ぶ掘割がめぐり、独特な景観を醸し出し、特に水郷柳川の川下りは、四季折々の風情があり観光客に楽しんでいただいています。このように本市では、市民生活、農漁業、観光などすべてにおいて良好な水資源が欠かせないまちであり、「柳川市掘割を守り育てる条例」も制定するなど市が一体となって水環境を保全し、掘割を活かしたまちづくりを進めています。

貴会が市民生活者として水環境を守る活動に精力的に取り組まれておられますことに深く敬意を表しますとともに、今後とも貴会の取組がさらに発展し、活動の輪が広がりますよう心から祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

八女市長 三田村 統之

八女市は、福岡県の南部に位置しており、豊かな森林や矢部川等の大小の河川、丘陵地帯にはたくさんの茶畠があり、豊かな自然環境・農村環境に育まれた豊富な農産物や伝統文化、歴史等多数の地域資源と人の温もりにあふれています。

R3年に策定した第5次八女市総合計画の中で「美しいふるさとづくり」を掲げており、市民・事業者・行政が一体となり市の財産であるきれいな森林・河川等を守っていくよう様々な保全活動の取り組みを進める所存です。

貴会が環境保全運動に長年取り組んでおられますことに深く敬意を表しますとともに、更なるご活躍を心より祈念申し上げます。

「水環境保全に対するせっけん使用運動」応援メッセージ

行橋市長 工藤 政宏

行橋市は令和6年10月に市制70周年を迎えます。東は周防灘（すおうなだ）、西は平尾台などの山々に囲まれた、大小26の河川が流れる田園都市です。豊かな自然に恵まれた本市ですが、過去に幾度となく渇水を経験しているため、「水」への想いは切実です。

かけがえの水環境を守ることは、ふるさとを守ること。そして、地球を守ること。

持続可能な社会の実現に向け活動なさっている貴会の理念に賛同し、「せっけん使用運動」を心から応援しています。

せっけん使用運動 応援首長メッセージ

吉富町長 花畠 明

吉富町は、大分県との県境に位置し、北は周防灘、東は山国川が流れる水資源の豊かな町です。「九州一小さな町」でありながら、人口の約1割が7月の海岸清掃に参加するなど、SDGsやワンヘルスの理念が住民に深く根付いていると実感しています。

SDGs未来都市の一員として、貴会の長きにわたる「せっけん使用運動」に敬意を表するとともに、これからさらなるご活躍を心より祈念いたします。



佐賀県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

神埼市長 實松 尊徳

神埼市は、佐賀県中東部に位置し、北部に脊振山を最高峰とした山間地域を源流とする筑後川水系の城原川、田手川が流れています、南部はこれらの河川が潤す肥沃な佐賀平野に田園地帯が開け、クリークが張り巡らされています。

この美しい河川、クリークなどの水環境を将来の子どもたちに残していくために、多くの市民が参加する水路清掃や一斉ごみ拾いなど、美しい自然環境を守っていく活動が実施されています。本市では、これからも市民、地域と一体となった環境保全の取組を進めてまいります。

貴会のこれまで長年にわたる環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

佐賀市長 坂井 英隆

佐賀市は、北部には縁あふれる脊振山地、中部にはクリークが網の目のように張り巡らされた田園地帯、そして、南部には希少生物が多く生息し、日本一の数の渡り鳥が渡来する有明海の干潟が広がる、自然豊かなまちです。

このかけがえのない自然環境を未来の世代に引き継ぐために、本市では、生きものや自然に親しみを通した環境教育や、クリークや干潟の清掃活動などに取り組んでいます。

これからも市民、地域、団体や事業者などの皆様と一緒に環境保全の取組を進めてまいります。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が今後さらに拡大することを心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

基山町長 松田 一也

基山町は、昨年度、「城と翁とスキーの基山の草原」として「未来に残したい草原の里100選」に選定されたほか、秋光川をはじめとした5本の河川が町内を流れるなど、豊かな水と緑を感じることのできるまちです。

本町では、この豊かな自然を未来へつなぐため、公共下水道事業の推進や浄化槽の普及、多くの町民が参加する河川清掃活動、町内小学生を対象とした水生生物調査など、水質保全に対する興味・関心の向上に努めています。これらの活動を今後も継続して実施することで、水環境保全の推進を図っていきたいと考えております。

貴団体の長年の活動に深く敬意を表すとともに、今後ますますのご発展を心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

鳥栖市長 向門 慶人

本市は、北に九千部山の雄大な山並み、南に悠然と流れる筑後川、その間に市街地のあるなだらかな丘陵地帯と田園地帯が広がる等、自然環境に恵まれた都市です。

この豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、行政だけではなく、市民、市民活動団体、事業所等が連携して環境保全の取組を進めていく必要があります。

のことから、本市は2023年12月に「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、更に2024年1月には国が推奨する脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動「デコ活」に参加し、更なる環境保護の推進に努めています。

貴会におかれましては、せっけんを通じて長年環境保全活動に尽力されていることに対し、深く敬意を表します。今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

みやき町長 岡毅

みやき町は、北部九州の中央に位置しており、脊振山系に源を発した寒水川、切通川などが、なだらかな丘陵地帯と田園地帯を流れて筑後川に注いでおり、水に恵まれた自然豊かな町です。

本町は、環境保全に対する意識を高めるとともに、この自然豊かな環境を次世代へつなげるよう努めており、今後も、住民と行政が協力し、やすらぎのあるまちづくりを進めてまいります。

そのような中、せっけんの普及活動を通じて、水環境保全に長年取り組まれている貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、活動の輪が今後も大きく広がりますことを心よりご祈念申し上げます。

**長崎県**「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大村市長 園田 裕史

大村市には、多良山系を水源とする郡川をはじめ、大上戸川、内田川、鈴田川などの二級河川が流れています。これら全てが大村湾に流入しています。

河川からゴミの流入を未然に防ぐため、大村湾沿岸市町で構成する「大村湾をきれいにする会」との協働を通じて、水環境保全活動に対する意識の向上を目的とし、「大村湾沿岸一斉清掃」、「市民大清掃」などを実施しています。

また、SDGsの理念のもと、市民・事業者・行政が一体となった「オール大村」で2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにすることを目指し、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けた取り組みを進めています。

貴会の長年にわたる活動に心から敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

雲仙市長 金澤 秀三郎

雲仙市は、昭和9年に日本で最初の国立公園として指定を受け、本年3月に90周年を迎えた「雲仙天草国立公園」をはじめ、橘湾や有明海を望む美しい海岸線や、普賢岳、雲仙地獄といった雄大な自然環境を有しています。

本市では「人と自然が共存する 潤いのまち雲仙」を環境像とする雲仙市環境基本計画に基づき、市民・事業者・行政が連携して環境保全活動に取り組んでいます。また、令和5年2月に表明しました、「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて再生可能エネルギーの活用、省エネルギー活動にも取り組んでいるところです。

貴会の長年にわたる、水環境保全の取り組みに敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**佐世保市長 宮島 大典**

佐世保市は、「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟認定を受けた九十九島湾や、リアス海岸と大小の島々からなる西海国立公園九十九島など、豊かな自然に囲まれた街です。

このかけがえのない豊かな自然環境を守るために「佐世保市環境基本計画」を策定し、より一層の環境保全に取り組んでいます。

また、自然と共に存する持続可能な社会を実現するため、多種多様な主体が連携して環境、経済、社会の課題解決に向けた取組の支援を行ってまいります。

せっけんを通して水環境保全活動に取り組んでおられる貴会の活動に心から敬意を表しますとともに、活動の輪が一層広まりますことを祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**島原市長 古川 隆三郎**

島原市は長崎県の南東部に位置し、西は雲仙普賢岳、東に有明海を望む風光明媚なまちで、古くから「水の都」と呼ばれており、市内のいたるところから、水が湧き出しています。

その湧水数は70か所を超えて、生活用水として利用されていることなどから、島原湧水群は日本名水百選にも選ばれています。

この豊かな自然環境を未来に残していくためには、市民・事業者・行政がそれぞれの役割を果たしつつも協働し、環境保全に取り組んでまいりたいと考えています。

今後も貴会の「せっけん運動」などの環境保全活動の輪が、さらに広がっていくこと祈念いたします。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**時津町長 山上 広信**

時津町は県の南北を結ぶ国道と県央へ続く国道が交差し、交通の要衝として賑わう一方、海・山に囲まれた豊かな自然環境を活かし、鳴鼓岳自然公園や崎野自然公園の施設整備など、賑わいと住みやすさのあるまちづくりに取り組んでいます。

また、漁業組合やNPO団体と協働で行う海岸清掃や、内海である大村湾へ流入する5河川の水質調査を毎年実施するなど、美しい水環境を次世代に引き継いでいくための活動を積極的に行ってています。

貴会の長きにわたる水環境を保全する取組みに敬意を表しますとともに、本活動の今後一層の発展を心より祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**長崎市長 鈴木 史朗**

長崎市は山と海に囲まれた自然豊かな環境と異国情緒豊かな街並みが魅力の街です。

長崎市では毎年5月に市内の河川80箇所でホタルの飛翔調査を行っており、その情報を公開することで、市民に初夏の風物詩であるホタルを楽しんでもらい、長崎市の自然の豊かさを感じもらっています。また、夏休みには、海や川、山で親子環境教室を開き、親子で自然に親しむ機会を設けるなど、自然豊かな環境を未来へ引き継ぐための取組を進めています。

貴会の長年に渡る活動に深く敬意を表しますとともに、今後益々のご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

長与町長 吉田 慎一

長与町は、町の中心を走る長与川沿いと丘陵に立ち並ぶ団地、さらにその周りを山々と大村湾に囲まれた、自然豊かな町です。

本町では、訪れたい、住んでみたいと思える町を創るために、豊かな自然や美しい景観といった資源を最大限に活かし、町の活性化と魅力向上を図ることが必要であるという考え方のもと、第10次総合計画に沿って、快適で持続可能な生活環境づくりを進めています。町民が一丸となって取り組む町民一齊清掃をはじめ、大村湾一齊清掃や長与川清掃といった活動を通して、豊かな自然環境や自然景観を町の財産として保全しております。

貴会の長年に渡る活動に深く敬意を表しますとともに、益々の御発展を祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

南島原市長 松本 政博

南島原市は、島原半島の南東部に位置し、雲仙天草国立公園をはじめ、戸の隅の滝、鮎帰りの滝、谷水棚田、白浜・前浜海水浴場など水と緑が豊かな自然環境を有しており、きれいな水を使用した「島原手延べそうめん」の産地としても全国に知られています。

市では、美しい自然環境を守り育てるため、地元小中高生・海岸保全団体と連携した海岸清掃活動や河川・湖沼の水質浄化を目的とした環境浄化地域づくり事業を実施するなど市民と一緒に活動と展開しております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じた水環境保全活動に敬意を表するとともに、貴会の益々のご発展とご活動の幅が広がりますよう心より祈念申し上げます。

熊本県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

天草市長 馬場 昭治

天草市は、雲仙天草国立公園や日本初の海中公園である牛深海域公園に指定されている自然豊かな地域で、イルカやアマクササンショウウオなど多種多様な生物が生息しています。

本市では、第3次天草市総合計画の将来像を『ともにつながり幸せ実感宝の島“天草”』と定め、その実現に向けた理念の一つに「自然と共生するまち」を掲げて、自然環境の保全や自然資源の活用の取り組みを進めております。市民が本市の豊かな自然に誇りと愛着を持ち、今ある自然環境を守り続けていくことが大事です。

このような中で、貴団体の「せっけん運動」は、市民が日々の生活の中で簡単に取り組める環境保全活動ではないかと思います。この取組が水資源や環境の保全を考えるきっかけとなり、活動の輪が一層広まることを期待しています。

貴団体の長きにわたる活動に対して敬意を表しますとともに、益々の御発展をお祈り申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

荒尾市長 浅田 敏彦

荒尾市は、東に小岱山、西にラムサール条約湿地に登録された荒尾干潟がある自然豊かなまちです。

荒尾干潟の学習拠点である水鳥・湿地センターは今年で開館5周年を迎え、荒尾干潟の魅力や重要性などを次世代へ繋ぐため、干潟の情報発信や地域の方々とともに清掃活動を行っています。また、海に影響を及ぼす生活排水等で美しい干潟の姿を失わないために、浄化槽設置の補助なども行っております。

我々の生活に欠かせない水環境の中で、貴会のせっけんを使用する取り組みは素晴らしい取り組みであると考えており、貴会の長年にわたる活動に深く敬意を表すとともに、今後の更なる発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけん運動ネットワーク機関誌」に寄稿する首長メッセージ

宇城市長 守田 憲史

宇城市は、熊本県のほぼ中央に位置し、美しい田園風景や不知火海の文化に彩られた自然景観をはじめ、初夏には市内各所にてホタルの乱舞が見られるなど、清らかな水辺環境も残る自然豊かな地域です。

この豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐため、2022年に「第2次宇城市環境基本計画」の中間見直しを行い、水環境対策として、合併処理浄化槽設置補助や地下水及び河川の定期的な水質検査を行っています。

また、環境月間である6月には「市民環境美化運動」として、市内全域で道路や河川のごみ拾いや除草作業を実施しています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表するとともに、活動の輪がより一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

宇土市長 元松 茂樹

宇土市は、熊本県のほぼ中央部、広大な熊本平野の南部に位置し、南には宇土半島の山々を、西には有明海を、北には緑川河口域の肥沃な土地が広がる自然豊かな都市です。

本市には、国内現役最古の上水道「轟泉水道」があり、日本名水百選に選定されている「轟水源」から石造の水道管を使用し、総延長4.8kmにわたって現在でも生活用水として市民に利用されています。

このように水と共に長年歩んできた本市にとって、水環境保全活動を、行政と市民とが共同で次世代へつないでいくことは、使命であると考えております。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」を通じ、生活に欠かすことのできない水資源を保全していく意識を市民の皆様が持てるよう本市もご協力させていただきます。

今後もこの活動がますます発展していきますことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

大津町長 金田 英樹

大津町は、世界有数のカルデラを有する阿蘇の玄関口として、豊かな水資源や田園地帯、美しい森林に囲まれた自然豊かな町です。町のすべての水源は、大自然にはぐくまれた良質な地下水を豊富に蓄えた地下水プールによって賄われています。

本町では豊かな水環境を守るために、転作前や稻刈り後の冬場の水田に水を張る湛水事業、企業や団体、家族などがオーナーとして田植えや稻刈りを体験できる水田オーナー制度事業への協力を行うなど、年間を通じて地下水涵養の取り組みを行っております。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に対し敬意を表しますとともに、貴会の益々の発展と環境問題への関心及び保全活動の輪が一層広がることをご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

小国町長 渡邊 誠次

阿蘇郡小国町は筑後川の源流に位置しており、安全で豊かな水を都市部へ送り出す上流地域としての責任を感じております。

恵まれた森や水源を持つ小国町では、町を挙げて保全活動に尽力してまいりました。また、SDGs未来都市として町独自の地域資源を活かしながら、環境面に貢献する政策を進めてきました。今後も環境面に貢献するまちづくりを目指していきます。

貴会の水環境保全への活動に敬意を表するとともに、保全された水環境が後世に引き継がれることを期待し、ますますのご発展を祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

上天草市長 堀江 隆臣

上天草市は、熊本県の南西、天草地域の玄関口に位置し、白嶽をはじめとする九州自然歩道からの眺望など景勝地として四季折々に美しい表情を見せる自然豊かなまちです。

本市では、令和4年度に上天草市「ゼロカーボンシティ」を宣言し、市民・事業者・行政が一体となりCO2削減やごみの減量化に取り組んでいます。

また、本市の特徴である海や海岸等の豊かな自然環境の保全を維持するため、環境の日の一斉清掃や地域の海岸清掃活動を支援し、次の世代に美しい自然を引き継ぐことに努めているところです。

貴会の「せっけん運動」を通じた、長きに渡る水環境保全に対する取り組みに深く敬意を表しますとともに、今後も活動の輪が一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

菊池市長 江頭 実

菊池市は、菊池渓谷や菊池温泉など、豊かな自然環境に恵まれた都市です。豊富な水資源が育んだ肥沃な大地を活かし、西日本有数の農林畜産業の発展につながっています。

本市は恵まれた自然環境を守るために、河川監視活動や水質検査に取り組んでおり、子ども達にも地球温暖化を防止する環境教育を進めております。環境王国やSDGs未来都市にも認定されており、この先人からつながれた豊かな自然環境を次世代に引き継ぐため、今後もカーボンニュートラルや地域の活性化の実現に向けて取り組みを進めてまいります。

長年にわたる貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後の活動が、より良好な環境の創出につながりますようご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

菊陽町長 吉本 孝寿

菊陽町は阿蘇から流れる白川の中流域に位置し、阿蘇山の噴火で堆積した水を浸透しやすい土台により、地下には豊富な地下水が存在する水環境に恵まれた町です。水資源の恩恵を受け本町では多様な農産物が栽培され、また多数の半導体企業が立地しております。この安全で良質な水環境を保全するため町民の皆様にご協力をいただき、河川の清掃活動を行ったり、節水意識の高揚に努める為雨水浸透枠や雨水タンクの購入には補助金を交付しています。今後も水のありがたさを認識し、熊本の宝である「地下水」の保全に取り組んで参ります。

最後になりますが、貴会の活動の輪がこれからも広がり、益々ご発展されますよう心よりご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

玉東町長 前田 移津行

玉東町は、熊本県北に位置する人口5千人程の町です。温州みかんをはじめとするフルーツの栽培が盛んで、特に“幻のすもも”と呼ばれる「ハニーローラー」は日本一の栽培面積を誇ります。

町では、2022年に「2050年ゼロカーボンシティ」の宣言を行い、町民と共同で取り組む廃油回収や河川一斉清掃。また、水質汚染の原因となる生活排水対策として合併浄化槽の普及等、持続可能な未来に向けて様々な環境保全の取り組みを推進しています。

水は命の源です。貴会の長年にわたる水環境の保全活動に敬意を表するとともに、今後とも貴会の活動がますます広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

熊本市長 大西一史

熊本市は、74万市民の水道水源の100%を地下水で賄う、「世界に誇る地下水都市」です。本市では、この豊かな地下水を後世へ確実に引き継いでいくため、長年にわたり、市民や事業者の皆様、そして行政が一丸となって地下水保全活動に取り組んでいます。

2024年5月にインドネシアのバリで開催された「世界水フォーラム」では、こうした取組を世界に向けて発表し、改めて高く評価いただいたところです。本市では、引き続き、豊かな地下水の保全に取り組むとともに、その魅力を国内外に広く発信してまいります。

貴会の水環境保全への取組を通して、より多くの皆様が環境保全に関心を持ち、活動の輪が更に広がりますことを心から祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

合志市長 荒木義行

せっけんの利用促進を通じ、環境を守る取組みを推進される貴団体に敬意を表します。

さて、本市には、北に菊池川の支流である上生川や塩浸川、南には坪井川支流の堀川が流れおり、廃油せっけんのPRや河川清掃活動などによる水環境の保全に取り組んでいるところです。

また、塩浸川では例年ホタルの飛翔が見られております。

このように、豊かな水環境に恵まれており、これを次世代へ繋げていくことが私たちの使命であると考えています。

今後とも、貴団体の活動の輪がますます広がり、「せっけん運動」がさらに発展されますよう心より祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

玉名市長 藏原 隆浩

石けんの利用促進運動を通じ、美しい環境づくりに努めておられます貴団体の活動に心から敬意を表します。

玉名市では、天水地区に石けん加工施設を設置

しています。この石けん加工施設は、一般の方も利用可能であり、廃油石けん作りなどが行われています。施設を利用していただくことを通じて、水環境の大切さをより身近に感じてもらうことができればと考えています。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」を通して一人ひとりが環境を意識し、暮らしを見なおすきっかけとなることを願っています。

今後も貴団体のより一層のご活躍に心からご期待申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」メッセージ

長洲町長 中逸博光

長洲町は熊本県北西部に位置し、有明海に面した自然豊かで、造船業やサッシ業等の企業を有する工業の町であり、全国有数の金魚の町でもあります。

この自然と産業が融合した環境を未来へ残すため、当町では、福岡大学と熊本北部漁協と連携して干潟再生への取り組みを行うなど、有明海などの水質保全を図っております。また下水道普及率は県内有数の約96%であり、生活排水の適正な処理による、保健・衛生の向上に努めています。

貴会が推進されておりますせっけん運動は、大変有意義な活動だと認識しております。

貴会の活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展とご活躍を心より祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

和水町長 石原佳幸

和水町は、菊池川と緑の山々、江田船山古墳や田中城跡などの歴史的資源を有しています。また、初夏には町内の各所でホタルを鑑賞することができる豊かな自然に恵まれた町です。

このふるさとを次世代の子ども達に大切に受け継ぐため、町内一斉清掃や河川清掃等の環境活動には町全体で取り組んでおり、和水町の自然や環境に感謝し、体感することを目的とする「山太郎祭」を開催しています。

このような中、貴会の「せっけん運動」は、身近な環境活動として大変有意義であり、この運動の輪が一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて**南関町長 佐藤 安彦**

南関町は福岡県との県境に位置し、南関町を源流とした河川があり荒尾市から福岡県大牟田市を経由し、有明海にそいでいます。

この河川の支流では例年町内のいたるところでホタルの乱舞をみることができ、この豊かな水環境を次世代に引き継ぐため公共下水道や合併処理浄化槽の整備推進、河川水援隊の河川パトロール、地域での河川一斉清掃や水生生物教室等を通した子どもたちへの環境学習など水環境の保全活動に取り組んでおります。

今後もこの恵まれた環境を後世につなげていくため、町としても鋭意努力してまいりますとともに、貴会の取り組みの輪が更に広がり発展しますことを心よりご祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」への町長メッセージ**氷川町長 藤本 一臣**

氷川町は、熊本県の中央部に位置し、中山間地域から平野部には町名の由来にもなっている清流氷川が流れしており、豊かな水資源の恩恵を受けて発展して参りました。

この豊かな水資源を次世代に引き継ぐための取り組みの一つとして、EM発酵液の普及・啓発活動に取り組んでおり、町内の全小・中学校を始め、地区の老人会や子ども会等の地域団体や農家でも使用され、町全体で水環境の保全を図っているところです。

当町の下水道普及率は88.0%と高い水準にあり、下水道対象区域外でも、合併処理浄化槽設置補助等の活用による生活排水対策を推進し、水環境の保全に取り組んで参ります。

貴会の長年にわたる「せっけん運動」の取り組みに深く敬意を表すとともに、貴会の益々のご発展とご活躍を心より祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて**益城町長 西村 博則**

益城町は、平成28年熊本地震により甚大な被害を受け「美しいふるさとの姿」が奪われましたが、全国の皆様の温かいご支援により、復旧・復興が着実に進んでおります。

さて、町域を流れる木山川、赤井川、秋津川、金山川などの河川は、すべて緑川流域加勢川水系に属し有明海へ注いでいます。

次世代に、本町の貴重な資源である「きれいな水と豊かな自然」を残すため、環境にも人体にも安全性の高いものを使用することが大事です。第6次益城町総合計画におきましても、自然環境の保全や活用に対する意識・关心の向上を図る取組みの必要性を謳っております。

結びとなりますが、貴団体の長年にわたる「水環境保全活動」への取組みに敬意を表すとともに、益々のご活躍を心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**美里町長 上田 泰弘**

美里町は、熊本県のほぼ中央に位置し、総面積の4分の3を占める森林地域の一部は九州中央山地国定公園にも指定されています。また、町を貫流する緑川やその支流など、豊富な水資源と美しい棚田が広がる自然豊かな町です。

町の大切な水資源である緑川は、13市町村、流域人口約54万人の生活を支える一級河川であり、その上流部に位置する美里町では、緑川の清流を下流部、そして将来へ引き継いでいくため、公共浄化槽等整備推進事業、緑川流域清掃活動、河川及び地下水の水質検査を実施し水環境の保全に努めています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がより一層広がりますことを心から祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月シャボン玉月間」に寄せて

南阿蘇村長 吉良 清一

南阿蘇村は、県北東部に位置し豊かな自然に恵まれた村です。環境省の「名水百選」に選定された白川水源などの湧水群があります。

村としても自然環境を維持し、次世代に引き継ぐため、行政をはじめ住民、事業者が共に力を合わせて取り組むことが重要あります。

その中で、阿蘇地域の草原維持に努めるとともに、村として令和6年から雨季湛水事業を実施、「地下水の安定化と環境保全」に、これからも、積極的に取り組んで参ります。

貴会の長年にわたる運動に敬意を表するとともに今後も活動発展と水環境の保全と意識向上の取り組みの輪が広がることをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

南小国町長 高橋 周二

南小国町は、九州の中央部、熊本県の東北部に位置しており、九州最大の河川である筑後川の源流が流れる自然に恵まれた町です。

今年の「シャボン玉月間」の合言葉は、「あなたの選択で未来が変わる～始めようせっけん生活～」ということで、本町におきましては、現在の水環境を未来の世代へ繋げるため、水質検査や清掃活動、また水質事故に対する備えなど、水環境の維持や汚染の防止に努めているところです。この活動を継続し、環境に優しい暮らしに貢献したいと考えています。

結びに、貴会が長年にわたり水環境を守る活動の一端を担ってこられたことに敬意を表すとともに、環境保全に資する活動の環がさらに広がりますことを祈念申し上げます。

「せっけんを使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

御船町長 藤木 正幸

御船町は、九州のほぼ中央に位置し、3つのインターチェンジを有する交通アクセスに優れた町です。また「くまもと名水100選」に選定された「吉無田水源」を有する自然豊かな町です。

この豊かな自然を未来に残すため、御船町では

町内の小学生を対象に「わくわく環境教育教室」を実施し、ごみの処分・リサイクルの方法や、節水意識の向上への取組など環境保全について学習をする機会を設けています。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に対し敬意を表しますとともに、益々の御発展と環境問題への関心及び保全活動の輪が一層広がることを御祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

八代市長 中村 博生

本市は、九州のほぼ中央に位置し、日本三急流の一つである球磨川がもたらす豊富な水資源の恩恵を享受しながら、農業や製造業を中心に発展してきました。

この豊かな水環境を次世代に受け継いでいくため、水質調査や清掃活動等の保全活動に取り組んでおります。

貴会のせっけん運動は、このような水環境の保全の観点から、大変意義深いものであると同時に、そうした身近な取り組みが、住民一人ひとりの環境意識の向上につながっていくものと考えます。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後も益々活動の輪が広がることを心より祈念申し上げます。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」へのメッセージ

山鹿市長 早田 順一

山鹿市は豊かな水資源や緑深い山々に恵まれた自然環境、装飾古墳や豊前街道に代表される歴史環境、各地に湧出する温泉や四季を彩る祭りといった生活環境等、誇るべき環境資源に恵まれております。

この豊かな環境の源は、市内中心部を流れる菊池川とその支流であり、古代から続くストーリーは『米作り、二千年にわたる大地の記憶～菊池川流域「今昔『水稻』物語～』』として日本遺産に登録されております。このような環境資源をよりよい形で次世代に引き継ぐため、今後も生活排水対策や水環境を保全するための意識向上に努めてまいります。

貴会の取り組みに敬意を表しますとともに、せっけん運動の輪がより一層広まることを心より祈念いたします。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

山都町長 坂本 靖也

山都町は九州のほぼ中央に位置し、町のシンボルでもあります「通潤橋」は昭和35年に国の重要文化財に指定、令和5年9月には国宝に指定されるなど、豊かな歴史と文化が息づいています。日本最大級の石造アーチ水路橋である通潤橋は、今でも白糸台地の棚田を潤し、美味しいお米や野菜、さらには澄んだ水と空気を産出しています。

こうした恵まれた環境は、貴会がひたむきに取り組まれてこられた活動の賜物でもあります。これからも貴会とともに、豊かな歴史や文化、地域資源を守り伝えていくことの大切さを、正しく理解し、取り組みを深めていく決意です。貴会の活動が一層広がり、さらなる環境保全に繋がることを心からご祈念申し上げます。



大分県

「シャボン玉月間」に寄せて

大分県知事 佐藤 樹一郎

大分県は、九州の屋根と称されるくじゅう山系を始め、緑豊かな山々に囲まれています。こうした山地から流れてくる清らかな水流は、大野川・筑後川などに豊富な水の恵みをもたらしています。

この豊かな水環境を守り、引き継いでいくため、県民総参加の運動「おおいたうつくし作戦」を展開してきましたが、企業の環境対策などに社会的価値を付け、経済の発展も促していく取組にステップアップさせるため、新たに「グリーンアップおおいた」として、「恵み豊かで美しく快適な環境先進県おおいた」の実現を目指していくことにしています。

貴団体の長年にわたる水環境保全の取組に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて

宇佐市長 是永 修治

宇佐市は、九重山系に通じる緑豊かな森林、広大で肥沃な宇佐平野、豊富な魚介類を育む豊前海、それらを繋ぎ地域を潤す駅館川など豊かな自然環境に恵まれています。

これらの豊かな自然環境の中には、国指定特別天然記念物のオオサンショウウオや生きた化石として知られるカブトガニなど希少な動植物が生息しています。

このような豊かな自然環境や生態系を保全し、未来の世代に継承するため、昨年度策定しました第2次宇佐市環境基本計画に基づき、干潟や河川など水環境の保全に取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境の保全活動に深く敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がより一層広がりますことを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**臼杵市長 中野 五郎**

臼杵市は、大分県東南部に位置し、豊後水道に面した臼杵湾に臨み、国宝臼杵石仏や城下町のたたずまいを今も残し、穏やかな気候や豊かな自然環境を活かした農業や漁業、醸造業、造船業が盛んなまちです。

このような素晴らしい環境を未来へ引き継ぐため、臼杵市環境基本計画に基づき、環境に関する施策を総合的かつ計画的に推進しているところです。

また、今年9月には、臼杵市パークゴルフ場がオープンします。市民の皆様はもとより、市外・県外の方々にも、臼杵市でパークゴルフを楽しんでいただきたいと思います。

貴会の長年にわたる水環境を守る活動に敬意を表しますとともに、今後、活動の輪がより一層広がりますよう心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**大分市長 足立 信也**

大分市は、別府湾、高崎山をはじめとした山々、大野川、大分川の二大河川などの豊かな自然に囲まれています。私たちはこの貴重な自然環境を将来の世代へより良い状態で継承していかなければなりません。

本市では、「自然と共生する潤い豊かなまちづくり」を基本的な政策に掲げ、市民・事業者・行政の連携のもと、人と自然が共生する都市を目指し、環境保全の取組を進めているところです。

こうした中、せっけんの改良や普及を入り口とし、広く環境問題に目を向け取り組む貴会の活動は、美しい自然を次世代に引き継ぐ本市の取組に大きく寄与するものと考えております。今後とも貴会の活動の輪がより一層広がることを心から祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**杵築市長 永松 悟**

杵築（きつき）市は、瀬戸内海に面した九州北東部にある城下町です。また、別府湾と近接する守江湾の干潟には、2億年前から姿を変えず命を繋い

でいる「生きている化石」と呼ばれるカブトガニが生息しており、川清掃の美化活動に取り組む団体があるなど、市民の環境意識は非常に高いと思っています。

当市では、家庭から排出される食用廃油を回収し、再生事業者に引き渡す団体に対し補助金を交付する制度があり、毎年1千リットル近くの廃油をバイオディーゼル燃料に精製しています。

今後も、貴会の活動による「せっけん運動」などをはじめ、環境保全活動の輪が広がることを心から祈念いたします。

**シャボン玉月間に寄せ****佐伯市長 田中 利明**

大分県南部に位置する佐伯市は、温暖な気候の下、祖母傾国定公園の一角をなす森林地域、日豊海岸国定公園に指定されたアーリアス式海岸地域、九州有数の清流番匠川水系等に育まれた田園地域からなり、903km²の九州一広大な面積を有しています。水産資源が特に豊富で「佐伯の殿様浦でもつ

浦の恵みは山でもつ」との諺は、およそ400年前から今に言い伝えられ、海山川の資源の繋がりを意識しながらの営みが受け継がれてきました。

こうした背景を踏まえ、当市では、「経済・社会・環境」の3つの側面に配慮した取組による、さいきオーガニックシティ「人と自然が共生する持続可能なまち」を目指しているところです。

貴会の長年に渡る環境保全活動に深く敬意を表しますとともに、水環境保全活動の輪がさらに広がることを心より御祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**竹田市長 土居 昌弘**

竹田市は、大分県内を流れる大野川の源流に位置しており、南は祖母・傾山系、北はくじゅう山系に囲まれた自然豊かな地域です。それぞれの山々が育む湧水は日本名水百選にも選ばれ、その恵みを活かした農業や観光が基幹産業となっています。また、そこに息づく生き物は多様性に富み、国立公園内には絶滅危惧種をはじめ希少な動植物が生息しています。

奇しくも今年12月には阿蘇くじゅう国立公園指定90周年を迎え、この豊かな自然環境を守り、次の世代に引き継ぐために、環境を守る活動を一層推進していくかなければならないと考えます。貴会のこれまでの活動に心から感謝を申し上げますとともに、活動の輪がさらに広がることを心底から念願申し上げます。

「7月はシャボン玉月間」に寄せて**津久見市長 石川 正史**

津久見市は、豊後水道に面した津久見湾を囲うようにして伸びるリアス海岸と、山地斜面のみかん栽培の段々畑、市街地には、石灰の岩肌がむきだしになつた採掘場跡や鉱山など独特な景観を有しています。

当市では、「第2次津久見市環境基本計画」において、「美しい津久見の環境を次世代につなぐまち」を望ましい環境像に掲げ、その実現に向けて、市民・事業者・行政が連携し環境保全に取り組んでいるところです。

貴会の長年の活動に敬意を表しますとともに、貴会が取り組む「せっけん運動」の輪が一層広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**中津市長 奥塚 正典**

中津市は大分県の北西部に位置し、緑豊かな耶馬渓の山々、水量豊富な山国川、多種多様な生物が生息する中津干潟など、山・川・海の豊かな自然に恵まれ、地域の人々の暮らしを支えています。

本市では「中津市環境基本計画」に基づき、多種多様な生物が生息する中津干潟等における自然保護活動や環境学習を通じ水環境に対する意識の

醸成を図り、市民・事業者・行政が一体となって協働しながら人と自然が共存する「環境共生都市なかつ」のまちづくりに取り組んでおります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動のご尽力に深く敬意を表しますとともに、今後もますます活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**日出町長 本田 博文**

日出町は、大分県の鹿鳴越連山を背に別府湾を臨む、海と山に囲まれた自然が豊かなまちです。

鹿鳴越連山に降り注いだ雨水は地下に浸みこみ、長い年月を経てミネラルを含んだ良質の水となつて町内の至る所から湧き出ており、生活用水や農業用水として利用され、まちを支えているだけでなく、住む人に安らぎと癒しを提供しています。

この恵まれた水資源を将来に引き継いでいくため、地域・各種関係団体と連携し一体となって、自然と調和した美しいまちづくりを進めているところです。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に深く敬意を表すとともに、活動の大切さが多くの人々に理解され、今後活動の輪がますます広がることを心からお祈り申し上げます。

「7月はシャボン玉月間」に寄せて**日田市長 桜野 美智子**

日田市は大分県の西部に位置し、周囲を阿蘇、くじゅう山系や英彦山系の美しい山々に囲まれた盆地のまちで、これらの山々で育まれた豊富な水に恵まれていることから「水郷（すいきょう）ひた」と呼ばれています。

本市は、この豊かな水資源を次世代に引き継いでいくため、令和3年に「水郷ひた河川を美しくする条例」を制定し、河川環境への市民意識向上に努めています。

今後も、恵まれた自然環境を守り生かすため、市・市民及び事業者等が互いに協力しながら河川水質の保全や水質汚濁の防止に必要な取組を推進してまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、活動の輪がさらに広がることを心からご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**豊後大野市長 川野 文敏**

豊後大野市は、農地・山林の面積が多く、祖母傾国定公園、大野川・奥嶽川・白山川の清流などの豊かな自然環境に恵まれています。そこには、さまざまな生き物が生育・生息しています。その自然環境により、「祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク」・「おおいた豊後大野ジオパーク」・「緒方川と緒方盆地の農村景観」に選定されております。

本市では、限りある資源を大切にし、今後も有効利用していくため、循環型社会の構築を目指すとともに、「豊かな自然・地域を未来へつなげる」まちづくりに取り組んでまいります。

貴会の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表し、「せっけん活動」の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**豊後高田市長 佐々木 敏夫**

豊後高田市は、大分県の北東部に位置しており、国の登録記念物（名勝地関係）に指定された「真玉海岸」や、花とアートの岬「長崎鼻」などの美しい景観を持つ海岸があり、また国の重要文化的景観に選定された「田染荘小崎の農村景観」では、クヌギ林が適切に管理され、涵養された水源が水田農業や多様な生態系を育んでおり、里山と農村の美しい景観を形成しています。

この豊かで美しい自然を未来につなぐため、「豊後高田市環境基本計画」に基づいた持続可能な開発目標（SDGs）の取り組みを進めているところです。

貴会の水環境を守る活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の輪がさらに広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**別府市長 長野 恭紘**

別府市は、阿蘇くじゅう国立公園に属する由布・鶴見岳を背後に別府湾へと広がる扇状地で、緑豊かな山々と波静かな別府湾に囲まれた風光明媚な日本有数の温泉地です。別府市の温泉は、源泉数2,839孔、湧出量は毎分102,671Lにも及びます。

当市では、自然と共生し環境への負荷の少ない循環型社会の実現を目指し、環境保全に関する施策の総合的、計画的な推進を図るため、別府市環境基本計画（第2次）を策定しています。「共生」「循環」「国際的取組」「参加」を4つの基本目標に掲げ、人と自然が共生するまちを目指して、多様な自然環境の保全を行うために多様な主体と連携し、かけがえのない財産である自然環境の保全に向けた取り組みを推進しております。

貴会の長年の取り組みに敬意を表するとともに、今後も自然環境を保全する活動を主体として、貴会の益々のご発展と、「せっけん運動」の輪が一層広がりますようご祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**由布市長 相馬 尊重**

由布市は、日本名水百選の男池湧水群をはじめ、小田の池の湿原植生や由布川峡谷など、豊かな水と緑がもたらした優れた自然環境に囲まれております。

未来を担う子供達にこの豊かで美しい環境を将来に残すべく、これまで小・中学校や公民館にて環境学習を行ってまいりました。

自然環境の現状を知り、保全・改善に向けて取り組むことは、将来にきれいな環境を残していくこともあります。

現在、貴会が取り組まれている「せっけん運動」は、一人ひとりの心がけによる自然環境保護活動として大変意義深く、心から敬意を表する次第です。

今後も、貴会が益々発展され環境保全活動の輪がさらに広がっていくことを心からご期待申し上げます。

宮崎県

「シャボン玉月間によせて」

国富町長 中別府 尚文

国富町は、多くの緑に囲まれ、中心部の南北に一級河川である本庄川と深年川が流れる自然環境に恵まれたまちです。

この豊かな自然環境を守り、育み、そして後世に引き継ぐには、私たち一人一人の日頃からの取り組みが大事になります。

本町では、「国富町河川をきれいにする条例」を制定し、公共下水道への接続推進や合併浄化槽設置推進などの生活排水対策を計画的に進めているほか、地域による河川・道路の清掃活動等を実施し、環境保全に努めています。

貴会の長年にわたるせっけん運動への取り組みと水環境保全活動に対して敬意を表しますとともに、人々の水環境への関心がさらに高まるごとに祈念いたします。

「石けん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

小林市長 宮原 義久

小林市は、南西部には霧島連山が、北部には九州山地の山岳が連なり、緑豊かな森林や高原が開け、清らかな溪流美を誇る河川や湧水などの水資源にも恵まれるなど、豊かな自然環境に恵まれています。

この恵まれた自然環境を未来世代へ引き継いでいくため、本市では、全国で数少ない「水資源保全条例」を制定し、貴重な財産である水資源の保全に努めています。また、市民の皆様にも、家庭から出る廃食用油のリサイクル回収や女性団体による廃油石けん作りなど、環境に配慮した取り組みにご協力いただいているところです。

長年にわたり、水環境の保全活動にご尽力されている貴会の「せっけん運動」に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことをご期待申し上げます。

「シャボン玉月間によせて」

日南市長 高橋 透

日南市は、その総面積の約80%を森林が覆い、多くの河川が流れる自然に恵まれた市です。酒谷川や広渡川等の恵まれた水源を生かし、焼酎や醤油の製造なども盛んに行われております。

本市では、「未来につなぐ恵み豊かな自然と人が共生するまち にちなん」を目指して「第二次日南市環境基本計画」を策定しており、この計画に基づき、生活排水の浄化を推進し、水質環境の保全に努めています。

水辺環境を守り、自然豊かな美しいまちを次世代に継承することは、今を生きる私たちの重要な責務です。環境保全活動を長年続けられている貴会に深い敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間によせて」

延岡市長 読谷山 洋司

延岡市は、九州でも屈指の工業都市でありながら、32年連続スギ生産日本一の宮崎県の中で最も森林面積の広い「森のまち」でもあり、その豊かな森に囲まれユネスコエコパークの山々から市中心部に流れる五ヶ瀬川は、10年連続で全国トップクラスの水質に輝いています。

この豊かな環境を守り、本市の環境基本計画で掲げる「おいしい空気ときれいな水に包まれるまち」を実現すべく、公共下水道や浄化槽による生活排水対策とともに、多様な生物を育む森林・里山・水辺の保全にも皆様と一緒に取り組んでいます。

「せっけん運動」を通して水環境の保全に取り組む貴会の御活動に敬意を表しますとともに、今後益々のご発展を祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」によせて**三股町長 木佐貫 辰生**

宮崎県の南西部に位置する三股町は、大淀川水系の沖水川が町の中央を流れ、「花と緑と水のまち」をキャッチフレーズに美しい自然と調和した良好な住環境により発展してきました。

この豊かな自然環境を未来へ引き継ぐことは、今の時代を生きる私たちの責務として、本町では、カーボンニュートラルの実現に向けた取組みを通じて地球温暖化対策を推進しています。また、町民が一体となって河川周辺などの清掃活動を行う「クリーンアップみまた」や、子どもたち向けの環境学習を実施するなど、さまざまな環境保全活動に取り組んでいます。

貴会の長年の取組みに敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますようご祈念申し上げます。

シャボン玉月間によせて**宮崎市長 清山 知憲**

宮崎市は、太陽と水と緑に囲まれた、自然豊かで温暖な都市です。

市の中心には、母なる川「大淀川」が流れ、市民生活と深い関係があり、また、本市発展に重要な役割を担ってきました。

本市では、河川浄化推進協議会による河川パトロールや、子どもたちを対象に環境学習を実施するなど、あらゆる生命の源である「水」の恵みを将来につなぐことができるよう、水資源を守る取組を推進しています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後ますます活動の輪が広がりますことを心より祈念申し上げます。

「シャボン玉月間」に寄せて**都城市長 池田 宜永**

当市は、雄大な霧島連山を中心に多様で豊かな自然環境を持ち、大淀川や豊富な地下水の恵みを受けて発展してきました。

特に都城盆地の地下水は、質・量ともに良好で安定し、水道水源や農業用水に利用されるなど、市民が生活する上で貴重な資源となっています。

こうした自然環境を守るため、地域資源を活かした脱炭素社会の実現に向けて、当市では令和5年3月に「都城市ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す取組みを進めています。

貴会の長年にわたる環境保全活動に敬意を表しますとともに、今後も多くの方々にこの活動がより一層広まりますよう心よりご祈念申し上げます。



鹿児島県

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」に寄せて

鹿児島県知事 塩田 康一

鹿児島県は、昨年度世界自然遺産登録30周年を迎えた屋久島と奄美大島・徳之島の2つの世界自然遺産を有する国内で唯一の県でありラムサール条約湿地に登録されている蘭牟田池、屋久島永田浜及び出水のツルの越冬地など多様で豊かな自然を有しております。

このすばらしい自然環境を将来の世代に継承していくためには事業者、地域住民等が地域社会において一体となって環境保全対策に取り組むことが重要であると考えており、当県では各地域の住民団体等が実施している水質保全活動の支援など環境の保全に向けた施策を積極的に推進しております。

皆様の長年にわたる御活動に敬意を表しますとともに、今後ますますの御発展を期待しております。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

大崎町長 東 靖弘

「リサイクルの町から世界の未来をつくる町へ」を合言葉に、町全体でごみを27品目に分別し、リサイクル率日本一15回を達成している大崎町です。

SDGsの理念のもと持続可能な町を目指し、環境にやさしい取り組みを実践しております。

本町では、一般家庭から使用済みの天ぷら油を回収し、再資源化を目的に、防腐剤・香料などを一切含まない無添加石鹼『菜の花エコ石けん「そおپ」』を販売しております。添加物を使用していないので自然にやさしく、排水も問題なく、人と環境にやさしい石鹼です。

貴会の長年にわたる活動に敬意を表しますとともに、今後の「せっけん活動」の取組がより一層広がりますよう心からご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

鹿児島市長 下鶴 隆央

鹿児島市は、雄大な桜島や波静かな錦江湾、平成の名水百選に選定された「甲突池」を源流とする甲突川など、豊かな自然に恵まれています。この多くの恵みの持続性が失われることのないように、また、先人から引き継いだ豊かな環境をより良い状態で未来に引き継ぐために、本市では「第二次鹿児島市生物多様性地域戦略」を策定し、市民・事業者・行政などが連携・協働して保全活動等に取り組んでいます。

「せっけん運動ネットワーク」の活動は、美しい自然を将来の世代に引き継ぐための大切な取組です。皆様方の長年にわたる水環境保全活動に敬意を表しますとともに、「せっけん運動」の活動の輪が今後ますます広がりますことをご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

志布志市長 下平 晴行

志布志市は、鹿児島県東部、志布志湾の湾奥ほぼ中央に位置しております。本市を流れる安楽川と前川には、国の天然記念物に指定されているカワゴケソウ科植物が生息しており、また平成の名水百選「普現堂湧水源」を有するなど豊かな自然に恵まれています。

本市では、このような自然を次の世代に残し、経済と環境の持続可能な発展に努める取り組みの一環として、家庭から出た廃食油を「ひまわり石けんそおپ」という商品名で、人にも環境にもやさしい石けんとして販売し、市民の皆様にご使用いただいております。

「せっけん運動」を通して水環境保全に尽力されている貴会の活動に深く敬意を表しますとともに、今後の活動が更に発展していくことを心よりご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

日置市長 永山由高

日置市は、薩摩半島のほぼ中央に位置し、西は日本三大砂丘の一つ、白砂青松の吹上浜と東シナ海に面しています。吹上浜は「日本の渚百選」にも選ばれ雄大で、海亀も産卵に上陸し、吹上浜金峰山県立自然公園にも指定されています。

このような自然環境を守るために、本市は、温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「2050年ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、令和5年4月28日に環境省から「脱炭素先行地域」として選定され、温室効果ガス削減やエネルギーの地域内循環などの脱炭素に向けての取り組みを加速させています。

貴会の長年にわたる水環境を保全する活動に敬意を表しますとともに、今後ますますのご発展をご祈念申し上げます。

「せっけん使おう！7月はシャボン玉月間」によせて

南さつま市長 本坊 輝雄

本市は、薩摩半島の南西部に位置し、南側及び西側は東シナ海に面し、東側には霊峰金峰山を有しています。この金峰山から流れる清涼な湧き水は、麓の田畠を潤し、本土一早く収穫される超早場米「金峰コシヒカリ」を生んでいます。

本市は、この素晴らしい自然環境を後世に引き継いで行くために、「南さつま市環境基本計画」に基づき、市民・事業者・市が一体となった良好な水環境保全のための取組を進めてまいります。

結びに、貴会の「せっけん運動」を通した水環境保全活動に敬意を表しますとともに、より多くの人々が自然環境への関心を持ち、環境保全の意識が高まっていくことを心よりご期待申し上げます。



今年も私たちの配達トラックはこのマスクをつけて
シャボン玉月間を地域にアピールしました。

※マスクには、非塩ビ素材を使用しています。



「せっけん使おう! 7月はシャボン玉月間」に
後援・協賛をいただきました。

協賛

【埼玉県】小鹿野町・皆野町

後援

【北海道】北海道・石狩市・岩見沢市・恵庭市・江別市・小樽市・北広島市・釧路市・
釧路町・札幌市・当別町・南幌町・古平町・厚岸町・中標津町・長沼町

【宮城县】宮城県・石巻市・岩沼市・大崎市・大郷町・大衡村・女川町・加美町・
栗原市・気仙沼市・塩竈市・七ヶ浜町・仙台市・大和町・多賀城市・富谷市・
登米市・名取市・東松島市・松島町・丸森町・美里町・南三陸町・山元町・
涌谷町・亘理町

【埼玉県】小鹿野町・小川町・桶川市・加須市・秩父市・鶴ヶ島市・長瀬町・滑川町・
新座市・蓮田市・羽生市・東秩父村・深谷市・ふじみ野市・皆野町・宮代町・
三芳町・毛呂山町・横瀬町・寄居町・嵐山町・和光市

【東京都】狛江市・多摩市・三鷹市

【神奈川県】神奈川県・大井町・大磯町・小田原市・開成町・寒川町・逗子市・茅ヶ崎市・
中井町・二宮町・葉山町・藤沢市・松田町・真鶴町・南足柄市・山北町

【大阪府】河内長野市